

東部土木事務所登米地域事務所の記録

平成24年度の記録

4.16

新田外道路災害復旧工事完了
(主)古川佐沼線 迫町新田地内外)

4.19

石森外道路災害復旧工事完了
(一)石森永井線 中田町石森地内)

4.23

登米市と「連絡調整会議」を開催



5.21

旧迫川河川災害復旧工事完了
(迫川 米山町中津山地内)

5.22

櫓場外道路災害復旧工事完了
(国)346号 米山町字櫓場地内外)

錦桜橋橋梁災害応急復旧工事完了
(国)346号 中田町上沼地内)

5.23

錦橋橋梁災害応急復旧工事完了
(国)398号 迫町佐沼地内)

5.25

上沼外道路災害復旧工事完了
(国)342号 中田町上沼地内)

5.28

長沼川外河川災害復旧工事完了
(長沼川 迫町北方地内外)

6.7

土砂災害危険箇所合同パトロール 実施

6.12

6.12総合防災訓練 実施

6.15

南深沢外道路災害復旧工事完了
(主)古川佐沼線 迫町新田地内外)

古川河川災害復旧工事完了(古川 南方町 新一の曲地内)

6.19

荒川河川災害復旧工事完了(荒川 築館字横須賀地内外)

6.26→7.9

「河川管理施設操作研修会」を実施
(7月9日まで計5日間)

事務所管内には水門や排水を行うための河道ポンプ、遊水地などの河川管理施設が多数存在しており、一度洪水が発生した場合は、これらの施設操作、遊水地内の巡回監視及びサイレン吹鳴などを職員が直接行う必要があります。このため当所の全職員を対象とした研修会を実施し、大雨シーズンに備えて危機管理体制の強化を図りました。



7.2

青山外道路災害復旧工事完了
(主)古川佐沼線 迫町北方地内)

7.13

浅水外道路災害復旧工事完了
(国)398号 中田町浅水地内外)

7.17→23

職員直営による事業用地の除草を実施(7月23日までの計3日間)

7.17

長谷山外道路災害復旧工事完了
(国)342号 中田町長谷山地内外)

7.20

天形河川災害復旧工事完了(長沼川 迫町北方地内)

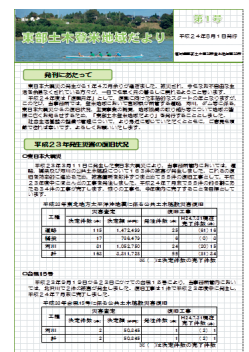
7.26

北深沢河川災害復旧工事完了(長沼川 迫町新田地内)

8.1

東部土木登米地域だより第1号(創刊号)発行

事務所の復旧・復興に向けた活動状況や地域情報について、地域住民や関係機関等に情報提供を行うため定期的に発行することとしました。



8.2

夏川河川改修事業説明会 開催

8.3→16

東日本大震災パネル展 開催

登米地域の居住者に東日本大震災からの復旧・復興状況をお知らせするため、イオンタウン佐沼店の専門店モール通路で「東日本大震災パネル展」を開催しました。

8.10

小山田川(野谷地排水樋管)河川災害復旧工事完了(小山田川 南方町新野谷地地内)

道の日ロードクリーンキャンペーン 実施

「道の日」に合わせて事務所職員25名とイオンタウン佐沼スマイルロードサポーター65名が協働して、(主)古川佐沼線の約850m区間の清掃・除草を実施しました。

8.17→23

水害から命を守る治水対策パネル展 開催

8.22

狼ノ欠外道路災害復旧工事完了
(主)築館登米線 迫町新田地内)

8.24

畑岡下外道路災害復旧工事完了
(主)古川佐沼線 南方町畑岡下地内外)

9.4

第11回長沼川を考える会 開催

10名の委員に委嘱状を交付し、地元沿川区長も交えて長沼川の河川改修事業の概要や水質浄化対策について意見交換を行いました。

9.5

南沢川砂防コラボ事業による施設改良工事完了

平成22年度から2年間、地元住民との地域協働事業として実施してきた砂防流路工への玉石張り根継工や魚道設置等の工事が完了しました。

9.16

迫川フェスティバル 開催

迫川改修80周年記念事業の一環として、迫川改修・長沼ダム建設事業の歴史と効果を県民に広く伝えるため、第23回長沼レガッタ開催にあわせパネル展を開催しました。

9.19

小山田川(四分区越流堤外)河川災害復旧工事完了(小山田川 大崎市田尻蕪栗地内外)

9.20

南沢川河川改修事業説明会 開催

10.4

平成24年度蕪栗沼環境管理会開催

東日本大震災の影響で2年ぶりの開催となった本年度の環境管理会では、震災で被災した河川管理施設の復旧状況と今後の工事計画、蕪栗沼の水質・生物環境に関する調査結果について協議しました。

10.5

荒川河川災害復旧工事完了(荒川 栗原市築館町字太田地内)

10.10

第34回河川クリーンキャンペーン実施

宮城県建設業協会登米支部と合同で、迫川や旧迫川などに捨てられたゴミの収集を行いました。河川クリーンキャンペーンは今年で34回を数え、建設業19社・98名と事務所職員29人が参加し、迫川41.6km、旧迫川19.2kmの合計60.8kmの区間で清掃を実施しました。

10.27

羽河河川災害復旧工事完了(長沼川 迫町北方字羽河地内)

10.30

長沼川河川浄化キャンペーン実施

地域協働(コラボ)事業の一環として、水質悪化が著しい佐沼市街地で実験的にバイオ製剤の散布を行いました。当日は「長沼川を考える会」のメンバーを中心に沿川の地域住民も参加し、西館地区～江合地区の約1.6km区間で実施しました。

**10.31**

古川河川災害復旧工事完了(古川 米山町中津山地内)

11.12

東部土木登米地域だより第2号発行

11.16

迫川河川改修80周年記念イベント及び植樹式を開催

迫川河川改修80周年記念イベントに先立ち、長沼ダムにおいて記念植樹式を行いました。多くの来賓の方々の出席のもと、改修80周年を迎えた迫川流域のさらなる発展を祈念して、桜(ソメイヨシノ)の苗木5本の植樹を行いました。

**11.22**

米谷外道路災害復旧工事完了
(一)東和登米線 東和町米谷字恩田地内外)

11.26

東上沢道路災害復旧工事完了
(国)346号 東和町米川字東上沢地内)

11.30

仙北信用組合迫支店がスマイルロードサポーターに参加

12.14

大形河川災害復旧工事完了(長沼川 迫町新田字大形地内)

12.26

南方仮設住宅で「長沼ダム建設事業」の出前講座を開催

H25.1.11→21

スマイルサポーター活動写真展を開催

地域への愛着と誇りをもって取り組まれているスマイルサポーターの方々の日頃の活動を広く県民に紹介するため、イオンタウン佐沼ショッピングセンター内で写真展を開催しました。

2.12

荒川河川災害復旧工事完了(荒川 築館町字横須賀上宝田地内)

2.19→20

夏川河川改修事業説明会開催

2.24

駒見橋渡り初め式

3.7

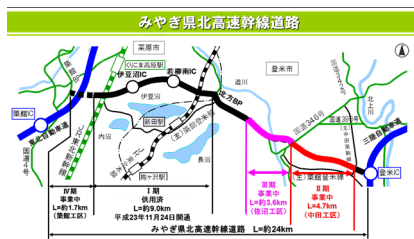
スマイルサポーター意見交換会

3.12→14

みやぎ県北高速幹線道路事業計画説明会

H26.1.9

みやぎ県北高速幹線道路事業説明会 中田工区開催



1.30

みやぎ県北高速幹線道路事業説明会 佐沼工区開催

みやぎ県北高速幹線道路の事業説明会を開催し、東北自動車道と三陸自動車道を結ぶ地域高規格道路【復興支援道路】の早期完成に向け事業を加速します。

3.18

長沼ダム試験湛水終了

長沼ダム本体や放流施設、貯水池周辺などに問題がないか、11月1日から試験湛水を開始し、3月18日に無事終了しました。



長沼ダムから放流するため砂原水門を開扉しているところです。

3.29

主要地方道 涌谷津山線登米市豊里町下屋浦工区供用開始

登米市豊里町中心市街地のJR気仙沼線アンダーボックス付近は、道路線形が悪く狭隘であったことから、跨線橋を含む900m区間の道路改良工事を実施し、3月29日に供用開始しました。



東部土木事務所登米地域事務所

平成26年度の記録

4.21

スマイルサポーター意見交換会

登米管内ではスマイルリバーサポーター15団体、スマイルロードサポーター39団体が、河川や道路の環境美化活動を行っています。意見交換会では8団体が参加し、日ごろの活動の苦勞や創意工夫について、情報交換や活発な意見が交わされました。



5.31

長沼ダム竣工式

昭和46年に実施計画調査を開始し、平成25年度末の試験湛水によりダムの安全性を確認しました。関係する皆様の御理解と御協力により、調査開始から43年の歳月を経て、竣工を迎えることができました。

6.12

6.12総合防災訓練

宮城県震災対策推進条例に定める「みやぎ県民防災の日」(6月12日)に合わせ総合防災訓練を実施しました。訓練では、ホワイトボードを活用し、情報の共有化を図るとともに、管理業者との連携により、災害箇所の対応を実施しました。



6.20

迫川流域水防管理者・農業用排水施設等管理者協議会

迫川流域沿岸の洪水に対する共通認識のもと、迫川流域における治水及び健全な農業経営に資するため、洪水その他の災害発生の際の恐れがある場合における農業用の排水施設等の操作と水防活動について意見交換を行うとともに、前年度の被害などの情報を共有しました。

7.17

河川ふれあいパネル展

8.7

道路ふれあいパネル展

河川愛護月間に合わせ、河川への親しみや愛着を持っていただくとともに、河川に関する行政と県民との協働による取組に理解と関心を深めていただくため、パネル展を開催しました。

道路ふれあい月間に合わせ、普段利用している道路の重要性を再認識していただくとともに、道路への親しみや愛着を持っていただき、よりよい道路環境づくりを推進するため、パネル展を開催しました。



8.8

道の日ロードクリーンキャンペーン

職員29名が一般国道346号約1.0kmの間(道の駅米山附近)のごみ拾い、除草、堆積土砂の撤去や道路付属物の清掃を行いました。また、スマイルロードサポーター4団体が各認定区間で清掃等の活動を実施しました。

9.14

迫川フェスティバルin長沼レガッタ

第25回長沼レガッタ会場において、迫川改修の歴史や長沼ダムの効果などを県民に広く知っていただくため、河川事業・ダム事業のパネルを展示したほか、ダムの機能を説明するビデオの上映などを行いました。



10.8→24

土砂災害危険箇所基礎調査結果説明会

大雨や地震等によって土砂崩れや土石流などの土砂災害が発生するおそれのある「土砂災害危険箇所」は、登米市内に684箇所存在します。このような危険箇所を、住民の生命と財産を守ることを目的とする土砂災害防止法に基づき「土砂災害警戒区域」へ順次指定しています。平成26年度には、128箇所を新たに指定し、登米管内では計329箇所が「土砂災害警戒区域」として、危険箇所の約半数近くが指定されました。

12.21

長沼ダム地権者会記念碑除幕式

長沼ダム地権者会は、長沼ダムの調査を開始した昭和46年に設立され、昨年5月の長沼ダム完成に伴い、この度解散することとなりました。43年に渡る長沼ダム建設の歴史は、長沼ダム地権者会なくしては語れず、迫川流域を水害のない安全安心の地にしようと、先祖伝来の我が家の宝を提供する苦渋の決断をした地権者の治水の祈りを後世に伝えるため、「治水の祈り」を刻み込んだ記念碑の除幕式を開催しました。

H27.3.26

復興支援道路着工式

～みやぎ県北高速幹線道路～

みやぎ県北高速幹線道路は、東北縦貫自動車道と三陸縦貫自動車道を結び、栗原圏域と登米圏域の交流や連携を強化する地域高規格道路であり、被災地の復興支援や災害時における救援H27.物資輸送等を担う、復興支援道路として位置づけられている路線です。平成23年度から順次事業着手してまいりましたが、平成26年度から本格的な工事に着手することから、着工式を開催しました。



5.21

H27年度管内河川及びダム管理施設操作研修会

登米管内の河川・ダム管理施設は、蕪栗沼遊水地関連と荒川関連、長沼ダム関連と大きく3つに区分され、今後、出水期を向かえることから、その特性に応じた操作研修を開催しました。蕪栗沼遊水地では、はん濫注意水位5.80mになった場合の各施設の操作などについて説明がありました。荒川では、仮屋水門及びポンプの操作と十五丁排水機場の操作方法について、長沼ダムでは、ダム管理事務所内と長沼水門の施設の説明がありました。

6.12

6.12総合防災訓練

6月12日は金曜日で、道路管理業者は道路パトロールを実施する日であったことから、道路パトロール現場から直接訓練に参加するなど、本番さながらの訓練となり、参加した関係機関や職員など皆が真剣に取り組む、短い時間ではありましたが、災害発生時における初動体制の確認を行うことができました。

7.13

H27年度迫川流域水防管理者・農業用水管理者協議会総会

迫川流域沿岸の洪水に対する共通認識のもと、迫川流域における治水及び健全な農業経営に資するため、洪水その他の災害発生の際の恐れがある場合における農業用の排水施設等の操作と水防活動について意見交換を行いました。

平成23年3月発生した東北地方太平洋沖地震により河川堤防が甚大な被害を受けたことから、水防警報を暫定運用していましたが、河川堤防の復旧が完了し、堤防としての機能が震災前と同等に回復したため、平成27年4月1日付けで水防警報の水位を通常基準に戻したことを受け、排水調整においても、同日付で暫定運用前の水位に戻すことを報告しました。



8.6

H27年度迫川流域河川・ダム管理担当事務所連絡調整会議

迫川は、上流域に花山ダム、栗駒ダム、荒砥沢ダム、小田ダムのダム群が配置され、更に、中流域には、長沼ダム、南谷地遊水地があり、5ダム1遊水地により洪水調節を行い、台風などの大雨による洪水から流域を守っています。これらの施設を有効に機能させるには、各施設の適切な管理と連携した運用による、流域の一体的な管理が重要です。また、これらの施設を踏まえた計画的な河川整備を進める必要があることから、本会議において、より良い施設管理と河川整備について勉強並びに意見交換を行いました。(第2回開催状況)

8.7

H27年度ロードクリーンキャンペーン

職員25人で、主要地方道古川登米線約400mの区間(「道の駅みなみかた」付近)の歩道清掃等を行いました。また、日頃から道路美化活動を実施されているスマイルロードサポーターのうち8団体も、この日に合わせてそれぞれの認定区間で清掃等を行いました。

9.20

迫川フェスティバル'15

第26回長沼レガッタ会場において、迫川改修の歴史や長沼ダムの効果などを県民に広く知っていただくため、長沼ダムの機能を説明するビデオの上映や迫川改修などのパネル展示を行いました。また、長沼ダムのネーミングライツを取得しているパシフィックコンサルタンツ株式会社と協働で、「ダムと水環境に関するクイズ」を実施し、子供たちの長沼ダムへの関心を深めるとともに、長沼ダムの水環境の状況について知っていただきました。

11.27

H27年度 第1回長沼ダム利活用会議

長沼ダムは、平成26年度から管理に移行しました。建設時に培われた地域活性化に関連する取組を継承しつつ、新たな地域活性化を推進するため、長沼ダムに関係する地域の代表や行政が一堂に会して、情報の共有や新たな取り組み、問題の解決などを話し合う場として長沼ダム利活用会議を開催しました。

12.4

スマイルサポーター意見交換会

登米地域で県が管理する河川や道路の美化活動に取り組んでいただいているスマイルサポーター団体の皆様の意見交換会を開催しました。意見交換では、各団体の皆様から活動に際しての工夫や困っている点、活動の中で気づいた点などについて、有意義なお話をいただきました。

H28.1.13

みやぎ県北高速幹線道路佐沼工区用地契約会

みやぎ県北高速幹線道路は、東北自動車道と三陸沿岸道路を東西に結びつけ、県北各地域の相互連携を強化する地域高規格道路であり、被災地の復興支援や災害時における救援物資輸送等を担う復興支援道路として位置づけられ、東日本大震災からの復興に向けたリーディングプロジェクトです。中田工区については、軟弱地盤対策や道路盛土工事を実施しています。佐沼工区については、5月中旬から6月下旬にかけて、用地境界確認作業を行い、12月8日から用地説明会を開催し、引き続き、用地契約会を1月13日から開催し、多くの方々の御協力をいただき、用地買収を進めています。



2.23, 25

土砂災害危険箇所基礎調査結果説明会

大雨や地震等によって土砂崩れや土石流などの土砂災害が発生するおそれのある「土砂災害危険箇所」は、登米市内に684箇所存在します。このため、住民の生命と財産を守ることを目的とする土砂災害防止法に基づき「土砂災害警戒区域」を指定しています。平成27年度は、16箇所を新たに指定し、登米管内では計345箇所が「土砂災害警戒区域」として指定されました。本年度は、11月19日と2月23日～25日に説明会を開催しました。

東部土木事務所登米地域事務所

平成28年度の記録

4.16

三陸沿岸道路登米志津川道路東和登米IC—三滝堂IC開通

登米志津川道路延長約16.1kmのうち、2kmの延伸により、登米ICから三滝堂ICまでの延長7kmの供用が開始されました。

6.8

河川・ダム管理施設操作研修会

登米管内の河川・ダム管理施設は、蕪栗沼遊水地、長沼ダム及び荒川関連の3つに大きく区分され、今後、出水期をむかえることから、その特性に応じた操作研修会を実施しました。

6.19

登米市水防演習迫川防災ステーション

平成14年7月の台風6号による洪水被害を契機に、災害時の水防活動や緊急復旧活動等の拠点整備として昨年度完成した迫川防災ステーションにおいて、登米市主催による水防演習が実施されました。



8.4→7

スマイルサポーターみやぎ県北高速幹線道路パネル展

8月の「道路ふれあい月間」にあわせ、イオンタウン佐沼の東側入り口の特設会場をお借りしてスマイルサポーターの活動状況やみやぎ県北高速幹線道路事業を紹介するパネル展を開催しました。

8.5

道の日ロードクリーンキャンペーン

国道346号(道の駅「米山」付近)において、23名の職員で清掃活動を実施しました。当日は、スマイルサポーター7団体もそれぞれの区間で道路清掃活動を実施していただきました。

9.25

迫川フェスティバル'16

第27回長沼レガッタ会場において、長沼ダムのネーミングライツを取得しているパシ

フィックコンサルタンツ(株)と協働でクイズやペーパークラフトによるダム模型づくりを実施し、子供たちや親御さんに長沼ダムへの関心を深めていただきました。

10.13

河川クリーンキャンペーン

38回目となる今年は、建設業18社・1団体105名と事務所職員25名が参加して、登米市内の各河川の清掃活動を行い、約1トンの廃棄物を回収しました。

10.21

蕪栗沼クリーン作戦

大崎市田尻環境協会が主催する、蕪栗沼と周辺水田の清掃活動に4名の職員が参加し、地元小学生達といっしょに、空き缶などの回収をしました。

10.30

三陸沿岸道路登米志津川道路三滝堂IC—志津川IC開通

三滝堂ICから志津川ICまでの9.1km区間が開通し、被災沿岸部まで三陸自動車道が延伸されました。

11.28

長沼ダム利活用会議

宮城県保健環境センターの佐藤部長を講師に招き、長沼の水質、伊豆沼・内沼自然再生事業の先進事例及び水質改善に向けた取り組みなどについて意見交換会を開催しました。



11.28

土砂災害防止法に基づく基礎調査結果説明会

登米市内の土砂災害危険箇所684箇所のうち、昨年度までに345箇所指定済みであり、今年度新たに32箇所を指定し、計377箇所が土砂災害危険区域に指定されました。今年度は、11月28日から旧町単位で説明会を開催しました。

12.1

スマイルサポーター意見交換会

登米地域では、平成29年3月末現在で、道路45団体、河川18団体の計63団体において環境美化に携わっていただいております。当日は、12団体の代表の方々に出席いただき、参加者確保の工夫や冬季の活動状況などについて意見交換がなされ、活発な意見交換会となりました。



12.13

みやぎ県北高速幹線道路Ⅲ期(佐沼工区)用地説明会

Ⅲ期(佐沼工区)の起点交差点部について、用地のご協力をいただいたため、当該計画箇所該当する方々を対象に用地説明会を開催し、立ち入りの了解をいただきました。

H29.2.1→3

登米地域コミュニティエフエム「H@!FM」みやぎ県北高速幹線道路事業PR

H@!FMは、登米市民8万2,000人を対象とした地域コミュニティエフエムで、パーソナリティー佐藤アナとの掛け合いにより、事業目的や事業効果、現在の工事内容、開通予定などについて3日間にわたり放送されました。

2.1→3.10

みやぎ県北高速幹線道路インターチェンジ・橋の名称募集

登米市では、インターチェンジ4箇所と橋梁2橋の名称について、地域の方々に親しまれ、地域のシンボルとなるよう名称を募集しました。名称の決定にあたっては、応募いただいた中から、選定委員会を経て、平成29年度当初に発表・公表を予定しています。



4.1

三陸沿岸道路 道の駅「三滝堂」オープン

道の駅「三滝堂」は、休憩施設と集客施設の併設型で、ドライバーの利便性、地域活性化と災害防災拠点整備などを目的に整備され、登米市内で5カ所目の道の駅となります。



5.25

河川・ダム管理施設の操作研修会

出水期を迎えるにあたり、迫川流域に位置する長沼ダム、荒川等の各管理施設の操作研修を実施し、迅速かつ確実な操作手法を確認しました。

6.20

土砂災害危険箇所パトロール

登米市及び砂防ボランティアのご協力をいただき登米市内の土砂災害危険箇所のうち11箇所のパトロールを実施しました。

7.3,4,5,25

土砂災害防止法による基礎調査結果説明会

登米市の協力をいただきながら44箇所(石越町:5箇所,登米町:6箇所,米山町:10箇所,豊里町:23箇所)の指定に向け説明会を開催しました。

8.4

ロードクリーンキャンペーン

「道路ふれあい月間」にあわせ、職員24名が道の駅「林林館」敷地内及び一般国道398号(三滝堂ICから新水界トンネル間)の除草、清掃活動等を行いました。また、日頃から道路美化活動をボランティアで実施されているスマイルロードサポーター19団体が各認定区間で清掃活動を行いました。

8.8→17

スマイルサポーターみやぎ県北高速幹線道路パネル展

登米市内において道路や河川の美化活動

に日頃から取り組んでいただいている「スマイルサポーター」の活動と「みやぎ県北高速幹線道路事業」を紹介する写真パネル展をイオンタウン佐沼にて開催しました。

9.14

新田跨線橋 橋梁耐震補強工事完成

(主)築館登米線に位置する新田跨線橋の耐震補強・橋梁補修工事が完成しました。JR東日本に工事を委託するなど、完成までに5年の工期を要しました。

9.17

迫川フェスティバルin長沼レガッタ2017

第28回長沼レガッタ会場において、長沼ダムネーミングライツを取得しているパシフィックコンサルタンツ(株)と協働でクイズ大会などを実施し、子供たちや親御さんに長沼ダムへの関心を深めていただきました。

10.13

河川クリーンキャンペーン

39回目となる今年は、建設業18社・1団体100名が参加し、登米市内の各河川の清掃活動を行いました。事務所からは23名が参加し、迫川の清掃活動を行いました。



10.31

蕪栗沼清掃活動に参加

大崎市田尻観光協会主催による「蕪栗沼クリーン作戦」が実施されました。大貫小学校の生徒を含め67名が参加し蕪栗沼と周辺水田の清掃活動を行いました。

11.13

長沼ダム利活用会議開催

会議では10名の委員が参加し、県内外から訪れる来訪者に対し、ダムカードに併せて観光パンフレットを配布し、登米市の魅力を知っていただく取組事例を紹介するなど活発な意見が交わされました。

12.4

スマイルサポーターとの意見交換会を開催

12団体から出席をいただき、参加者確保の工夫や長く活動を続けるための工夫・秘けつなどについて情報交換がなされました。また、資材の支給や助成、不法投棄の対策など県への意見・要望がなされるなど活発な意見交換会となりました。

H30.1.10

河川・ダム担当者研修「迫川流域の河川整備のあり方」開催

迫川流域の河川改修やダム・遊水地の歴史、現状と課題、これからの河川整備のあり方について学び・考えることを目的に外部講師を招き研修会を開催しました。



2.8

蕪栗沼管理会を開催

大崎市より世界農業遺産に認定された「大崎耕土」の紹介があり、伝統的な水管理の継承や農業生物の多様性向上に向けた取組事例等の説明がありました。

3.14

二ツ屋橋・三ツ口橋 橋梁耐震補強工事完成



3.14

みやぎ県北高速幹線道路インターチェンジ・橋梁名決定・公表

登米市では、インターチェンジ4箇所と橋梁2橋の名称について、昨年3月に一般公募しました。一般公募結果を踏まえ、各施設の名称を決定し、公表しました。

東部土木事務所登米地域事務所

平成30年度の記録

4.27

六反工区の道路災害防除工事完了

登米管内では、震災後、道路法面における落石や崩壊の恐れのある危険箇所での災害防除事業(10箇所)を行ってきました。県道東和登米線六反工区は2箇所目の完了工区です。



5.15

土砂災害危険箇所パトロール

登米市佐沼地区在住の女性を対象とした「佐沼女性セミナー学習会」(迫公民館)において、長沼ダムの役割と効果を説明しました。身近なダムについて理解していただく貴重な機会であり大変好評でした。

6.12

6.12総合防災訓練

「みやぎ県民防災の日」の総合防災訓練において、管理者と連携のうえ、事務所職員が、大規模災害発生時の初動体制や想定被害に対する対応、情報伝達の訓練を行いました。

5.22

出前講座(佐沼女性セミナー)
「長沼ダムの役割」

登米市佐沼地区在住の女性を対象とした「佐沼女性セミナー学習会」(迫公民館)において、長沼ダムの役割と効果を説明しました。身近なダムについて理解していただく貴重な機会であり大変好評でした。

8.1

ロードクリーンキャンペーン

「道路ふれあい月間」にあわせ、事務所職員22名が夏休みシーズンに多くの来客が見込まれる長沼フットピア公園沿いの県道古川佐沼線の除草や清掃を行いました。当日は、スマイルロードサポーター8団体にも各認定区間で清掃等を行っていただきました。

8.3

親子現場見学会

県土木部と建設業協会との共催により、各地区で行われる「親子現場見学会」につい

て、登米地域では「みやぎ県北高速幹線道路(佐沼工区)」を会場として20組42名の参加をいただき開催しました。天気にも恵まれ、普段は入れない建設現場での様々な体験を通して、建設産業への理解を深めていただきました。

9.23

迫川フェスティバル'18

第29回長沼レガッタ会場にて、パネル展示や、長沼ダムのネーミングライツを取得しているパシフィックコンサルタンツ(株)と協働でクイズ大会等を行い、お子様や親御様に長沼ダムへの関心を深めていただきました。

10.3

マイルサポーター表彰式

登米管内で、スマイルサポーターとして、県管理道路や河川の美化活動を積極的に継続し、長年に渡りご尽力いただいた6団体に対して、知事感謝状を贈呈いたしました。

10.18

登米地域事業検討ワーキング設置

復興計画以降の登米地域における社会資本整備のあり方を検討するため、登米市と東部地方振興事務所登米地域事務所と協働し、検討ワーキングを設置しました。地域の課題を整理しながら、有益な社会資本整備(取組)をしっかりと検討してまいります。



10.30

登米塾現場研修会開催

今年度より、事務所職員の技術力・行政対応力の強化と工事担当者の説明力の向上を目的に、現場調査と所内検討をセットで行う「登米塾現場研修会」を開始しました。12月までの期間中、道路・橋梁・砂防等様々な工事現場で、延べ3回(6現場)開催しました。



11.8

河川クリーンキャンペーン

河川への不法投棄を防止し河川愛護を推進するため、宮城県建設業協会登米支部と当事務所では、毎年、迫川の一斉清掃活動を行っています。40回目の今年は、建設

業19社・1団体103名と事務所職員23名が参加し、迫川と旧迫川の清掃作業を行いました。

11.28

十五貫橋橋梁耐震補強工事完了

登米管内では、震災以降、緊急輸送道路における7橋の橋梁耐震化を進めており、県道瀬峰豊里線の十五貫橋で4橋が完了しました。

12.8

みやぎ県北高速幹線道路Ⅱ期
(中田工区)ウォーキング大会

12.25

みやぎ県北高速幹線道路Ⅱ期
(中田工区)開通式

平成23年度より整備してきました中田工区4.7kmが12月25日に開通となりました。8日の約300名参加によるウォーキング大会や、12日の警察・消防との通行止め対応合同訓練等を経て、25日に宮城県・登米市・栗原市主催による盛大な開通式が執り行われました。開通により、県北地域の広域連携強化とともに、地域の産業・経済・文化など様々な分野において効果が期待されます。

R1.1.15

スマイルサポーター意見交換会

登米地域では、平成31年3月現在、道路54団体と河川23団体の計77団体の皆様に環境美化に携わっていただいております。当日は15団体の代表の方々に出席いただき、参加者確保の工夫や行程の調整などについて活発な意見交換となりました。

2.7

H30年度蕪栗沼環境管理会

関係行政機関、土地改良区及び各NPOで構成される管理会にて、蕪栗沼と周辺水田に関する環境管理、圃場整備状況等に関する意見交換と現地視察を行いました。

5.7→13

河川・ダム管理施設操作研修会

出水期を迎えるにあたり、事務所全職員を対象として、長沼ダムや荒川等の河川・ダム管理施設の操作研修を実施し、洪水時に迅速かつ確実に施設の操作ができるよう確認を行いました。

6.18

土砂災害危険箇所パトロール

6月の「土砂災害防止月間」にあわせ、登米市と砂防ボランティアのご協力をいただき、管内の土砂災害危険箇所のうち、12箇所についてパトロールを行いました。

6.18

吉田橋耐震補強工事完了

(一)東和登米線「吉田橋」の耐震補強工事が完了しました。

登米管内では、震災以降、緊急輸送道路等における8橋の橋梁耐震化を進めており、令和元年度末時点で吉田橋を含めて6橋が完了しました。

7.9

R1年度「第2回登米塾現場研修会」開催

事務所職員の技術力・行政対応力の強化等を目的に、職場内研修「登米塾現場研修会」を行いました。今年度は道路・橋梁・河川等様々な工事現場で、延べ4回(7現場)開催しました。

7.31

親子現場見学会

県と建設業協会との共催で、小学生と保護者を対象とした「親子現場見学会」を開催しました。登米地域では「みやぎ県北高速幹線道路(佐沼工区)」を会場として25組58名の皆様に参加をいただきました。当日は、道路の区画線設置や鉄筋組立の体験などの様々な体験を通して、建設業への理解を深めていただきました。



8.8

ロードクリーンキャンペーン

8月の「道路ふれあい月間」にあわせ、事務所職員18名により、国道346号「道の駅・米山」前と(主)古川佐沼線「道の駅・みなみかた」前の道路の除草や清掃を行いました。

9.22

迫川フェスティバル'19

第30回長沼レガッタ大会にあわせ、レガッタ会場の長沼フットピア公園にて長沼ダムの役割を紹介するパネル展示やクイズ大会等を行い、子供たちから親御様まで、長沼ダムへの関心を深めていただきました。



10.13→31

台風19号被災箇所の応急復旧

10月12日から13日にかけて本県を通過した台風19号により、登米管内でも県管理道路10箇所、河川等55箇所の被害を受けました。堤防が決壊した石貝川など緊急を要する箇所は、被災後直ちに応急復旧を行いました。

10.25

スマイルサポーター表彰式

スマイルサポーターとして、登米管内の県管理道路や河川の美化活動を積極的に継続し、長年にわたりご尽力いただいた4団体に対して、知事感謝状を贈呈いたしました。

11.13

河川クリーンキャンペーン

河川への不法投棄を防止し河川愛護を推進するため、建設業協会登米支部と当事務所では、毎年、迫川の一斉清掃活動を行っています。当日は、総勢112人が参加し全体で990kgのごみ等を回収しました。

11.12→12.27

台風19号に伴う災害査定

台風19号で被災を受けた県管理道路や河川等の本格復旧を行うため、11月12日から始まった国の第一次災害査定及び12月の第二次、第四次災害査定を受けました。

11.22

水戸辺川河川外災害復旧工事完了

当事務所が気仙沼土木事務所管内の震災業務支援として事業の管理監督を行っている、南三陸町戸倉地区の水戸辺川災害復旧工事(その1工区)が完成しました。

12.13

下羽沢災害防除工事完了

道路防災点検の結果等に基づき、道路斜面の災害防除工事を行っています。登米管内計画11箇所のうち、3箇所目となる(一)志津川登米線の下羽沢工区が完成しました。

R2.1.17

南沢川流域の減災対策協議会幹事会

台風19号により大きな被害を受けた南沢川流域の防災・減災の取り組みを検討するため、国・県・市で構成されている「北上川下流等大規模氾濫時の減災対策協議会[南沢川流域]」の第1回幹事会が登米合同庁舎にて開催されました。

1.31

みやぎ県北高速幹線道路「紫雲山大橋」完成

復興支援道路として整備を行っているみやぎ県北高速幹線道路事業(第Ⅲ期・佐沼工区3.6km)において、迫川を渡河する紫雲山大橋の橋梁上部工工事が完成しました。



3.7

国道346号「錦織バイパス」開通

平成18年度より事業を行ってきた国道346号「錦織バイパス」延長約2kmが3月7日に開通しました。開通当日は、当事務所主催により「開通の感謝を伝える会」を開催し、関係者による開通行事が行われました。バイパスの開通により、屈曲箇所が多い現道からバイパスへの交通転換や、安全な歩行空間の確保、災害時の緊急輸送道路機能の確保が図られます。

東部土木事務所登米地域事務所

令和2年度の記録

5.22

災害時の功労者へ感謝状の贈呈

令和元年東日本の際に緊急災害対応で尽力された施工者(6社)に感謝状をお贈りしました。

6.17

「登米塾」工事現場研修会

事務所員の技術・行政能力の強化等を目的に職場内研修「登米塾工事現場研修会」を実施。この回は豊里大橋のグースアスファルト舗装を見学。

6.18

土砂災害危険箇所パトロール

6月の「土砂災害防止月間」にあわせ、登米市と砂防ボランティアのご協力をいただき、管内の土砂災害危険箇所のうち、8箇所についてパトロールを行いました。

6.18

災害防除事業の大綱木工区と馬の足工区の完了

災害防除(復興枠)事業として施工していた(一)馬籠東和線の大綱木工区と馬の足工区が完成しました。

6.25

飯土井大橋耐震補強工事の完成

(国)398号「飯土井大橋」の耐震補強工事が完了しました。登米管内では、震災以降、緊急輸送道路等における橋梁耐震化を進めており、豊里大橋を除き、復興・復旧期分はすべて完了しました。



7.29

豊里大橋の下流側桁の完成

耐震補強(復興枠)事業として上部工の架替えを施工している(主)河南米山線の豊里大橋は片側車線分が完成し、暫定通行を開始しました。



8.26

ロードクリーンキャンペーン

8月の「道路ふれあい月間」にあわせ、事務所職員16名により、(主)古川佐沼線(イオンタウン佐沼周辺)の道路の除草や清掃を行いました。

9.3

みやぎ県北高速幹線道路の用補契約完了

困難を極めた、用地取得282筆、物件補償96件の契約が粘り強い交渉の末、すべて完了し、次年度の事業完了に向けて工事が加速しました。



10.28

災害防除事業の丸森工区の完了

災害防除(復興枠)事業として施工していた(一)東和薄衣線の丸森工区が完成し、復興枠事業のすべてが完了しました。



11.5

河川クリーンキャンペーン

河川への不法投棄を防止し河川愛護を推進するため、建設業協会登米支部と当事務所では、毎年、迫川の一斉清掃活動を行っています。当日は、総勢111人が参加し全体で810kgのごみ等を回収しました。

11.17

栗原・登米地区建設工事安全管理講習会

瀬峰労基署の専門官等を講師に招き、栗原・登米管内の発注者及び受注者を対象に安全講習会を実施し、約200人が参加し労働災害の現状と事故防止対策に必要な知識を習得しました。

12.16

建設センターサテライト研修の実施

(社)宮城県建設センターのサテライト部門別研修を活用して登米市も含めた管内の職員研修を実施しました。事例を用いたわかりやすい講義だったと評判でした。

12.21

米谷大橋耐震補強工事の完成

(国)398号「米谷大橋」の耐震補強工事が完了しました。入札不調が続いていましたがようやく完成しました。



R3.3.3

板倉道路改良工事の完成

H21年度から事業を進めてきた、(主)古川佐沼線板倉道路改良工事は、一部終点を除き完成し、供用を開始しました。



3.23

R1年東日本台風による災害復旧の完了

令和元年東日本台風により被災した、47箇所のうち、26箇所が完了しました。残り21箇所は令和3年の出水期までに完了する見込みです。

3.29

水戸辺地区災害復旧工事完了

当事務所が気仙沼土木事務所管内の震災業務支援として事業の管理監督を行っている、南三陸町戸倉地区の水戸辺川災害復旧工事が完成し、当所による東日本大震災の復旧事業は、すべて完了しました。

気仙沼土木事務所の記録

平成24年度の記録

4.2

新規採用・自治法派遣職員 配属

4.3→8

被災市街地復興推進地域内の復旧事業計画に係る説明会 開催

4.13

本町橋架換工事 橋梁上部工完了

4.17

大島架橋事業 用地買収着手

二ノ浜・三ノ浜地区の地権者を対象に用地説明会を開催し、買収面積及び単価を提示。5月22日に大島架橋事業で第一号となる用地売買契約を締結し用地買収に着手しました。

4.27

馬場只越線 被災2箇所の本復旧工事 完了

一般県道馬場只越線で東日本大震災により被災を受けた2箇所の本復旧工事が完了しました。

5.3

5月3日から4日にかけての豪雨

太平洋沿岸を発達しながら進んだ低気圧の影響で、5月3日から4日にかけて雨量220mmの豪雨が襲い、管内の道路・河川が被災しました。

5.18

平野復興大臣 現地視察

5.24

払川ダム本体建設工事 最終打設式挙行

5.27

気仙沼大島ランフェスタ開催に向け仮舗装工事 実施

県道大島線は東日本大震災で津波による流出被害を受けましたが、地元島民の有志が立ち上がり島民の力で復興マラソン「気仙沼大島ランフェスタ」の開催が決定。気仙沼土木事務所としても支援するため、マラソンコースに指定された県道大島線の仮舗装工事を実施し大会前日までに完了させました。

5.28

御崎港復旧工事説明会 開催

御崎港災害復旧工事の開始に伴い工事への理解と協力を求めるため、港湾を利用する関係者に対して説明会を開催しました。会場：気仙沼市崎浜集会所（参加者数25名）

6.1

任期付き職員 配属

6.12

清水浜志津川港線の応急工事完了

東日本大震災の津波により道路が流出し、全面通行止めとなっていた(一)清水浜志津川港線の南三陸町志津川字本浜町地内において、仮復旧工事が完了し供用を開始しました。

6.18

泊崎半島線の応急工事 完了

東日本大震災の津波により道路が流出し、全面通行止めとなっていた(一)泊崎半島線の南三陸町歌津字館浜地内において、仮復旧工事が完了し供用を開始しました。

6.21

南三陸町泊崎半島エリア災害復旧事業説明会 開催

6.26

気仙沼市本吉町大谷東・中郷地区災害復旧事業説明会 開催

6.28

気仙沼市・南三陸町震災復旧事業連絡調整合同会議 開催

災害復旧工事の発注が平成27年度までの短期間に集中し、建設資材の供給不足が懸念されることから、行政機関、建設業者団体及び資材供給者が集まり情報交換を行いました。

6.29

気仙沼唐桑線 被災5箇所の本復旧工事 完了

主要地方道気仙沼唐桑線で東日本大震災により被災を受けた5箇所の本復旧工事が完了しました。

7.3

沖の田海岸 防潮堤復旧高 標示

6月26日の説明会の時に地元から「復旧高さを標示して欲しい」と要望があり、災害復旧事業に理解を深めてもらうために現地に防潮堤の復旧高さを標示しました。

7.4

南三陸町港地区災害復旧事業説明会 開催

7.9→13

災害査定 受検

5月3日の豪雨により被災した箇所について、気仙沼土木事務所からは18件(道路3件、河川15件)の災害査定を受検しました。

7.11→29

海岸防潮堤等の整備に関する市民説明会及び意見交換会 開催

気仙沼市沿岸部を12地区に分割し、災害復旧事業等の計画について市民説明会を実施。市沿岸部は海岸管理者が混在していることから、説明会では管理者毎に説明を行い意見交換を行いました。主な意見としては、防潮堤の高さの決定方法、今後のスケジュール、用地買収等に関する質問がなされました。また景観・環境への配慮や避難ビル・避難道の整備などを求める声もあげられました。

7.11

一般町道西戸線 西戸橋仮橋設置工事 完成

東日本大震災の津波により流出した折立川に架かる町道橋を仮復旧し、車両の通行が可能に。西戸橋は南三陸町で管理する橋ですが「東北地方太平洋沖地震による災害復旧事業に係る業務施行に関する協定」に基づき、県が工事を施行しました。

7.23

南三陸町戸倉地区災害復旧事業説明会 開催

7.31

気仙沼本吉線 被災1箇所、馬籠志津川線 被災3箇所の本復旧工事 完了

主要地方道気仙沼本吉線で被災を受けた1箇所、一般県道馬籠志津川線で被災を受けた3箇所の本復旧工事が完了しました。

8.2

復興交付金事業 気仙沼唐桑線 東舞根道路改良事業計画説明会 開催

8.6

気仙沼港海岸 災害復旧高さ標示板・復旧計画看板 設置

気仙沼港の防潮堤(胸壁)の復旧計画を理解してもらうため、現地に復旧高さ標示板と復旧計画看板を2箇所に設置しました。

8.20

桜川及び県道清水浜志津川港線の災害復旧事業計画説明会 開催

8.28

大島線 被災18箇所の本復旧工事が完了

一般県道大島線で東日本大震災により被災を受けた18箇所の本復旧工事が完了しました。

8.31

戸倉海岸災害復旧着工式 挙行

宮城県と南三陸町は、本吉郡南三陸町戸倉字長須賀地内において「戸倉海岸災害復旧工事が着工式」を開催しました。式典では郡和子復興大臣政務官、小野寺五典衆議院議員をはじめ、関係者約50名に参列をいただき、被災者を悼む黙祷の後、主催者代表から挨拶を行い、来賓の方々から祝辞を賜り、工事の安全と早期完成を祈念し、鉄入れが執り行われました。

9.3

気仙沼土木復旧・復興だより (NO.1)発行

気仙沼土木事務所管内の復旧復興の進捗状況を広く県民の皆さんにお知らせするため、「気仙沼土木復旧・復興だより」を発行し、事務所ホームページで情報提供を開始しました。

10.16

津谷川及び中島海岸の災害復旧事業計画説明会 開催

10.22

(主)気仙沼陸前高田線 被災4箇所の本復旧工事が完了

主要地方道気仙沼陸前高田線で被災を受けた4箇所の本復旧工事が完了しました。

11.1

職員(三陸道用地対策班) 配属

三陸沿岸道路事業促進に伴う業務量増加に対応するために用地担当職員が2名増員されました。

気仙沼土木復旧・復興だより (NO.2)発行

払川ダムのダム湖命名式及び試験湛水式 挙行

宮城県は本吉郡南三陸町歌津字払川地内において「払川ダム湖命名式・払川ダム試験湛水式」を開催しました。式典では小野寺五典衆議院議員をはじめ、関係者約60名に参列をいただき、主催者代表から挨拶を行い、来賓の方々から祝辞を賜り、ダム湖命名板の除幕及び転流工ゲート閉塞が執り行われました。

11.14

気仙沼港商港岸壁災害復旧工事が着工式 挙行

宮城県と気仙沼市は、気仙沼市朝日町地内において「気仙沼港商港岸壁災害復旧工事が着工式」を開催しました。式典では小野寺五典衆議院議員をはじめ、来賓、関係者約100名に参列をいただき、黙祷の後、主催者からの挨拶、復旧工事概要説明を行い、工事の安全と早期復旧を祈念し、鉄入れが執り行われました。

11.15

三陸沿岸道路用地補償契約会 開催 唐桑地区において地権者と20件の用地補償契約を締結しました。

11.30

気仙沼土木復旧・復興だより (NO.3)発行

(主)気仙沼本吉線 被災2箇所、(一)馬籠志津川線 被災2箇所、(国)346号 被災3箇所の本復旧工事が完了

主要地方道気仙沼本吉線で被災を受けた2箇所、一般県道馬籠志津川線で被災を受けた2箇所、(国)346号で被災を受けた3箇所の本復旧工事が完了しました。

H25.1.9→10

三陸沿岸道路用地補償契約会 開催

気仙沼北地区において地権者と31件の用地補償契約を締結しました。

1.17

三陸沿岸道路用地補償契約会 開催 本吉地区において地権者と14件の用地補償契約を締結しました。

1.23

大島架橋事業着工式 挙行

宮城県と気仙沼市は、気仙沼市二ノ浜地区でのトンネル工事着手の祝賀と事業中の安全及び早期完成を祈念して「大島架橋事業着工式」を開催しました。式典では来賓に谷公一復興副大臣及び気仙沼大島架橋促進期成同盟会の皆様をはじめ、本事業の推進に御尽力いただいている約50名の関係者に参列をいただき、鉄入れや記念撮影が執り行われました。

1.23→24

三陸沿岸道路用地補償契約会 開催 気仙沼南地区において地権者と24件の用地補償契約を締結しました(延べ契約率約24%)。

2.6

協議設計 2箇所保留解除

稲淵川及び泊崎半島線の協議設計箇所が保留解除されました。

2.12

(国)284号 被災4箇所、(一)上八瀬気仙沼線 被災3箇所の本復旧工事が完了

国道284号で被災を受けた4箇所、一般県道上八瀬気仙沼線で被災を受けた3箇所の本復旧工事が完了しました。

2.14

気仙沼唐桑線 本町橋開通式 挙行

宮城県と気仙沼市は、気仙沼市本郷地内において「本町橋開通式」を開催しました。式典では菅原茂気仙沼市長をはじめ、来賓、関係者約60名に参列をいただき、主催者からの挨拶、来賓の方々から祝辞を賜り、本町橋開通を祝してテープカット・くす玉開披が執り行われました。

2.26

(主)気仙沼本吉線 被災5箇所の本復旧工事が完了

4.12

大島地区生コンクリート工場竣工式の開催

気仙沼地生コンクリート協同組合の大島地区生コンクリート工場の竣工式が開催されました。4月18日から本格供給が可能となり、悪天候によるフェリー運休による供給が滞る事が無くなり、大島地区の復旧・復興のスピードアップが期待されます。

5.18

払川ダム竣工式を開催

平成24年11月から試験湛水を実施していた払川ダムは、4月7日にサーチャージ水位(洪水時最高水位)を超え、その後、常時満水位(常時最高貯水位)に降下させ、ダム本体の安全を確認し、竣工の運びとなり竣工式を開催しました。



6.12

歌津地区生コンクリート工場竣工式の開催

気仙沼地生コンクリート協同組合の歌津地区生コンクリート工場が大島地区工場に引き続き、完成し竣工式が開催されました。

6.16

気仙沼市防災集団移転促進事業・災害公営住宅整備事業造成工事着工式の開催

気仙沼市で最初となる防災集団移転促進事業・災害公営住宅整備事業工事の着工式が、東舞根地区で開催されました。

7.16

南三陸町志津川地区復興まちづくり事業着工式の開催

志津川東部地区において、まちづくり事業着工式が開催され、“復興の槌音”が聞かれました。

7.28

気仙沼市鹿折地区、南気仙沼地区被災市街地 復興土地区画整理事業の着工式の開催

10.22

国道346号本吉バイパス橋梁命名者記念品贈呈式を開催

津谷川に横架かる橋梁の橋名について、気仙沼市と協働で公募し、「桜子大橋」に決定し、応募頂いた方への記念品贈呈式を開催しました。



10.27

気仙沼大川桜並木お別れ会の開催

壊滅的な被害を受け、来春には伐採が予定されている大川桜並木のお別れ会が、気仙沼大川桜並木を保存する会の主催で開催されました。



12.13

気仙沼港-4.5m岸壁 災害復旧工事の完了

災害復旧を進めていた朝日地区の岸壁について、11月までに-4.5m岸壁が完了し、供用しました。

12.21

南三陸町藤浜団地竣工式の開催

戸倉地区の藤浜団地は、1ヘクタール10区画に住宅地、集会所が建設される予定で、今年度末を目処に土地が引き渡され、住宅建築が開始されます。



H26.1.24

大島架橋建設事業(仮称)二ノ浜1号トンネル貫通式を開催

10月から掘削を開始していた同トンネル

において貫通式を開催し、無事の貫通を祝いました。

2.3

藤浜・栃浜地区海岸災害復旧工事の完成

沈下した離岸堤、突堤の復旧工事が完了しました。海岸施設の復旧完了は当管内で第1号となりました。



3.10

“津波波来の地”の石碑を設置

東日本大震災による未曾有の大津波を、後世に伝え減災に繋げるため、「3.11伝承・減災プロジェクト」との一環として、津波到達点に“津波波来の地”の石碑を9箇所に設置しました。

3.17

大島架橋建設事業(仮称)二ノ浜2号トンネルの貫通

(仮称)二ノ浜1号トンネルに引き続き掘削を開始していた同トンネルが貫通し、工事発注者及び工事請負者等の工事関係者により、現地で無事の貫通を祝いました。



3.26

東舞根復興道路整備事業着工式を開催

「東舞根道路」は、東日本大震災で甚大な被害を受けた東舞根地区で進められている防災集団移転地(舞根1地区、舞根2地区)へのアクセス道路として計画し、本県三陸沿岸部における復興交付金道路事業としては初の着工となりました。

3.28

気仙沼市登米沢地区防災集団移転促進事業造成工事が竣工

気仙沼市内38地区で進められている防災集団移転促進事業の造成完了第1号として、登米沢地区で竣工式が行われました。

気仙沼土木事務所

平成26年度の記録

4.16

「波来の地」石碑プロジェクト完了
「3.11伝承・減災プロジェクト」の一環として、津波到達点に「波来の地」(はらいのち)と記した石碑設置を行い、管内9箇所に設置しました。

4.16

ドーロククリーン作戦大島地区実施
『平成26年度ドーロククリーン作戦』を、4月20日に大島で開催される“気仙沼つばきマラソン”にあわせて、マラソンコースの一部となる一般県道大島線の約7km区間において実施しました。

5.15

鹿折川災害復旧工事業認定取得
土地収用法による東日本大震災の災害復旧工事として、初の事業認定を受けました。

5月～平成27年1月

中島海岸及び津谷川・外尾川災害復旧事業に係る検討ワーキング、検討会及び全体会の開催

災害復旧事業における景観や環境への配慮が必要なことから、地元住民が主体となる検討ワーキング及び専門的な評価を行う検討会を設置し、意見交換を実施するとともに、事業への反映に取組みました。

- H26. 5.13 検討ワーキング準備会
- H26. 5.22 全体説明会
- H26. 5.29 第1回検討ワーキング
- H26. 6. 6 第1回検討会
- H26. 7. 1 第2回検討ワーキング
- H26. 7. 3 第2回検討会
- H26. 7.16 第3回検討ワーキング
- H26. 7.20 検討ワーキング及び検討会
合同現地調査
- H26. 7.29 全体説明会
- H26.11.20 第5回検討ワーキング
- H27. 1.27 第4回検討会

5月～10月

トンネル見学会

(仮称)磯草トンネル(乙姫トンネル)等において、大島地区の住民の皆様を対象とした見学会を開催しました。小学生を含む約120名に御参加いただきました。このほかにも、見学会を開催しました。

- H26.5.8 建設企業委員会二ノ浜トンネル現地視察
- H26.6.6 市議会特別委員会二ノ浜トンネル視察

- H26.6.17 大島架橋事業促進団体二ノ浜トンネル見学会
- H26.6.26 大島婦人会二ノ浜トンネル見学会
- H26.8.22 大島架橋事業促進団体磯草トンネル見学会
- H26.8.26 市議会特別委員会磯草トンネル視察
- H26.9.5 浪板百寿会二ノ浜トンネル見学会
- H26.10.1 気仙沼市医師会二ノ浜トンネル見学会
- H26.10.26 大島島民磯草トンネル見学会

7.19

「大島架橋」模型を「海の市」で展示

海鮮市場「海の市」のグランドオープンにあわせ、「大島架橋」本体の模型を展示し、完成のイメージを広報しました。また、三陸沿岸道の「(仮称)気仙沼湾横断橋」(の模型もあわせて展示しました。

8.7

ドーロククリーン大作戦実施

「道路ふれあい月間」の活動として、道路の環境美化及び不法投棄防止の啓発を目的として、「平成26年度ドーロククリーン大作戦」を、宮城県建設業協会気仙沼支部と共催で、各自治会道路保護組合、スマイルサポーター及び気仙沼市職員の参加を頂き、官民協働の取組として実施しました。

9.25

(仮称)磯草3号トンネル貫通式

(仮称)磯草3号トンネル(乙姫1号トンネル)が貫通し、現地で貫通式を行いました。これにより、大島架橋事業の5つのトンネルすべてが貫通しました。

- H26.5.20(仮称)磯草5号トンネル(乙姫3号トンネル)貫通
- H26.8.26(仮称)磯草4号トンネル(乙姫2号トンネル)貫通



10.21

舞根トンネル貫通式

平成26年5月末に着手した、東舞根復興道

路事業の舞根トンネルが貫通し、貫通式を開催しました。貫通式には地元住民代表や気仙沼市、工事関係者など約50人が出席し、貫通を祝いました。

10.23

二ノ浜1号トンネル本体工事完成

平成26年1月に貫通し、その後、覆土工等を施工していた(仮称)二ノ浜1号トンネル(浦島1号トンネル)が完成しました。

H27.1.15

大島架橋本体工事着工式

橋梁上部工のアーチ部材を工場で作成していた大島架橋本体工事が、現地施工に着工することとなり、工事の安全と早期完成を祈念し、大島で着工式を開催しました。式では、大島小学校児童により、「大島架橋への想い」を題材とした作文を発表していただき、大島架橋によせる思いを改めて感じることができました。

1.15

大島架橋事業施設名称披露

これまで仮称となっていた主要施設の名称が、大島架橋事業施設名称選定委員会(事務局:気仙沼市)で決定し、着工式で披露されました。

1.28

波伝谷復興道路事業の暫定供用開始

波伝谷復興道路において、松崎団地及び波伝谷団地の完成とあわせ、アクセスを確保するため、国道からの接続道路の暫定供用を開始しました。

2.26

(一)泊崎半島線 館浜道路災害復旧工事が完成

東日本大震災により道路法面崩落等により長期間通行止めとなっていた、館浜地区の道路災害復旧工事の完成し、26日に通行止めを解除しました。

3.20

二ノ浜2号トンネル本体工事完成

(仮称)二ノ浜2号トンネル(浦島2号トンネル)が完成しました。

4.16

ドーロクリーン作戦大島地区実施

気仙沼土木事務所が管理する道路の環境美化と不法投棄防止の啓発を目的とした『平成27年度ドーロクリーン作戦』を、4月20日(日)に大島で開催される“気仙沼つばきマラソン”にあわせて、マラソンコースの一部となる一般県道大島線の約7km区間において実施しました。



5.10

磯草地区における大島架橋事業及び海岸保全施設(防潮堤)整備事業に関する意見交換会を開催

大島の磯草地区住民を対象に、県事業について説明し、意見交換を実施しました。

6.6

第1回大島浦の浜・磯草地区復興懇談会を開催

懇談会は、大島の玄関口である浦の浜地区、磯草地区の早期復興に向け、県及び市が計画している復旧・復興事業に関して、会員、県、市の合意形成に向けた協議を行うことを目的に設置したものです。

第2回(7月11日)、第3回(9月5日)、第4回(11月3日)、第5回(12月5日)で協議した内容を基本に事業を進めていくことになりました。

6.9

東舞根復興道路一部供用開始

平成27年6月に東舞根復興道路の一部区間を供用開始しました。

7.11

大島架橋促進協議会現場見学会を開催

大島側で実施していたトンネル工事及び架橋本体工事の見学会を開催し、約180名の参加者が集まりました。

7.27

鹿折大橋橋梁耐震補強工事完了

(主)気仙沼陸前高田線 鹿折大橋の耐震補強工事が完了しました。

8.6

ドーロ・クリーン大作戦実施

「道路ふれあい月間」の活動として、気仙沼土木事務所の管理道路の環境美化及び不法投棄防止の啓発を目的として、「平成27年度ドーロ・クリーン大作戦」を、宮城県建設業協会気仙沼支部と共催で、各自治会道路保護組合、スマイルサポーター及び気仙沼市の方の参加をいただき、官民協働の取組として実施しました。

10.2

戸倉復興道路一部供用開始

10月2日に南三陸町戸倉地区において、国道398号戸倉復興道路を一部供用開始しました。

10.30

磯草長生クラブ 工事現場見学会を開催

大島側で実施していたトンネル工事及び架橋本体工事の見学会を開催し、約30名の参加者が集まりました。



11.27

鹿折地区大島架橋推進懇話会員見学会を開催

本土側で実施している大島架橋本体工事(橋台工)等の見学会を開催し、約20名の参加者が集まりました。

12.20

海岸保全施設(防潮堤)整備事業及び大島架橋事業に関する意見交換会を開催

大島の磯草・浦の浜地区住民を対象に、大島浦の浜・磯草地区復興懇談会の結果を踏まえ、事業説明及び意見交換を実施しました。

12.25

(主)気仙沼陸前高田線災害防除工事完了

(主)気仙沼陸前高田線における災害防除要対策箇所の工事が完了しました。

H28.1.7

(国)398号舗装補修工事完了

(国)398号の傷んでいた区間の舗装補修工事が完了しました。

1.21

荒谷前地区海岸竣工式

平成28年1月6日に荒谷前地区海岸が完成し、1月21日に竣工式を開催しました。(管内第1号)

2.3

新月公民館見学会を開催

本土側で実施している道路改良工事等の見学会を開催し、約20名の参加者が集まりました。



3.24

東舞根復興道路供用開始

平成28年3月に東舞根復興道路が完成し、全線供用開始しました。(県内第1号)



〈大島架橋建設事業完成工事〉

- 12.10 磯草トンネル本体工事
- 12.25 浪板道路改良工事(その1) 完成
- 3.10 大浦道路改良工事 完成
- 3.17 浪板道路改良工事(その2)完成

〈復旧・復興まちづくりパネル展〉

「海の市」協力の下、復旧・復興まちづくりパネル展を開催しました。
夏期:8.1~8.31, 春期:2.17~3.15

気仙沼土木事務所

平成28年度の記録

4.14

ドーロクリーン作戦大島地区実施

気仙沼土木事務所が管理する道路の環境美化と不法投棄防止の啓発を目的とした『平成28年度ドーロクリーン作戦』を、4月17日(日)に大島で開催される“気仙沼つばきマラソン”にあわせて、マラソンコースの一部となる一般県道大島線の約7km区間において実施しました。

4.24

国道346号本吉バイパス供用開始

旧本吉町中心部の商店街周辺は、幅員狭小、隘路区間があり、地域住民や道路利用者などから改善を強く望む声がありました。平成20年度から整備着手していましたが、東日本大震災後復興予算を活用して加速的に事業を推進してきました。



6.23

黒崎地区海岸保全施設災害復旧(防潮堤)完成

南三陸町黒崎地区海岸の防潮堤が完成しました。

7.26

大川リバー・エステ大作戦を実施

平成16年度から実施している「大川リバー・エステ大作戦」を、河川愛護会や沿川自治会及び気仙沼市職員の方の参加をいただき、気仙沼土木事務所職員との官民連携で実施しました。

8.3

ドーロクリーン作戦実施

「道路ふれあい月間」の活動として、「平成28年度ドーロ・クリーン大作戦」を、宮城県建設業協会気仙沼支部と共催で、各自治会道路保護組合、スマイルサポーター及び気仙沼市の方と官民協働の取組として実施しました。

8.10

国道398号戸倉・波伝谷復興道路供用開始

国道398号「戸倉・波伝谷復興道路」が供用開始しました。



8.26

後馬場海岸保全施設災害復旧(防潮堤)完成

気仙沼市後馬場地区海岸の防潮堤が完成しました。



9.16

赤岩五駄鱈外舗装補修工事完了

(主)気仙沼唐桑線及び(国)346号の路面が傷んでいた区間の舗装補修工事を実施しました。

10.21

沖の田地区海岸保全施設災害復旧(防潮堤)完成

気仙沼市沖ノ田地区海岸の防潮堤が完成しました。

10.27

建設工事安全管理研修

はまなすホールで開催した安全管理研修に管内の受注者、発注者327名が参加しました。

11.13

大島架橋市民見学会

気仙沼市民を対象とした現場見学会を開催しました。444名の参加者から橋の大きさなどに驚きの声が上がりました。

11.28

気仙沼港(朝日地区)防潮堤部分完成

気仙沼港(朝日地区)の防潮堤が一部完成しました。



H29.1.31

(一)清水浜志津川港線曙橋供用開始

(一)清水浜志津川港線の曙橋工事が完了しました。



2.24

大島浪板線二ノ浜三ノ浜工区供用開始

防災集団移転促進事業「小々汐地区」から「梶ヶ浦地区」をアクセスする道路として機能するため地区の利便性が向上されました。

3.7

登米沢地区海岸保全施設災害復旧(防潮堤)完成

気仙沼市登米沢地区海岸の防潮堤工事が完了しました。3月18日には地権者の方々と見学会を開催しました。

3.10

(一)大島浪板線小々汐災害防除工事完了

(一)大島浪板線小々汐(1工区)における災害防除要対策箇所の工事が完了しました。



3.29

大島架橋本体架設完了

5日から本土側アーチリブ部から5段階に分けて架設を行い、29日に最後の中央径間部が架設され、本土と大島が計画から50年目に結ばれました。

3.30

国道398号 八幡橋供用開始

国道398号「志津川復興道路」が一部供用開始しました。

4.13

ドーロクリーン作戦大島地区実施

気仙沼大島の一般県道大島線では、大島島内で開催されるマラソン大会の実施前に道路の環境美化と不法投棄防止の啓発を目的とした「平成29年度ドーロクリーン作戦」を実施しました。



6.17

只越バイパス 供用開始

気仙沼市唐桑町中心部と三陸道等を結ぶ一般県道馬場只越線のバイパスが供用されました。この供用により、唐桑地区の復興はもとより、水産業や観光振興に大きく寄与することが期待されます。



7.21

大川リバーエステ大作戦 実施

平成16年度から毎年実施している「大川リバーエステ大作戦」を、河川愛護会や沿川自治会及び気仙沼市職員の方などに参加いただき、官民連携で実施しました。

8.7

気仙沼向洋高校建築現場見学会

小学生と保護者の方々に参加いただき、普段では入ることのできない高校の建築現場で建設機械に試乗するなど「ものづくり」の楽しさを体験いただきました。



10.9

新面瀬橋「橋名板取付式」実施

主要地方道気仙沼唐桑線面瀬橋災害復旧工事において、完成前に地元小学生に橋名板の文字を書いていただき、取付式を行いました。

10.16

館浜地区海岸災害復旧事業 完成

南三陸町歌津字館浜地域では、海岸災害復旧事業と道路災害復旧事業が合わせて完了しました。



10.17

気仙沼大島大橋架橋本体工事完成

大島架橋本体工事は、平成29年3月末に本体架設を行い、その後、本体部の溶接、架設時の補強材撤去、安全施設設置などを行い、工事が完了しました。



10.23

海岸災害復旧事業 完成

気仙沼市唐桑町の海岸災害復旧事業では、3事業が完了しました。

10.28

気仙沼大島大橋 見学会

架橋本体工事が完了したことから、気仙沼市の協力をいただき見学会を開催しました。見学会には、約400名の方々に参加いただき、事業の進捗を自分の足で実感していただきました。

12.25

中沢地先海岸堤防工事完成報告会

気仙沼大島で最初の津波対応堤防が18日完成したことから、地域の方々に参加いただき完成報告会を開催しました。

H30.1.20

大谷海岸地区復興事業着工式実施

大谷海岸地区では、防潮堤と背後のまちづくりについて事業調整や協議を進めてきましたが、防潮堤について、工着手可能となったことから、大谷地区海岸復興工事を発注し、着工式を行いました。



3.12

小々汐地区・滝沢地区災害防除工事 完成

一般県道大島浪板線の小々汐地区と一般県道馬籠東和線の滝沢地区で進めていた災害防除工事が完了しました。



3.24

只越橋「橋名板取付式」実施

一般県道馬場只越線只越橋災害復旧工事では、地域の皆様に復興の状況や郷里への愛着を深めていただくため、地元小学生に橋名板の字を書いていただき、取付式を行いました。

3.25

伊里前バイパス 供用開始

一般県道弘川町向線は、津波被災を受けた旧歌津町中心部の伊里前地区と弘川地区を結ぶ重要な路線であり、このバイパス供用により、歌津地域の復興を加速させ、水産業や観光振興にも寄与することが期待されます。



気仙沼土木事務所

平成30年度の記録

4.12

ドーロクリーン作戦大島地区実施

気仙沼大島の一般県道大島線で、大島島内で開催されるマラソン大会の実施前に道路の環境美化と不法投棄防止の啓発を目的とした「平成30年度ドーロクリーン作戦(大島地区)」を実施しました。

5.20

中島地区海岸防潮堤見学会

平成26年度に工事着手した延長800mにわたる海岸防潮堤が平成30年5月に完成しました。

完成後は、地元の方々からご要望をいただき、施設見学会を開催し、完成した防潮堤の上を歩きながら見ていただきました。

6.26

気仙沼向洋高校の接続道路完成

気仙沼向洋高等学校新校舎の供用に先立ち新校舎外周の市道付け替え及び南側道路が平成30年6月26日に完成しました。



7.13

第2回津谷川環境学習

小泉小学校3～4年の児童を対象に、津谷川周辺で野外活動を行い、チョウの観察を実施しました。

10.20

浪板橋供用開始

気仙沼市の市街地と唐桑を結ぶ主要地方道気仙沼唐桑線浪板橋が10月20日より供用しました。この供用により、唐桑地区の復興はもとより、水産業や観光振興に大きく寄与することが期待されます。



10.31

志津川復興道路完成

一般県道清水浜志津川港線「志津川復興道路」が平成30年10月31日に工事が完了しました。これにより、安全で円滑な交通確保が図られました。



11.3

中島海岸及び津谷川災害復旧事業に係る検討会

第7回目となる検討会を開催し、課題が解決し事業が進捗していることから検討会を閉会しました。

12.6

入谷地区災害防除工事(1工区)完成

一般県道志津川登米線の入谷地区で進めていた災害防除工事(1工区)が完了しました。



12.12

浪板橋災害復旧事業完成

主要地方道気仙沼唐桑線の鹿折地区において、12月12日に浪板橋災害復旧事業が完了しました。



12.26

気仙沼港海岸護岸災害復旧事業完成

平成30年12月26日に陸間工事が完成しました。小々汐地区、榎ヶ浦地区とも東日本大震災により沈下した護岸の機能回復を図りました。

12.26

一般県道志津川登米線「塩入復興道路」一部開通

一般県道志津川登米線「塩入復興道路」は、平成30年12月26日に一部区間(L=0.5km)が開通しました。これにより、安全で円滑な交通確保が図られるとともに、保呂毛地区、田尻畑地区へのアクセスの向上が期待されます。



R1.1.8

浪板橋「感謝状授与式」実施

主要地方道気仙沼唐桑線浪板橋災害復旧工事では、地元小学生に橋名板の文字を書いていただいたお礼として、感謝状授与式を行いました。

2.22

一般県道大島浪板線小々汐～大浦間供用開始

一般県道大島浪板線の小々汐地区～大浦地区間1.8kmの工事が、2月22日に完成したことから地域の方々に参加いただき、完成報告会を開催し、供用を開始しました。



4.7

気仙沼大島大橋の供用

宮城県が「復興のシンボル」として整備を進めてまいりました「気仙沼大島大橋」については、4月7日に供用を開始しました。当日の午前11時から磯草地区（大島側）で開通式典を行い、午後3時から気仙沼大島大橋の供用を開始しました。今回の開通により、本土と大島が陸路でつながりました。大島地区住民の日常生活における利便性の向上や救急医療活動への支援、観光交流や産業の活性化などが期待されます。



5.16

(一) 清水浜志津川港線の供用開始

平磯・荒砥・袖浜防集団地と志津川地区を接続する復興道路として(一)清水浜志津川港線荒砥地区の整備を行い、5月16日に全線供用を開始しました。

6.28

国道398号「志津川復興道路」の供用開始

東日本大震災で壊滅的な被害を受けた志津川地区のまちづくりと連携し、復興道路として国道398号の整備を行い、6月28日に全線供用を開始しました。これにより、志津川市街地へのアクセスが向上しました。



6.30

只越橋の供用開始

気仙沼市唐桑中心部と国道45号を結ぶ一般県道馬場只越線の只越橋が6月30日より供用しました。この供用により、唐桑地区の復興はもとより、水産業や観光振興に大きく寄与することが期待されます。

7.16

桜川河川災害復旧工事完了

東日本大震災で被災した桜川の災害復旧事業として、河川と県道・町道の整備を一体的に行いました。河川堤防はL1津波対応の堤防となっており、7月16日に工事が完成し、7月31日に県道の交通開放を行いました。

7.20

小泉海水浴場が再開

防潮堤工事と駐車場等の完成により、震災以降閉鎖していた中島地区海岸にある小泉海水浴場が7月20日に9年ぶりに再開しました。



8.4

神山川橋の仮橋へ交通切替

神山川河川災害復旧事業に関連し、主要地方道気仙沼唐桑線の神山川橋の架替工事に伴い、8月4日から仮橋の迂回路に交通切替を行いました。

8.6

ドーロ・クリーン大作戦を実施

毎年8月の「道路ふれあい月間」の一環として、管理道路の環境美化及び不法投棄の防止の啓発を目的とし、宮城県建設業協会気仙沼支部と共催で「ドーロ・クリーン大作戦」を実施しました。

9.17

二級河川津谷川第3回環境学習

小泉小学校3～4年の児童を対象に、今年度も3回(6月・7月・9月)津谷川周辺で野外活動を行い、捕獲したチョウの観察を実施しました。



12.26

(一) 大島浪板線の一部を供用開始

浪板橋から浪板2区防災集団移転団地入り口までの600mの区間については、のり面にひび割れが見つかり、地盤が弱いことも確認され、この区間だけ供用が延びていました。その後、夏から追加の強化工事が完了し、12月26日に供用を開始しました。



R2.1.17

気仙沼港臨港道路災害復旧工事完成

東日本大震災で被災した、気仙沼港背後の臨港道路の復旧工事が完了しました。これにより、気仙沼港における東日本大震災の全ての復旧工事が完了となりました。



3.5

杉ノ下地区海岸養浜工事完了

東日本大震災により、消滅してしまった砂浜を再生させるため、養浜砂を投入する工事が令和2年3月5日に完了しました。海水浴場のオープンまで自然の波の力で砂浜が形成されていきます。



気仙沼土木事務所

令和2年度の記録

5.28

中島地区海岸で植樹作業を実施

背後地と一体となった景観の形成を目的として、地域性や環境アドバイザーの意見を考慮し、クロマツなどの植樹作業を行いました。



6.1

(主)気仙沼唐桑線新面瀬橋供用開始

(主)気仙沼唐桑線の災害復旧事業として進めていた、道路と新面瀬橋の工事が完了し、供用を開始しました。



6.12

陸閘自動閉鎖システム運用開始

津波・高潮被害防止のため整備を進めていた、水門・陸閘の自動閉鎖システムが完成し、運用を開始しました。津波注意報・高潮警報等が発表されてから5分後に、朝日3号及び4号陸閘が自動で閉鎖します。

6.30

(一)泊崎半島線泊崎復興道路事業完了

東日本大震災により被災した(一)泊崎半島線の復興道路事業が完了し、供用を開始しました。これにより、歌津地区の復旧・復興道路事業が全て完了しました。



7.22

(国)398号長清水道路・橋災害復旧事業完了

東日本大震災により被災した、(国)398号の長清水地区の道路・橋梁災害復旧事業の全ての工事が完了しました。



10.5

(一)大島浪板線本土側本線供用開始

国道45号から浪板地区までの約L=1.0kmの本線部工事が完了し、供用を開始しました。これにより本土側の全区間で用となり、大島側との通行の利便性が一層高まりました。



R3.1.13

千岩田地先海岸災害復旧事業完了

東日本大震災で被災した、千岩田地先海岸の災害復旧事業が完了しました。

1.29

復旧・復興道路(南三陸町内)全事業完了

(国)398号戸倉道路復興道路事業の完了により、南三陸町内の復旧・復興道路事業が全て完了しました。安全で円滑な交通環境確保と、観光振興などの地域の発展に大きく寄与することが期待されます。



2.20

大島三事業合同市民説明会の開催

大島架橋事業を含め、大島地区で実施中の復旧復興事業の進捗について、気仙沼地方振興事務所水産漁港部、気仙沼市と合同で市民説明会を開催しました。

2.28

長清水川 河川災害復旧事業完了

長清水川の河川災害復旧事業が完了しました。これにより長清水地区の全ての復旧・復興事業が完了しました。



3.28

大谷地区海岸 防潮堤・国道概成道の駅オープン

大谷地区海岸は計画時から地元関係者と意見を交わし、平成29年から工事を開始しました。令和3年2月1日に防潮堤と国道の一部が概成し、これに併せ「道の駅大谷海岸」が3月28日にオープンしました。

3.30

(一)大島浪板線 全区間で供用を開始

大島の磯草工区が完了し、供用を開始しました。これにより(一)大島浪板線は全線が供用となり、緊急輸送道路の確保、生活の利便性の向上、観光や産業の活性化、救急医療活動の支援など、地域の発展と安全安心の確保に大きく寄与します。



仙台塩釜港湾事務所の記録

平成24年度の記録

4.27

ガントリークレーン3号機復旧

3号機が復旧したことにより、高砂ふ頭にあるガントリークレーン4機が全て使用可能となり、一層の荷役の効率化が図られるようになりました。

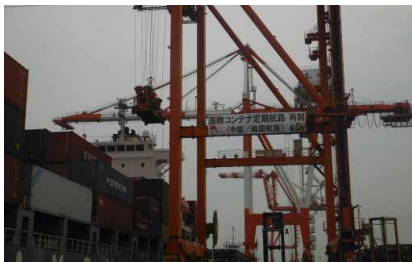


▲ガントリークレーン3号機復旧後

5.17

中国／韓国コンテナ定期航路再開

中国／韓国航路は既に釜山、寧波、上海等を経由する航路は再開していましたが、新たに中国／韓国航路(釜山・蔚山・光陽・大連・青島・釜山等経由)が再開し、国際コンテナ定期航路は4航路が再開しました(震災前5航路)。



▲荷役風景

6.2

塩釜港区岸壁復旧工事着手

塩釜港区貞山2号岸壁の復旧工事に着手(塩釜港区では最初の岸壁復旧工事着手)。



▲貞山2号岸壁エプロン取り壊し



▲貞山2号岸壁鋼管矢板打設

6.16

仙台港区新北防波堤復旧工事着手

仙台港区では県が施工する唯一の防波堤復旧工事(他の防波堤は国が施工)。60～70cm沈下した防波堤を元の高さに戻しました。



▲新北防波堤被覆石撤去



▲新北防波堤上部コンクリート打設

6.22

仙台港区臨港道路復旧着手

仙台港区の臨港道路は車両が通行不能になる程の大きな被害はほとんどありませんでしたが、路面に多数のひび割れ等があり、アスファルト舗装の復旧工事を行いました。



▲ふ頭5号線路面切削状況



▲ふ頭5号線路工事了
(7/19最初の完了箇所)

7.9

仙台港区高砂ふ頭船舶給水施設復旧

地震及び津波により給水施設が損壊し、船舶への給水が出来ない状況でしたが、これにより給水が可能となりました。今後、中野ふ頭等の給水施設についても順次復旧を進めていきます。



▲給水タンク復旧



▲給水管の洗浄状況

7.12

塩釜港区貞山1号上屋復旧着手

津波により被災した上屋の改築工事に着手しました。



▲既存上屋の解体

9.7

仙台臨海鉄道完全復旧

津波被害により運休となっていた仙台臨海鉄道は、仙台北港駅－仙台港駅間が運転を再開し、既に再開していた区間と合わせて完全復旧しました。これにより石油製品の輸送が始まり、震災からの復興に大きく寄与するものと期待されます。



▲石油製品を輸送する仙台臨海鉄道

9.26

仙台港区防波堤復旧工事(国施工分)完了

国が施工している防波堤(4施設)の復旧工事が完了。東北の港湾では国施工の防波堤としては最も早い完成となりました。これにより高波浪時の船舶航行、荷役作業の安全性が向上します。



▲南防波堤 コンクリート打設前



▲前南防波堤 工事完了

10.12

中野5号ふ頭野積場舗装復旧工事完了

仙台港区では沈下した荷捌き地、野積場の嵩上げ工事を国が施工する岸壁の嵩上げに合わせて行いますが、中野地区では当箇所が最初の完了箇所となりました。また、舗装工事と合わせて区画線を引き、利便性の向上を図りました。



▲中野5号ふ頭野積場

11.6

仙台塩釜港塩釜港区災害復旧工事推進式

塩釜港区の災害復旧工事の進捗と利用促進を祈願して推進式を行いました。



▲推進式 鍬入れ

12.17

高松ふ頭舗装復旧工事完了

高松ふ頭については、ソーラスフェンスの復旧を除いて復旧工事が完了しました。



▲高松ふ頭舗装完了

12.20

仙台港区新北防波堤復旧工事完了

県施工の復旧工事では舗装以外で最初の完了箇所となりました。これにより国が施工したものと合わせて仙台港区の防波堤は復旧が完了しました。



▲新北防波堤復旧完了

H25.1.24

(仮称)新高松ふ頭埋立工事開始

既に岸壁工事は国施工で着手していましたが、背後のふ頭用地整備のための埋立工事に着手。(仮称)新高松ふ頭は高松作業船溜まりを埋立で-14m岸壁を整備することにより、貨物の増加、穀物船の大型化に対応します。



▲埋立開始

4月

向洋海浜公園 供用開始(仙台区)

震災により利用できなくなりましたが、復旧工事が完了しました。サーフィンの適地としても知られています。



5月

大型客船コスタビクトリア号寄港(仙台区)

初めての寄港で記念式典を開催しました。総トン数75,000トン,乗客数2,000人



6月

東宮浜物揚場復旧工事完了(塩釜港区)

塩釜港区復旧工事完了第1号となりました。

6月

国際定期コンテナ航路韓国航路が中国まで延伸(仙台区)

平成24年3月31日に、韓国航路として再開していた定期航路が中国まで延伸されました。

6月

貞山2号岸壁復旧工事完了(塩釜港区)

取扱貨物量が増大してきており、早速利用が始まりました。

7月

中野上屋復旧工事完成(仙台区)

全面改築して復旧工事が完了しました。

9月

西ふ頭上屋復旧工事完了(塩釜港区)

中ふ頭2号上屋復旧工事完了(塩釜港区)

全面改築し復旧しました。



9月

大型客船ぱしふいっくびいなす寄港(仙台区)

コスタビクトリア号寄港 飛鳥Ⅱ寄港

10月

港湾保安総合訓練実施(仙台区)

国際埠頭での緊急事態時の関係機関の連携や対応の確認と対応能力の向上のために実施しました。



10月

復興事業発生残土の有効活用の協定締結

(塩竈市,七ヶ浜町,仙台土木,仙塩港湾)

復興事業等で発生した建設発生土の有効活用を目的として七ヶ浜町,塩竈市,仙台土木事務所,仙塩港湾事務所で協定を締結しました。

10月

松島公園津波防災緑地調整会議(松島港区)

松島公園の土地利用と防潮堤との調整を行いました。



中ふ頭復旧工事状況(塩釜港区)



貞山ふ頭復旧工事状況(塩釜港区)



雷神護岸 復旧工事状況(仙台区)



導流堤復旧工事状況(松島港区)

H26.3月

中ふ頭1号上屋復旧工事完了(塩釜港区)

津波被災を受け使用不能になっていましたが、全面改築し復旧しました。



仙台塩釜港湾事務所

平成26年度の記録

4.18

新規コンテナ定期航路就航(仙台港区)

仙台塩釜港と釜山港、釜山新港をダイレクトに結ぶ航路が就航しました。これにより外貨コンテナは6航路となりました。



4.29

スリーエム仙台港パーク一部供用開始(仙台港区)

震災により閉園していた中央公園は「スリーエム仙台港パーク」と名称を改め、テニスコート等の一部施設の利用を再開しました。

6月

高砂コンテナヤード拡張工事開始(仙台港区)

コンテナ取扱量の増加に伴い、約6haの拡張工事に着手しました。

7月

貞山1号岸壁復旧工事完了(塩釜港区)

平成24年度から着手し、部分供用をしながら工事を進めていた工事が完了しました。



8.9

スリーエム仙台港パーク一部供用開始(仙台港区)

4月の一部供用開始に引き続き、復旧整備を終えた野球場や海の広場などの一部施設の利用を再開しました。

9月

仙台港区防潮堤整備工事開始(仙台港区)

中野地区の工事に着手しました。

9月

大型客船 飛鳥II、にっぽん丸、ぱしふいっくびいなす寄港(仙台港区)

10月

臨港道路南海岸線供用開始(仙台港区)

昨年度から着手していた工事が完了しました。これにより、拡張用地の一部について、空コンテナ置き場として暫定供用が可能となりました。

10月

港湾保安総合訓練実施(仙台港区)

国際ふ頭での緊急事態時の関係機関の連携や対応能力の向上のため実施しました。



12月

浮さん橋一部供用開始(松島港区)

津波により流失していた浮さん橋の復旧を行っていましたが、一部施設について供用を開始しました。浮さん橋は、大分県で製作され、松島まで曳航されてきました。



12月

新高松埠頭舗装工事開始(仙台港区)

高松船溜りは、穀物船大型化等に対応するため平成24年度末より造成を行っており

ました。この度埋立が完了したため、舗装工事に着手しました。

H27.1月

中ふ頭前面さん橋復旧工事完了(塩釜港区)

平成24年度末から着手していた復旧工事が完了しました。



2月

東ふ頭岸壁復旧工事完了(塩釜港区)

平成24年から利用者の方々と調整を図りながら施工を進めておりました復旧工事が完了しました。



3月

高砂船溜復旧工事完了(仙台港区)

平成25年度から着手していた復旧工事が完了しました。早速漁業利用者等に利用されています。



6.8

新規コンテナ航路就航(北米航路) (仙台港区)

北米西岸の港の後、バンクーバー港から仙台港に寄港し、日本国内他港及び釜山新港を経て北米西岸に戻る航路が就航しました。この航路は、仙台塩釜港が日本のファーストポートとなる輸入に適した航路です。これにより外貿コンテナは6航路となりました。



7.2

代ヶ崎清水防潮堤災害復旧工事開始(塩釜港区)

塩釜港区代ヶ崎清水防潮堤の災害復旧工事に着手しました。(施工延長:594.1m)

7.16

LNG船第1船が入港(仙台港区)

初めてLNG(液化天然ガス)船が入港しました。新仙台火力発電所で建設したLNGを利用した発電施設は、世界最高水準の発電効率を誇り、12月には、2基のうち1基で営業運転を開始しました。

9月

大型客船寄港(仙台港区) (飛鳥II, にっぽん丸, ぱしふいっくびいなす)



10.20

港湾保安総合訓練実施(仙台港区)

国際ふ頭での緊急事態時の関係機関の連携や対応能力の向上のため実施しました。



10月

湊浜親水護岸外災害復旧工事完了 (仙台港区)

平成25年度末から着手していた復旧工事が完了しました。



11月

波打浜護岸外災害復旧工事完了 (松島港区)

平成25年度末から着手していた復旧工事が完了しました。



H28.1月

雷神荷捌地照明設備設置工事完了 (仙台港区)

今年度着手していた照明設置工事が完了しました。これにより、夜間等における荷役作業の安全性の向上が期待されます。



2.16

新規定期コンテナ航路就航(仙台港区)

仙台塩釜港と京浜港を結ぶ国際フィーダー航路が新たに開設されました。これにより、仙台塩釜港の国際フィーダー航路は、過去最高の9航路となり、国際フィーダーコンテナの取扱量が国内No.1(平成26年実績)となりました。



3月

吉田浜防波堤外災害復旧工事完了 (塩釜港区)

平成26年度から着手していた復旧工事が完了しました。



3月

貞山ふ頭防潮堤整備工事着手(塩釜港区)

塩釜港区の工事に着手しました。

仙台塩釜港湾事務所

平成28年度の記録

4.19

コンテナ定期航路開設(仙台港区)

新たな韓国航路が開設されました。これによりコンテナ定期航路は、外貿航路が9航路、国際フィーダー航路が9航路の計18航路と、過去最高の航路数となっております。



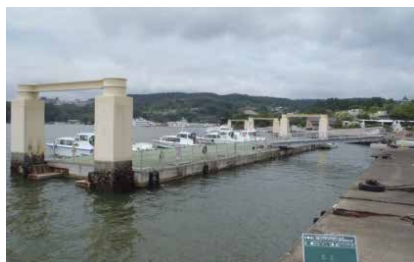
5月～11月

大型客船寄港(飛鳥II, にっぽん丸)(仙台港区)



7.15

仙随(A, B) 45m浮き桟橋災害復旧工事完成(松島港区)



11月

大型客船寄港(飛鳥II, にっぽん丸)(仙台港区)



11.21

港湾保安対策総合訓練を実施(仙台港区)

国際ふ頭でのテロ事案を想定し、関係機関の連携や事案対応能力の向上を図るため総合訓練を実施しました。



12.8

西ふ頭桟橋災害復旧工事完成(塩釜港区)



H29.1.20

コンテナ貨物取扱量が24万TEUを突破(仙台港区)

仙台塩釜港における平成28年のコンテナ貨物取扱量は、約24万6千TEU(速報値)で、2年連続で過去最高の取扱量を更新しました。



2.21

港湾隣接地域の指定に係る公聴会を開催(塩釜港区)

塩釜港区要害浦における防潮堤の整備にあたり、港湾法に基づく港湾隣接地域の指定が必要となるため、関係者から意見をいただく公聴会を開催しました。

4.17

大型客船「飛鳥II」寄港(仙台港区)

4月17日今年度最初の大型客船「飛鳥II」が仙台港に寄港しました。以降、仙台港には「セレブリティ・ミレニアム」、「にっぽん丸」、「パシフィック・ビーナス」等といった大型客船が寄港しました。

4.29

大型客船「セレブリティ・ミレニアム」初入港(仙台港区)

セレブリティクルーズが運航する大型客船「セレブリティ・ミレニアム」が仙台港に初入港しました。当日は天候にも恵まれ、船外での歓迎セレモニー、伊達武将隊による歓迎演舞等が行われました。



6.12

土木部防災訓練を実施

宮城県震災対策推進条例に定める「みやぎ県民防災の日」に合わせて、総合防災訓練を実施しました。

6.25

「ヒアリ」の緊急点検調査を実施(仙台港区)

平成29年5月26日に、尼崎市の神戸港において、国内で初めて「ヒアリ」が確認されたことを受けて、仙台港の高砂コンテナターミナルにおいて、緊急点検調査が行われました。



7.31

臨港道路「ふ頭8号線」が供用開始(仙台港区)

仙台港区における慢性的な交通渋滞の発

生、港湾物流対策として、平成28年2月から進められた臨港道路「ふ頭8号線」の工事が完成し、供用開始しました。



8.2

漁港・港湾合同労働安全講習会を開催

災害復旧・復興工事がピークを向かえる中、夏季休業期間を前に、仙台地方振興事務所水産漁港部と仙台塩釜港湾事務所合同による労働安全講習会を開催しました。当日は、県関係者のほか、工事受注者等約80名が参加して行われました。



8.17

千賀の浦観光物揚場災害復旧工事が完成(塩釜港区)



12.6

中の島胸壁災害復旧工事が完成(塩釜港区)



12.15

「高松2号ふ頭」が供用開始(仙台港区)

仙台港区における物流機能の効率化、取扱貨物量の増加に伴う混雑解消等を目的として、平成23年度から進めてきた高松2号ふ頭用地造成事業が完成し、供用開始しました。

H30.1月

コンテナ貨物取扱量が25万TEUを突破(仙台港区)

高砂コンテナターミナルにおける平成29年のコンテナ貨物取扱量は、約256千TEU(速報値)を記録し、平成28年の過去最高を更新しました。



1.28

「みなと6号野積場」が暫定供用開始(仙台港区)

仙台港における完成自動車の輸出増に対応するため、急遽みなと6号野積場においてモータープールの造成及び舗装工事が行われ、1月28日に暫定供用を開始しました。



3.5

一本松胸壁災害復旧工事が完成(塩釜港区)



仙台塩釜港湾事務所

平成30年度の記録

5.14

土井復興副大臣が復興事業現場を視察(仙台港区)

土井復興副大臣が、当所が整備を進めている津波漂流物対策施設の進捗状況について、現場視察を行いました。



6.9

「向洋地区ふ頭再編改良事業着工式」を開催(仙台港区)

国土交通省と宮城県の共催で、「仙台塩釜港向洋地区ふ頭再編改良事業着工式」が夢メッセみやぎで開催され、国や県関係者のほか、地元港湾関連企業、工事関係者等約150人が出席し、盛大に行われました。



6.12

土木部防災訓練を実施

宮城県震災対策推進条例に定める「みやぎ県民防災の日」に合わせて、総合防災訓練を実施しました。

7.5

新型自動車運搬船「ふじき」就航・初入港(仙台港区)

(株)フジトランスコーポレーション所有の新型自動車運搬船「ふじき」(15,000トン)が就航し、仙台塩釜港(中野3号ふ頭)に初入港しました。



7月

寒風沢防潮堤工事が完成(塩釜港区)



7.31

「ヒアリ」侵入防止対策の実施(仙台港区)

高砂コンテナターミナルにおける「ヒアリ」の侵入及び拡散を防止するため、港内の点検作業やトラップの設置・回収等を実施しました。

9.30

大型クルーズ船寄港に向けた安全対策の完了(仙台港区)

今後増加が見込まれる大型クルーズ船の寄港に向けて、高松2号ふ頭に「着脱式」の係船柱と防舷材を増設しました。

10月

桂島前浜防潮堤災害復旧工事が完成(塩釜港区)



10.29

「ヒアリ」侵入防止対策の実施(仙台港区)

11.17

「松島港区災害復旧工事竣工式」を開催(松島港区)

東日本大震災で被災した松島港区の港湾施設及び海岸保全施設の災害復旧工事が平成30年10月に完成し、松島町石田沢防災センターで竣工式を開催しました。



11.21

「港湾保安総合訓練」を実施(仙台港区)

緊急事態発生時の対応に関する知識及び能力の向上、関係者間の連携強化等を目的として、海上保安部をはじめ関係者が仙台港に参集し、保安総合訓練が行われました。

12.1

「みなと6号野積場」本供用開始(仙台港区)

仙台港における完成自動車の取扱増に対応するため、平成29年度から進めてきた「みなと6号野積場」のモータープール舗装工事が完成し、本供用を開始しました。

12.4

中国との新規コンテナ定期航路開設(仙台港区)

平成30年12月4日、新たに中国との外貿コンテナ定期航路が開設され、高砂コンテナターミナルにおいて歓迎セレモニーが行われました。



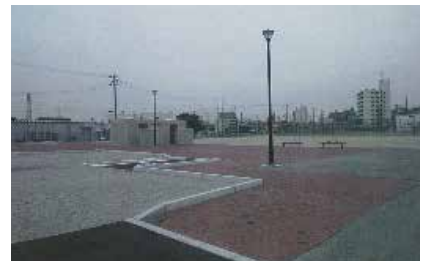
R1.1月

コンテナ貨物取扱量が27万TEUを突破(仙台港区)

高砂コンテナターミナルにおける平成30年のコンテナ貨物取扱量は、約278千TEU(速報値)を記録し、4年連続で過去最高を更新しました。

3月

中の島公園災害復旧工事が完成(塩釜港区)



4.29

客船「セブンシーズ・マリナー」入港 (仙台港区)

旅客船「セブンシーズ・マリナー」が仙台塩釜港(高松2号ふ頭岸壁)に入港しました。



6.12

土木部防災訓練を実施

三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の地震が発生し、東北地方太平洋沿岸に大津波警報が発表されたという想定のもと、防災訓練を実施しました。



7月

被制御局(塩釜1)が完成(塩釜港区)

8月

西ふ頭観光棧橋工事が完成(塩釜港区)



8.5

「ヒアリ」侵入防止対策の実施(仙台港区)

高砂コンテナターミナルにおいて「ヒアリ」の侵入及び拡散防止を図るため、港内の点検作業やトラップ設置・回収等を実施しました。



10月

小友浜護岸工事が完成(塩釜港区)

10.9

「ヒアリ」侵入防止対策の実施(仙台港区)

11.6

「港湾保安総合訓練」を実施(仙台港区)

緊急事態発生時の対応に関する知識及び能力の向上、関係者間の連携強化等を目的として、海上保安部をはじめ関係者が仙台港に参集し、保安総合訓練が行われました。

11.17

「高砂コンテナターミナル休憩所」竣工(仙台港区)

高砂コンテナターミナル内に、(一財)東北港湾福利厚生協会が整備を進めていた休憩所が完成しました。



11.19

「ヒアリ」侵入防止対策の実施(仙台港区)

12月

栄船だまりネーミングライツスポンサーが決定(仙台港区)

宮城マリンサービス(株)がスポンサーとなり、愛称は「宮城マリンタグボートステーション仙台」となりました。



12.4

RORO船「神珠丸」初入港(仙台港区)

栗林商船(株)所有の「神珠丸」(14,502トン)が就航し、仙台塩釜港(高松2号ふ頭岸壁)に初入港しました。



R2.1月

コンテナ貨物取扱量が28.9万TEUを突破(仙台港区)

高砂コンテナターミナルの平成31年コンテナ貨物取扱量は、約28.9万TEU(速報値)を記録。5年連続で過去最高を更新しました。



3月

「高砂コンテナターミナルトラックゲート」が完成(仙台港区)

高砂コンテナターミナル拡張事業で整備を進めていたトラックゲート(IN6ゲート、OUT2ゲート)が完成しました。



仙台塩釜港湾事務所

令和2年度の記録

4.13

「高砂コンテナターミナルトラックゲート」供用開始(仙台港区)

新たなトラックゲート(実入り:8ゲート)が完成し、ゲートの切替を行いました。



6.12

水門・陸閘自動閉鎖システム運用開始

『みやぎ県民防災の日』に併せ、塩釜港区の4地区6エリア20基の操作訓練を実施したうえでシステム運用を開始しました。



6.12

土木部防災訓練を実施

三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の地震が発生し、東北地方太平洋沿岸に大津波警報が発表されたという想定のもと、防災訓練を実施しました。



8月

貞山通(A)胸壁外災害復旧工事(その2)完成(塩釜港区)

貞山通(A)胸壁外災害復旧工事が完成しました。また、(その3)工事も7月に完成しました。



9月

仙台港区陸閘被制御局上屋新築工事(その2)完成

仙台港区陸閘被制御局上屋新築工事(その2)が完成しました。



10.2

油流出事故対応訓練

油流出事故を想定した『オイルフェンス展開訓練』を仙台港区中野4号岸壁で実施しました。



12月

代ヶ崎船たまり(A)防潮堤外災害復旧工事完成(塩釜港区)

代ヶ崎船たまり(A)防潮堤外災害復旧工事が完成し、代ヶ崎(谷地)地区の災害復旧が全て完了しました。



12.21

多目的置場(CFS等)運用開始(仙台港区)

新たな多目的置場(CFS等)が完成し、運用を開始しました。

R3.月

石浜護岸外災害復旧工事完成 塩釜港区(離島)

石浜護岸外災害復旧工事が完成し、離島の災害復旧が全て完了しました。



1月

コンテナ取扱量 27万TEUを維持

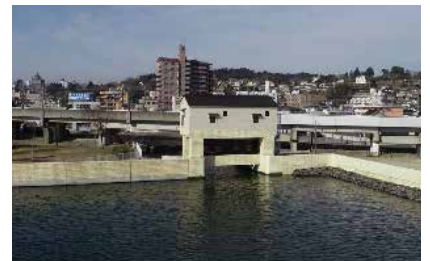
令和2年のコンテナ取扱量は、コロナ感染症拡大の影響を受けたものの、対前年度比93%の27万TEU(速報値)を維持しました。



3月

海岸通水門外工事完成(塩釜港区)

北浜地区の海岸通水門外工事が完成しました。



年次ごとの復旧・復興トピックス

復旧・復興進捗状況

土木部各所属の活動記録

復旧・復興事業完成事例

復興フォーラム開催記録

資料編

石巻港湾事務所の記録

平成24年度の記録

4.1

自治法派遣職員辞令伝達式 実施

石巻港湾事務所には秋田県から5名、富山県から昨年度末より1名多い3名の計8名が配属されました。

5.11

臨港道路 雲雀野中央線災害復旧(その2)工事完了

雲雀野中央線約1.1kmの復旧を行いました。



▲雲雀野中央線復旧後

5.18

臨港道路 釜北線災害復旧(その3)工事完了

釜北線約3kmのうち約1.1kmの復旧を行いました。

5.31

臨港道路 釜北線災害復旧(その2)工事完了

釜北線約3kmのうち800mの復旧を行いました。



▲釜北線(その2)工事復旧後

6.4

石巻港 災害復旧工事 着工式

石巻市、東松島市と共催で約150名の来賓および関係者出席のもと、石巻港の災害復旧工事着工式を執り行いました。



▲石巻港災害復旧工事着工式(着工の様子)

6.29

表浜港防波堤災害復旧工事完了

防波堤を約1m嵩上げし、被災前の高さに復旧しました。



▲表浜防波堤復旧後

7.25

海上自衛隊護衛艦「たかなみ」一般公開

東日本大震災時にいち早く洋上に展開し救助活動を行った海上自衛隊護衛艦「たかなみ」の表敬寄港が行われ2日間の一般公開で約1,700人の来場がありました。



▲護衛艦「たかなみ」

8.6

石巻工業港西水路災害復旧(その1)工事完了

津波による堆積物を撤去し、水路の水深を確保しました。

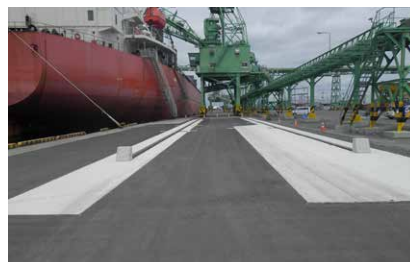


▲石巻工業港

8.7

石巻港 日和岸壁ニューマチックアンローダー 基礎災害復旧工事完了

港湾荷役機械が再び利用できるよう復旧を行いました。



▲ニューマチックアンローダー基礎復旧後

8.8

石巻港 復旧見学会

国土交通省東北地方整備局塩釜港湾・空港整備事務所と共催で一般応募の小中学生25名、保護者18名、および港湾利用者等10名、行政関係者7名の計60名に対し現場説明会を実施しました。



▲石巻港復旧見学会(南防波堤)

8.27

臨港道路 雲雀野中央線災害復旧(その1)工事完了

雲雀野中央線外8路線約2.3kmの復旧を行いました。

9.24

大型客船「にっぽん丸」寄港

復興にむけ応援の意味も含め寄港。寄港に際しては歓迎式典や観光地・被災地を回るオプションツアーも企画され、一般には船内見学会を開催しました。



▲「にっぽん丸」

9.26

大型客船「ぱしふいっくびいなす」寄港

復興にむけ応援の意味も含め寄港。寄港に際しては歓迎式典や観光地・被災地を回るオプションツアーも企画され、一般には船内見学会を開催しました。

10.3

石浜岸壁部分供用開始

女川地域の産業であるサンマ漁に合わせ女川港石浜地区岸壁の一部を完成し、供用を開始しました。

10.17

女川湾口防波堤災害復旧工事 着工式

女川町と共催で約100名の来賓および関係者出席のもと、女川湾口防波堤の災害復旧工事で着工式を執り行いました。

10.19

石巻工業港西水路災害復旧(その2)工事完了

津波による堆積物を撤去し、水路の水深を確保しました。

11.13

荻浜港物揚場部分供用開始

荻浜地域の産業であるかき養殖業に合わせ物揚場の一部を完成し、供用を開始しました。

12.5

昭和瀝青工業株式会社東北営業所・東北工場・東北油槽所開設 震災復興を後押しするアスファルト製造・

販売の営業所が石巻港内の重吉町に開設され、震災後としては初の港湾域内への新規企業進出となりました。

H25.1.30

女川湾口防波堤 災害復旧工事 ケーソン進水

仙台塩釜港石巻区内で製作していた鉄筋コンクリート製のケーソンの一部が完成し、海上仮置場へ移設(進水)を行いました。



▲湾口防波堤災害復旧工事

2.12

雲雀野中央埠頭荷捌地災害復旧 工事完了

地震による沈下・津波により損壊した荷捌地を復旧しました。



▲雲雀野中央埠頭荷捌地災害復旧工事復旧後

2.19

中島3号岸壁の供用開始

中島15,000t岸壁外災害復旧工事において先行して完成した中島3号岸壁の供用を開始しました。



▲中島3号岸壁復旧後

2.20

雲雀野地区 震災廃棄物の埋立開始

東日本大震災に伴い発生した震災廃棄物の処分を支援する廃棄物埋立護岸L=458.6mの内、一次仮締切L=418.6mを完了し、震災廃棄物焼却灰等の埋立を開始しました。



▲雲雀野廃棄物埋立護岸(一次締切完了)

3月上旬

公用車庫復旧工事完了

津波により流出した公用車庫兼書庫棟を復旧し、駐車場等の改修と合わせ事務所の復旧が完了しました。



▲事務所復旧後

3月中旬

臨港道路 釜北線(その1)外災害復旧工事完了

釜北線約1km、東1号線約0.9km、東海岸線約1.8kmの復旧を行いました。

南浜岸壁部分供用開始

南浜岸壁外災害復旧工事において、先行して完成した南浜岸壁の一部について供用を開始しました。



▲南浜岸壁復旧後

4.23

南浜ふ頭荷捌き地部分供用開始

5.1

金華山港2号物揚場部分供用開始

金華山港2号物揚場が完成し供用を開始した。それに伴い金華山定期航路が復活しGWは多くの参拝客で賑わいました。



5.9

大型客船「ふじ」入港

大型客船の「ふじ」が中島埠頭に寄港しました。



6.22

雲雀野防波堤災害復旧工事完了

震災により約1mの沈下が発生した雲雀野防波堤の嵩上げ復旧が完了しました。



8.30

砕氷艦「しらせ」入港

震災後初となる港湾感謝祭の開催に合わせて砕氷艦「しらせ」が寄港し一般公開されました。



9.9

女川港石浜地区-7.5m 岸壁一部供用開始

女川港石浜地区-7.5m岸壁の一部が完成し供用が開始しました。



9.10

大型客船「ぱしふいっくびいなす」入港

大型客船「ぱしふいっくびいなす」が寄港し、ウェルカムフェスタを開催しました。

10.9

大型客船「オーシャンドリーム」入港

石巻港初となる外国籍客船「オーシャンドリーム」が入港しました。

10.29

石巻港保安総合訓練を実施

石巻港で不審船・不審者が発見されるといふシナリオで海上保安庁と合同で保安総合訓練を実施しました。

11.15

パナマックス船初入港

パナマックス級バルク貨物船が初入港しました。



12.11

第2回防災訓練を実施

第2回防災訓練を現場企業(21業者)と併せて行った。訓練では平日の災害を想定し、東部下水道事務所への事務所移転機能を併せて確認しました。



12.19

潮見1,000t岸壁完成

潮見ふ頭1,000t岸壁が完成し、供用を開始しました。

H26.1.29

日和岸壁完成

3.4

南浜10,000t岸壁完成

南浜10,000t岸壁が完成し、供用を開始しました。



3.25

中島15,000t岸壁完成

中島ふ頭15,000t岸壁が完成し、供用を開始しました。



3.25

大手ふ頭完成

大手ふ頭が完成し、供用を開始しました。



石巻港湾事務所

平成26年度の記録

6.12

客船「にっぽん丸」が石巻に寄港

客船「にっぽん丸」が石巻港区中島ふ頭に寄港。震災後3回目の寄港になりました。



9.31

災害廃棄物処理施設(石巻ブロック)が完全撤退

東日本大震災により発生した災害廃棄物の処理場として使用されていた処理施設が9月末を持って全ての処理施設が解体され完全撤退しました。

10.18,19

帆船「海王丸」寄港

石巻港区大手埠頭に帆船「海王丸」が寄港し、一般公開を行いました。



10.22

女川港石浜地区の災害復旧工事が完了

東日本大震災で被災した、女川港石浜地区の港湾施設の災害復旧工事が完了しました。



10.31

客船「ぱしふいっくびいなす」が石巻に寄港

客船「ぱしふいっくびいなす」が石巻港区大手ふ頭に寄港しました。

11.4

雄勝港大浜地区の災害復旧工事が完了

東日本大震災で被災した、女川港石浜地区の港湾施設の災害復旧工事が完了しました。



11.19

総合保安訓練を実施

石巻港区大手ふ頭において、港湾保安関係者約30名が参加し、保安総合訓練を行いました。

11.28

日和ふ頭荷捌地災害復旧工事が完了

東日本大震災で被災した日和埠頭荷捌地の災害復旧工事(その1)が完了しました。

H27.2.20

金華山港災害復旧完了

金華山港の災害復旧工事が完了しました。



2.25

西防波堤が完成

西防波堤開口部L=86.8mが完成し、西防波堤事業が完了しました。



3.2

西水路南地区防潮堤工事(その1)完成

西水路南地区防潮堤(その1)工事が完了しました。



3.12

雄勝港立浜地区災害復旧工事が完了

雄勝港立浜地区の災害復旧工事が完了しました。



3.20

大手地区防潮堤工事が完了

大手地区防潮堤工事が完了しました。

3.20

荻浜港災害復旧工事完了

荻浜港の災害復旧工事が完了しました。

3.23

雄勝港唐桑・浪板地区の災害復旧工事が完了

雄勝港唐桑・浪板地区における災害復旧工事が完了しました。



3.25

重吉地区防潮堤工事が完了

重吉地区防潮堤工事が完了しました。

5.15

客船「にっぽん丸」が石巻に寄港

客船「にっぽん丸」が石巻港区大手ふ頭に寄港。震災後4回目の寄港となりました。



8.5

最新鋭タグボート「宮城丸」が石巻港に就航

東北唯一の国際拠点港湾・仙台塩釜港の一港として、また国際バルク戦略港湾の連携港として、石巻港に配備され就航しました。



10.26

表浜港災害復旧工事完了

表浜港の災害復旧工事が完了しました。

11.26

石巻雲雀野発電所の起工式開催

日本製紙石巻エネルギーセンター株式会社が建設する石炭・バイオマス混焼火力発電施設(石巻雲雀野発電所)の起工式が、建設予定地である石巻市雲雀野地区で行われました。

11.27

女川港横浦地区防波堤災害復旧工事完了

女川港横浦地区防波堤災害復旧工事が完了しました。



12.1

石巻市西浜地区新造船所の地鎮祭が開催

東日本大震災で被災した(株)鈴木造船所と(株)海洋技研は、新たに合同会社を設立し、石巻市西浜地区に新造船所を建設することとなりました。



12.3

木材加工工場の新築工事に係る地鎮祭が開催

山大株式会社の木材加工工場の建設予定地で地鎮祭が開催されました。

12.15

石巻工業高等学校生徒による防潮堤工事見学会開催

宮城県建設業協会石巻支部青年会が主催する建設現場見学会が石巻市西浜町の西浜防潮堤災害復旧工事現場で開催されました。



H28.1.26

日和ふ頭荷捌地災害復旧工事完了

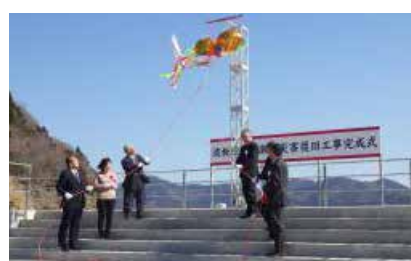
日和ふ頭荷捌地災害復旧工事が完了しました。



2.19

雄勝港浪板地区「波板防潮堤」完成式開催

平成27年3月に着工した雄勝港波板地区浪板防潮堤災害復旧工事が、平成28年2月に完成しました。これを地域の方々と祝うとともに地域づくりへの思いを共有するため、石巻市と合同で完成式を開催しました。



3.25

女川みなとびらき・湾口防波堤完成式開催

女川町地方卸売市場東荷捌場特設会場において、女川みなとびらき・湾口防波堤完成式が多くの関係者が参加するなか、盛大に行われました。津波被災から満5年を迎え、新たな港が完成し、安全・安心が確保され、女川町のより一層の発展が期待されます。



石巻港湾事務所

平成28年度の記録

4.1

旅客船「ぱしふいっくびいなす」
入港

旅客船「ぱしふいっくびいなす」が石巻港
大手ふ頭に寄港しました。

入港セレモニーとして桜坂高校吹奏楽部
による生演奏や伊達武将隊による演舞披
露が行われました。

6.10

総合防災訓練を実施

宮城県沖を震源とするマグニチュード8.0
の地震が発生し、県内全域で震度6弱が観
測され、津波注意報が発表されたという想
定のもと、事前に職員ヘシナリオを知らせ
ない方式で対応訓練を実施しました。



6.16

浚渫工事の現場見学会を開催

釜地区で行っている浚渫工事の現場を学
ぶため、職員向けの研修会を開催しまし
た。砕岩船兼グラブ浚渫船に乗り込み、施
工業者から設備や作業手順などの説明を
受け、実際の浚渫作業の様子を見学しまし
た。



6.28

H27年度全建賞受賞

「女川湾口防波堤災害復旧事業」が一般社
団法人全日本建設技術協会による全建賞
を受賞しました。経済性を考慮した工法を
取り入れたほか、防潮堤計画高を抑え、女
川町の復興まちづくりに寄与した点が高く
評価されました。



8.20

地球深部探査船「ちきゅう」入港

JAMSTEC(国立開発研究法人海洋研究
開発機構)が所有する世界最高の掘削能
力を持つ地球深部探査船「ちきゅう」が石
巻港雲雀野中央ふ頭に入港し、歓迎式典
が行われました。

翌21日には第15回港湾感謝祭が開催さ
れ、「ちきゅう」の船内見学は長蛇の列がで
きるなど、大盛況でした。

9.13

油流出事故対応訓練を実施

石巻港南浜地内において、油流出事故を
想定したオイルフェンスの展張・巻取操作
等の訓練を実施しました。

今回の訓練では、オイルフェンス巻取機を
使った操作方法の確認のほか、油吸着マッ
トによる油の回収方法、無線機の使用方式
を確認しました。



10.21

「東水路南地区外防潮堤工事」

現場研修会を実施

石巻港で施工する東水路南地区防潮堤工
事の現場研修会を開催しました。
現場事務所にて工事概要、防潮堤上部コ
ンクリートの作業手順、安全対策について
学んだほか、想定していなかった事象に対
してどのように対応したかなど、生の意見
を聞くことができました。

10.24

西浜防潮堤災害復旧(その1)

工事完了

西浜防潮堤災害復旧(その1)工事が完了
しました。

T P:7.2m 延長:1,021m

12.7

保安総合訓練を実施

SOLAS条約(海上における人命の安全の
ための国際条約)に基づく港湾における保
安対策強化の一環として保安総合訓練を
実施しました。

石巻港にテロリストが現れたという想定で
関係者に避難情報の周知を行う情報伝達
訓練と、テロリストを追跡、拘束、搬送する
までの演習訓練を行いました。



H29.2.23

西水路北地区防潮堤(その1)

工事完了

西水路北地区防潮堤(その1)工事が完了
しました。

T P:3.5m 延長:809m



3.3

東水路南地区防潮堤工事完了

東水路南地区防潮堤工事が完了しました。

T P:3.5m 延長:959m

3.15

東浜防潮堤災害復旧(その1)

工事完了

東浜防潮堤災害復旧(その1)工事が完了
しました。

T P:7.2m 延長:548m



4.1

富山県の派遣職員が交代

自治法派遣職員として平成28年4月1日から応援していただいている浅地さんのほか、富山県から新たに3名が着任しました。

5.23

客船「ばしふいっくびいなす」入港

旅客船「ばしふいっくびいなす」が石巻港大手ふ頭に入港。

入港セレモニーとして大漁旗、石巻広域消防音楽隊による出迎えが行われ、打ち上げ花火で盛大にお見送りをしました。



6.10

客船「飛鳥II」入港

旅客船「飛鳥II」が雲雀野中央ふ頭に入港しました。

石巻市立桜坂高等学校の生演奏でお迎えし、会場には「牛タンつくね」の無料提供ブース等が設けられました。

「飛鳥II」は今回が石巻港区への初入港であり、大勢の方が来場しました。

6.11

客船「にっぽん丸」入港

「飛鳥II」に続き、翌6月11日に「にっぽん丸」が大手ふ頭に入港しました。

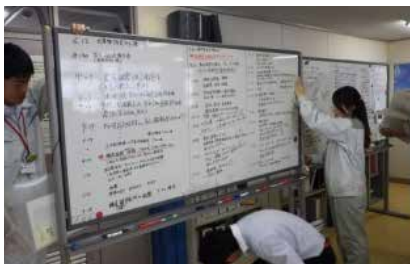
会場では、観光PRコーナーや笹かまぼこの無料提供ブースが設けられました。

出港セレモニーでは松島高等学校ダンス部による踊りが披露され、紙テープが舞う中、横浜港に向けて出航しました。

6.12

総合防災訓練を実施

宮城県沖を震源とするマグニチュード8.0の地震が発生し、県内全域で震度6弱が観測され、津波注意報が発表されたという想定のもと、交通規制や応急処置をする災害対応訓練を行いました。



7.12

石巻港開港50周年記念式典開催

石巻グランドホテルにおいて、「石巻港開港50周年記念式典」が開催されました。

式典には石巻市、東松島市、女川町及び石巻港の関連企業が参加し、開港から50年を振り返るとともに、さらなる石巻港の発展を一同で祈念しました。

8.4

石巻港探検ツアー開催

石巻港開港50周年記念事業の一環として「石巻港探検ツアー」が開催されました。

石巻市内や東松島市内の小学5・6年生とその保護者、20組が参加し、石巻港の歴史や港の役割を学んだほか、石巻港と関係のある企業を見学しました。

8.25

富山県土木部の幹部職員来県現地視察

派遣職員の勤務状況把握と職員激励のため、派遣元である富山県の水口土木部次長が現地確認を行いました。

水口次長は、当事務所後藤所長から事業計画と進捗状況について説明を受けた後、派遣職員が施工管理している石巻港東浜地区と雄勝港浪板地区を視察し、復旧・復興のため奮闘している職員を労いました。



9.26

第16回港湾感謝祭開催

第16回港湾感謝祭が大手ふ頭で開催され、JAMSTECの東北海洋生態系調査研究船「新青丸」、海を学ぶ船として県の海洋総合実習船「宮城丸」、そして海を守る船として宮城海上保安部の巡視船「くりこま」の

3隻が入港しました。

この3隻が同時に集まるのは珍しく、注目度が高かったこともあり、県内外から900人を超える方々が来場し乗船しました。



12.5

保安総合訓練を実施

テロリストが乗った船が石巻港に現れたという想定で、関係者や作業員に避難情報を周知する情報伝達訓練と、テロリストを追跡・拘束し、負傷した海上保安官を救急搬送する訓練を行いました。



H30.3.23

西水路南地区防潮堤(その3)工事完了

西水路南地区防潮堤(その3)工事が完了しました。

TP+3.5m 延長763.5m

3.30

西浜防潮堤災害復旧(その2)

工事完了

西浜防潮堤災害復旧(その2)工事が完了しました。

TP+7.2m 延長1,250.6m



石巻港湾事務所

平成30年度の記録

4.1

富山県の派遣職員の着任

自治法派遣職員として平成30年4月1日より富山県から2名が着任しました。



5.21

客船「ばしふいっくびいなす」入港

旅客船「ばしふいっくびいなす」が石巻港大手ふ頭に入港しました。

入港セレモニーとして大漁旗、鳴瀬鼓心太鼓による生演奏による出迎えが行われたほか、打ち上げ花火で盛大にお見送りをしました。

6.11

出前講座を実施

石巻市立大街道小学校の3年生の児童を対象に石巻市河川港湾室とともに出前講座を行いました。当事務所からは「石巻港の役割」をテーマに港の役割、港での仕事等について講義を行いました。



6.12

総合防災訓練を実施

宮城県沖を震源とするマグニチュード8.0の地震が発生し、県内全域で震度6弱が観測され、津波注意報が発表されたという想定のもと、交通規制や応急処置をする災害対応訓練を行いました。

8.20

石巻港探検ツアー開催

石巻港整備・利用促進期成同盟会が主催する「石巻港探検ツアー」が開催されました。石巻市内及び東松島市内の小学5・6年生とその保護者が参加し、石巻港の歴史や港の役割を学んだほか、石巻港と関係のある企業を見学しました。

9.18

客船「ダイヤモンド・プリンセス」初入港

日本で建造された大型客船「ダイヤモンド・プリンセス」が雲雀野中央ふ頭に初入港し、約2,700人の乗船客を大漁旗でお出迎えをしました。会場では、観光PRコーナーや地酒のお振る舞いブースが設けられました。出港セレモニーでは、鳴瀬鼓心太鼓による生演奏とペンライトで見送られる中、函館に向けて出航しました。



9.29

客船「にっぽん丸」入港

「にっぽん丸」が大手ふ頭に入港しました。会場では、地元の物産販売コーナーや観光PRコーナーが設けられ、出港セレモニーでは女川潮騒太鼓囃会による生演奏が披露され、紙テープが舞う中、東京に向けて出航しました。

10.1

富山県の派遣職員が交代

自治法派遣職員として富山県から応援いただいていた方に代わり、富山県から新たに1名が着任されました。



10.14

第17回港湾感謝祭開催

第17回港湾感謝祭が大手ふ頭で開催され、海を守る船として宮城海上保安部の巡視船「くりこま」と国土交通省の港湾業務艇「ひより」が入港しました。会場では、「くりこま」の一般公開や横浜税関仙台塩釜税関支署による麻薬探知犬を使ったデモンストレーションのほか「ひより」への乗船体験が行われました。

12.5

保安総合訓練を実施

SOLAS条約（「海上における人命の安全のための国際条約」）に基づき、港湾における保安対策の一環として、保安レベルが変更となった際の関係機関や企業との情報伝達訓練とふ頭での出入管理対応訓練を行いました。



R1.1月

防潮堤をはじめとする構造物について、適正な基準に基づいた構造となっているかなど設計内容の確認・照査手法を学ぶ研修会を設計コンサルタントの実務担当者を講師に招き、行いました。



3.8

西水路北地区防潮堤(その2)

工事完了

西水路北地区防潮堤(その2)工事が完了しました。

TP+3.5m 延長542.0m



4.1

富山県の派遣職員の着任

自治法派遣職員として平成31年4月1日より富山県から2名が着任しました。



4.12

客船「ダイヤモンド・プリンセス」入港

客船「ダイヤモンド・プリンセス」が雲雀野中央ふ頭に入港。

地元のゆるキャラなどが描かれた大漁旗による出迎えが行われたほか、会場では、物産販売コーナーや地酒のお振る舞いコーナーが設けられ、宮城の味覚を堪能されました。

5.23

保安総合訓練を実施

SOLAS条約（「海上における人命の安全のための国際条約」）に基づき、港湾における保安対策の一環として、本年は、船でテロリストが現れた想定の下、情報伝達訓練とテロリストを追跡・拘束するなどの訓練を行いました。



6.12

総合防災訓練を実施

「みやぎ県民防災の日」に合わせ、大規模地震が発生した場合の初動体制を確認し、現状の課題抽出と今後の危機管理体制の検証を目的として、総合防災訓練を行いました。

8.6

石巻港探検ツアー開催

石巻港整備・利用促進期成同盟会が主催する「石巻港探検ツアー」が開催されました。石巻市内及び東松島市内の小学5・6年

生とその保護者が参加し、石巻港の歴史や港の役割を学んだほか、国土交通省の業務艇「ひより」に乗船し、海から港内を見学しました。



8.21

客船「オーシャンドリーム」入港

客船「オーシャンドリーム」が平成25年以来、6年ぶりに雲雀野中央ふ頭に入港しました。当日は、歓迎イベントが開催されたほか、事前に申し込みした市民の方々を対象に船内見学などのイベントも開催しました。

9.21

第18回港湾感謝祭開催

第18回港湾感謝祭が大手ふ頭で開催され、多くの方々が来場しました。当日は、「ウエルカムフェスタ2019」も同時開催され、「ぱしふいっくびいなす」が入港し、入港時には宮城県石巻高校書道部による書道パフォーマンスなど歓迎イベントも開催しました。

10.1

富山県の派遣職員が交代

自治法派遣職員として富山県から応援いただいていた方が離任し、10月1日から新たに1名が着任しました。



10.23

油流出事故対応訓練を実施

石巻港区区内での油流出事故を想定した委託業者と合同の油流出事故対応訓練を南浜大型棧橋で行いました。訓練では、オイルフェンス巻取機の操作確認のほか、吸着マットを使用した油回収や無線機を使用した情報伝達の各訓練を行いました。

12.5

雲雀野地区防潮堤（その5）工事完了

雲雀野地区防潮堤（その5）工事が完了しました。

TP+7.2m 延長534.0m

また、3月までに雲雀野地区防潮堤（その4）工事も完了し、雲雀野地区防潮堤整備が概成しました。



R2.2月

雄勝港 伊勢畑防潮堤災害復旧（その2）工事完了

伊勢畑防潮堤災害復旧（その2）工事が完了しました。

TP+9.7m 延長350.4m

また、3月までに伊勢畑防潮堤災害復旧（その1）工事も完了し、伊勢畑地区防潮堤復旧が概成しました。



2.12

西水路南地区防潮堤（その6）外工事完了

西水路南地区防潮堤（その6）外工事が完了しました。

TP+3.5m 延長598.7m

当該工事の完了に伴い、西水路南地区の防潮堤整備が陸間扉体据付を除き完成しました。



石巻港湾事務所

令和2年度の記録

4.1

富山県の派遣職員の着任

自治法派遣職員として令和2年4月1日より富山県から2名が着任しました。



6.12

総合防災訓練(避難訓練)を実施

「みやぎ県民防災の日」に合わせ、大規模地震による大津波警報発表を想定した、総合防災訓練を行いました。当日は、避難先である国合同庁舎屋上への避難訓練を行いました。

6.12

女川港(大石原地区)陸閘遠隔化運用開始

管内初となる水門・陸閘自動閉鎖システムの運用を、女川港大石原地区(陸閘1基)で開始しました。

7.15

保安総合訓練を実施

SOLAS条約(「海上における人命の安全のための国際条約」)に基づき、港湾における保安対策の一環として、ふ頭で不審物が発見された想定を基、情報伝達訓練や出入管理措置の変更などの訓練を行いました。

8.3

不法係留船現地合同周知活動の実施

国、石巻市と合同で、旧北上川河口部(石巻港内港地区)に不法係留されている船舶に対して撤去を要請しました。



8.17

石巻港探検ツアー開催

石巻港整備・利用促進期成同盟会主催「石巻港探検ツアー」が開催されました。石巻市内及び東松島市内の小学5・6年生とその保護者が参加し、石巻港の歴史や港の役割を学んだほか、国土交通省の業務艇「ひより」に乗船し、海から港内を見学しました。

9.29

金華山港災害復旧工事完了

令和元年東日本台風により被災した復旧工事を進めていた金華山港防潮堤外災害復旧工事が完了しました。この工事の完成により、管内の令和元年災(女川港、金華山港)は全て完了となりました。



10.1

富山県の派遣職員が交代

自治法派遣職員として富山県から応援いただいていた方が9月30日に離任し、10月1日から新たに1名が着任しました。

11.30

女川港(横浦地区ほか)水門・陸閘遠隔化運用開始

女川港横浦地区、高白地区で水門・陸閘自動閉鎖システムの運用を開始しました。

◆横浦:陸閘2基,水門2基

◆高白:陸閘1基,水門1基



R3.2.13

福島県沖地震 管内で最大震度5強を観測

石巻港区で施工中のL1防潮堤が損壊した他、女川港や雄勝港などでエプロン等に段差が生じました。

2.24

石巻港区日和地区外防潮堤工事完了

日和地区外防潮堤工事が完了しました。この工事の完成により、日和地区のL1防潮堤整備が概成しました。

◆TP+3.5m,延長1120m

3.26

石巻港区東浜防潮堤災害復旧(その6)工事完了

東浜防潮堤災害復旧(その6)工事が完了しました。この工事の完成により、東浜地区の防潮堤復旧(L1)が概成しました。

◆TP+7.2m,延長1540m



3.29

石巻港区(西浜南浜)陸閘遠隔化運用開始

雄勝港(波板地区)水門・陸閘遠隔化運用開始

石巻港区西浜南浜、雄勝港波板地区で水門・陸閘自動閉鎖システムの運用を開始しました。

◆西浜南浜:陸閘2基

◆波板:水門2基



3.30

企業等への委託陸閘管理協定締結(全6者)

港湾施設利用者等との調整により整備した陸閘16基について令和3年3月までに当該使用者6者と管理協定を締結しました。

中南部下水道事務所の記録

平成24年度の記録

4.18

県南浄化センター 水処理第2系列供用開始

平成23年7月から仮設送風機設備により実施してきた「簡易曝気処理」から、送風機設備の復旧により、水処理施設段階的復旧の最終段階である生物処理に移行しました。



▲「最初沈殿池」復旧状況

4.25

仙塩浄化センター 下水処理開始式

平成23年6月から仮設送風機設備を稼働させて実施していた「簡易曝気処理」から、送風機設備等の一部復旧に伴い生物処理を開始しました(生物処理能力は全体能力比50%)。



▲反応タンクへの送風開始

5.23

県南浄化センター 水処理第3系列供用開始・マスコミ公開

水処理第3系列の供用開始に合わせ、浄化センターの復旧状況をマスコミに公開しました(テレビ局5社, 新聞社3社)。



▲最初沈殿池通水開始状況

6.6

仙塩浄化センター バイパス水路復旧完了

大雨時等に施設の処理能力以上の汚水の流入が発生した場合に、処理しきれない汚水がマンホールから溢水する可能性があるため、処理能力超過分をバイパス水路により沈殿池へ送水し、沈殿消毒した後に放流していましたが、梅雨の出水期を前に復旧が完了しました。



▲バイパス水路使用状況

6.29

県南浄化センター 送風機設備復旧完了

生物処理を行うために必要な空気を送る送風機は全5台が復旧し、震災前と同等の送風能力になりました。



▲送風機設備被災後 ガレキ・土砂堆積状況

7.9

仙塩浄化センター 汚水ポンプ復旧完了

流入した汚水を水処理施設へ揚水する汚水ポンプが全4台復旧し、震災前と同等のポンプ能力になりました。



▲5号ポンプ復旧完了

7.31

県南浄化センター 水処理第4系列供用開始(水処理施設復旧完了)

水処理施設第4系列の供用開始により、全系列復旧完了となりました。



▲第4系列最終沈殿池復旧・処理状況

8.2

県南浄化センター 機械濃縮設備供用開始

汚泥減量化を図る機械濃縮設備が全3台復旧し、重力濃縮槽と合わせて濃縮設備が震災前と同等に復旧しました。



▲機械濃縮設備復旧完了

8.6

県南浄化センター 沈砂池設備供用開始

流入した汚水から砂分等を除去する沈砂掻揚機が全2台復旧し、震災前と同等の能力となりました。



▲沈砂池設備沈砂掻揚機復旧状況

8.7

仙塩浄化センター 自家用発電機 浸水対策完了

自家用発電機は津波により水没して機能停止となったため、自家用発電機を津波から防護するための対策としてのコンクリート製防護壁が完成しました。



▲自家用発電機 津波による浸水状況

9.29

県南浄化センター 放流渠復旧完了

浄化した水を太平洋に放流するための放流渠は津波により消波ブロックの流出などの被災がありました。震災前と同等に復旧しました。



▲放流渠復旧状況

10.10

県南浄化センター 第一・第二脱水機棟復旧完了

県南浄化センター内5台の脱水機設備が設置されている第一・第二脱水機棟の建築が復旧しました。



▲設備の搬入口については耐水扉を設置し復旧

11.9

県南浄化センター 管理棟復旧完了

津波により2階床上まで浸水・被災した管理棟が復旧しました。



▲1階正面玄関状況

11.30

仙塩浄化センター 機械濃縮機本復旧完了



▲補機類の浸水により機能停止

12.12

仙塩浄化センター 汚水ポンプ本復旧完了

全台数が本復旧完了。震災前と同等の汚水揚水量が確保できるようになりました。



▲補機類の浸水により機能停止

H25.1.22

県南浄化センター 汚泥脱水設備復旧完了

第二脱水機棟に設置された遠心脱水機2台が復旧し、脱水能力が震災前と同等に復旧しました。



▲復旧した自家発電設備

1.25

仙塩浄化センター 汚泥焼却施設 運転開始

本復旧工事が完了して汚泥の焼却を開始しました。



2.7

水処理施設全系列復旧完了

水処理施設の復旧がすべて完了して、処理水質は震災前と同等へ回復しました。



▲4系列 H24.9月 本復旧完了



▲送風機被災後

4.15

震災復興祈願桜植樹祭の桜開花

3月23日に開催した『県南浄化センター震災復興祈願桜植樹祭』で植樹した100本の大島桜が開花しました。



4.23

下水污泥燃料化物製造開始(県南浄化センター)

震災により破損し運転停止していた下水污泥燃料化物製造施設が3月に復旧、4月17日から運転開始、同23日から製造を再開しました。



6.6

アメリカ土木学会来所(県南浄化センター)

アメリカ土木学会(ライフライン地震工学会)会員が、被災・地盤沈下後の下水道インフラに対する復旧状況全般について情報を収集するために、県南浄化センターを訪れました。



9月

下水道ふれあいイベント開催

9月10日の「下水道の日」に合わせ、各浄化センターにおいて下水道ふれあいイベントが開催されました。合計で2,700人を超えるお客様の来場がありました。

9月7日: 県南浄化センター

9月8日: 大和浄化センター

9月21日: 仙塩浄化センター



10.25

緊急放流バイパス管接続訓練(仙塩浄化センター)

台風接近に伴う流入量増加の非常事態(一次放流)に備え、職員と指定管理者合同で緊急放流バイパス管接続訓練を行いました。



H26.3.4

みやぎ甦水コンソーシアム結成式

平成26年度から仙塩流域下水道施設及び鳴瀬川流域・吉田川流域下水道施設の指定管理者となるみやぎ流域下水道施設管理運営共同事業体(みやぎ甦水コンソーシアム)の結成式が行われました。

3.11

防災訓練(仙塩浄化センター)

東日本大震災同規模の地震と津波が発生したと想定し、職員と指定管理者合同で避難及び情報収集訓練並びに初動対応訓練を行いました。



中南部下水道事務所

平成26年度の記録

4.25

震災復興祈願桜植樹祭の桜満開

平成25年3月23日に『県南浄化センター震災復興祈願桜植樹祭』で植樹した100本の大島桜が今年も満開になりました。



5.27

下水道BCP研修会開催

東日本大震災規模の未曾有の大災害に備え、平成25年度に策定した中南部下水道事務所下水道業務継続計画(下水道BCP)について、県庁下水道課、事務所職員及び指定管理者を対象に研修会を行いました。



6.12

土木部防災訓練実施

東日本大震災規模の地震・津波が発生、更に大雨警報が発令されたことを想定し、既存の災害配備マニュアル及び下水道BCPを活用して初期対応の確認や指定管理者との連携について訓練を行いました。



8.4

仙塩浄化センター周辺道路清掃

多賀城市大代地区の夏祭りが行われる砂押貞山運河沿いや大代墓地参道など仙塩浄化センター周辺の道路清掃を、中南部下水道事務所、仙塩浄化センター指定管理者及び砂押川外災害復旧工事施工業者が協働して清掃活動を行いました。



8.5

流域下水道関連市町村担当課長会議開催

中南部下水道事務所が所管する4流域下水道に関連する21市町村との担当課長会議を開催しました。会議では、事務所等から各流域下水道の今年度事業内容、維持管理状況及び流域下水道での不明水対策の取組について説明しました。また、不明水対策調査などの取組について3市町より事例紹介があり、活発な意見交換が行われました。

9月

下水道ふれあいイベント開催

9月10日の「下水道の日」に合わせ、各浄化センターにおいて下水道ふれあいイベントが開催されました。

合計で2,600人を超えるお客様の来場がありました。

- 9月 6日: 県南浄化センター
- 9月27日: 仙塩浄化センター
- 10月 4日: 大和浄化センター



H27.3.11

防災訓練(仙塩浄化センター)

東日本大震災同規模の地震と津波が発生したと想定し、職員と指定管理者合同で避難及び情報収集訓練並びに初動対応訓練を行いました。

3.17,18

下水道防災シンポジウムIN仙台(施設見学会)開催

第3回国連防災世界会議の一環として、仙台市南蒲生浄化センターと中南部下水道事務所において施設見学会を開催しまし

た。当事務所では、始めに仙塩流域下水道及び阿武隈川下流流域下水道、北上川下流東部流域下水道及び県内全域の被災・復旧パネルの自由閲覧、その後パワーポイントを用いた復旧事業概要説明を行いました。次に管理棟からプロア棟にかけて管廊内を移動、説明を行い、最後に電気センター、沈砂池ポンプ棟、自家発電機を見学し説明を行いました。



4.13～

指定管理者モニタリング(各流域ごと月2回)

4流域下水道の各指定管理者が行う業務について、各流域で月2回の維持管理打合せを行うなど職員がモニタリング(確認, 点検)を行いました。



4.16～

(隔月)管路パトロール

4流域の幹線管渠について、職員が直営で管路パトロールを行い、マンホール蓋等の点検を行いました。



5.25

河川管理者と合同点検

処理場の放流渠など河川占用している施設について、河川管理者と合同で点検を行いました。



5.30

大河原ポンプ場火災

大河原ポンプ場において、脱臭ファンから出火し火災となりました。指定管理者の迅速な対応もあり、幸いにも電気設備等の被害はまぬかれポンプの運転は鎮火後直ちに再開することができました。しかし脱臭設備等が損傷したため仮設備を設置しながら復旧に着手しました。



9.9→9.11

関東東北豪雨及びマンホールからの溢水

台風18号棟による関東東北豪雨により大和浄化センターが冠水し、また仙塩流域、阿武隈川下流流域、吉田川流域の流域幹線マンホールから溢水が発生するなどの被害がありました。また、吉田川流域の大和大衡ポンプ場では善川の氾濫により非常用自家発電設備が水没し機能不全となりました。このため、仮設の発動発電機を設置するとともに、早期復旧を図るため災害復旧応急本工事を実施しました。



10.22

県南浄化センター復旧状況視察

神奈川県相模川流域下水道公害対策委員会による現地視察があり、県南浄化センター東日本大震災の復旧状況について説明しました。



11.25

災害査定(3次)

9月の関東東北豪雨により被災した吉田川流域下水道の大和大衡ポンプ場自家発電設備について現地で災害査定が実施されました。



11.27

大河原ポンプ場火災に伴う復旧工事完了

5月30日に発生した火災により損傷した脱臭設備等について、指定管理者による復旧工事が完了し従前の機能を回復しました。



11.27

仙塩流域溢水対策会議

大雨時におけるマンホールからの溢水が震災復旧後に2度発生していることから、流域関連市町と連携して対策に取り組むため連絡調整会議を開催しました。

12.3

南蒲生浄化センター見学

東日本大震災により甚大な被害を受けた仙台市の南蒲生浄化センターについて、復旧工事が一部完成し供用開始したことから、施設の見学をしました。



12.25

阿武隈川下流流域溢水対策会議

大雨時におけるマンホールからの溢水が震災復旧後に2度発生していることから、流域関連市町と連携して対策に取り組むため連絡調整会議を開催しました。

H28.3.15

仙塩流域溢水対策会議

3.16

阿武隈川下流流域溢水対策会議

3.25

災害復旧応急本工事完成

9月の関東東北豪雨による冠水で被災した大和大衡ポンプ場非常用自家発電設備の応急本工事が完了しました。

中南部下水道事務所

平成28年度の記録

4.14～

指定管理者モニタリング(各流域ごと月2回)

4流域下水道の各指定管理者が行う業務について、各流域で月2回の維持管理打合せを行うなど、職員がモニタリング(確認、点検)を行いました。

4.25～

(隔月)管路パトロール

緊急時の迅速な対応体制の構築、施設の適切な維持などを目的に、4流域の幹線管渠について、職員が直営で管路パトロールを行い、マンホール蓋等の点検を行いました。

5.25

河川管理者と合同点検

処理場の放流渠などの河川を占有している下水道施設について、河川管理者と合同で点検を行いました。



6.10

総合防災訓練

東日本大震災規模の地震・津波が発生、更に大雨警報が発令されたことを想定し、既存の災害配備マニュアル及び下水道BCPを活用して初めに対応の確認や指定管理者と被災状況の点検について訓練を行いました。



6.15,17

第1回溢水対策調整連絡会議

仙塩・阿武隈川下流流域において関連市町と県とで出水期に備え、溢水対策のための調整連絡会議を開催しました。



7.29

県南浄化センター汚泥消化タンク長寿命化工事完成

7月29日県南浄化センター汚泥消化タンクの防食塗装工事が完成しました。



9.10

下水道ふれあいイベント開催

9月10日の「下水道の日」に合わせ、各浄化センターにおいて指定管理者と共催で下水道ふれあいイベントを開催しました。

9月10日 阿武隈イベント
10月8日 大和浄化センター
11月5日 仙塩浄化センター



10.31

仙塩浄化センター汚泥焼却施設長寿命化工事完成

仙塩浄化センター汚泥焼却施設の白煙防止器等の更新工事が完成しました。

12.19

大和浄化センター4系列工事完成

まちづくり等で増加が予想される汚水流入量に対応するため、平成25年度から大和浄化センター水処理施設の増設に着手しました。



H29.1.24,27

第2回溢水対策調整連絡会議

仙塩・阿武隈川下流流域において関連市町と県とで出水期を終えて、今年度の取組みの成果や来年度の対応等の情報交換のための調整連絡会議を開催しました。

2月

安全パトロール

各流域内において、指定管理者と各設備における懸案事項の確認と危険防止の観点から安全パトロールを行いました。



3.2

防災訓練

東日本大震災後、大雨時の下水道管渠への浸入水が増加しており、マンホールからの溢水が懸念されていることから、指定管理者と合同で大雨配備訓練を、シナリオタイプで行いました。



3.17

防災訓練(仙塩浄化センター)

東日本大震災と同規模の地震と津波が発生したとの想定で、職員と指定管理者が合同で避難及び情報収集訓練並びに初動対応訓練を行いました。

4.3

大和浄化センター4系列1/2水路 供用開始

大和浄化センターへの汚水流入量の増加に対応するため、平成25年10月から着手していた水処理第4系列増設工事が完了し、平成29年4月から4系列1/2水路の供用を開始しました。



4.11～

指定管理者モニタリング

4流域下水道の各指定管理者が行う業務について、各流域で月2回の維持管理打合せを行うなど、職員がモニタリング(確認、点検)を行いました。

5.23～

(隔月)管路パトロール

緊急時の迅速な対応体制の構、施設の適切な維持などを目的に、4流域の幹線管渠について、職員が直営で管路パトロールを行い、マンホール蓋等の点検を行いました。



5.25

河川管理者と合同点検

処理場の放流渠などの河川を占有している下水道施設について、河川管理者と合同で点検を行いました。

6.12

総合防災訓練

東日本大震災規模の地震・津波の発生を想定し、既存の災害配備マニュアル及び下水道BCPを活用して初期対応の確認や指定管理者と被災状況の点検について訓練を行いました。

6月～H30.3月

仙塩浄化センター消化ガス発電 施設建設

汚水の処理工程で発生する消化ガスの有効利用を図るため、民設民営方式による消化ガス発電事業を導入し、仙塩浄化センターの敷地内に発電事業者による発電施設の建設が行われました。



7.18,19

第1回溢水対策連絡調整会議

仙塩、阿武隈川下流流域において、関連市町と県で出水期に備え、溢水対策のための第1回調整連絡会議を開催しました。



8.10

親子で巡る水の旅

下水道の仕組みや水の循環について広く知ってもらうことを目的に、宮城県と県南浄化センター指定管理者の主催によるバスツアーを開催しました。



10.7,21

下水道ふれあいフェア

下水道の仕組みを楽しく学んでもらうことを目的に、宮城県と各流域の指定管理者の主催によるイベントを仙塩浄化センターと大和浄化センターで開催しました。



10.23

台風21号による溢水

台風21号による大雨の影響で各浄化センターで流入水量が増加し、仮設ポンプの運転などの対策を行いましたが、仙塩流域、阿武隈川下流流域の流域幹線マンホールから溢水が発生するなどの被害がありました。



11.21,22

第2回溢水対策連絡調整会議

台風21号による溢水発生時の関連市町と県の被害状況、対応状況について情報共有を図ることを目的に臨時的調整連絡会議を開催しました。



H30.3.8

地震防災訓練

大規模地震と津波の発生を想定して、中南部下水道事務所と指定管理者職員が合同で避難、情報収集及び初動対応訓練を行いました。



3.14,19

第3回溢水対策連絡調整会議

平成29年度の関連市町及び県における溢水対策の取組み結果を確認するため、第3回調整連絡会議を開催しました。

中南部下水道事務所

平成30年度の記録

4.10～

指定管理者モニタリング

4流域下水道の各指定管理者が行う業務について、各流域で月2回の維持管理打合せを行うなど、職員がモニタリング(確認、点検)を行いました。



4.24

仙塩浄化センター消化ガス発電所発電開始式

宮城県内で初となる消化ガス発電所が完成し、その発電開始式を開催しました。式には、来賓の皆様をはじめ、多くの関係者に参加いただきました。



5月～

(隔月)管路パトロール

緊急時の迅速な対応体制の構築、施設の適切な維持などを目的に、4流域の幹線管渠について、職員が直営で管路パトロールを行い、マンホール蓋等の点検を行いました。

5.25

河川管理者と合同点検

処理場の放流渠などの河川を占有している下水道施設について、河川管理者と合同で点検を行いました。



5.31

みやぎ型管理運営方式に関する見学会

みやぎ型管理運営方式の導入に向けて、事業の参画に関心のある民間事業者を対象とした現地見学会を初めて開催しました。



6.12

総合防災訓練

東日本大震災規模の地震・津波の発生を想定し、既存の災害配備マニュアル及び下水道BCPを活用して初期対応の確認や指定管理者と被災状況の点検について訓練を行いました。



9.28,10.3

第1回溢水対策連絡調整会議

仙塩、阿武隈川下流流域において、関連市町と県で出水期に備え、溢水対策のための第1回連絡調整会議を開催しました。



10.6,13,20

下水道普及啓発イベント

下水道の仕組みを楽しく学んでもらうことを目的に、宮城県と各流域の指定管理者の主催によるイベントを仙塩浄化センター、県南浄化センター、大和浄化センターで開催しました。県南浄化センターでは、周辺で東日本大震災の復旧工事が行われていたため、平成26年度以降、浄化センターでのイベント開催を見送っていましたが、復旧工事の進捗に伴い、4年ぶりにイベントを開催することができました。



R1.1.17,18

みやぎ型管理運営方式に関する見学会

みやぎ型管理運営方式の導入に向けて、下水道施設としては2回目となる見学会を、2日間にかけて開催しました。



3.8

地震防災訓練

大規模地震と津波の発生を想定して、中南部下水道事務所と指定管理者が合同で、避難、情報収集及び初動対応に関する訓練を行いました。



3.14,15

第2回溢水対策連絡調整会議

平成30年度の関連市町及び県における溢水対策の取り組み結果を確認するため、第2回連絡調整会議を開催しました。

令和元年度からは、地方公営企業法を適用する流域水道事業を企業局へ移管した。

東部下水道事務所の記録

平成24年度の記録

4.19

石巻東部浄化センター 簡易生物処理 開始

水処理方法を「沈殿+消毒」から「簡易生物処理+消毒」へ移行し、処理水質が向上しました。



▲水処理施設の簡易生物処理(全景)

6.12

石巻東部浄化センター 脱水機棟新電気室へ受変電設備機器搬入

汚泥処理施設へ電源を供給するための機器が搬入され、設置が完了しました。



▲機器設置完了

6.13

石巻浄化センター場内災害復旧工事 完成

被災した処理場内の舗装や側溝等と場外放流渠の水路の復旧工事が完成しました。



▲石巻浄化センター復旧後

6.18

若柳第1ポンプ場内管渠応急復旧工事 完成

被災したポンプ場内の管渠や舗装等の復旧工事が完了しました。



▲若柳第1ポンプ場復旧後

6.27

石巻東部浄化センター 脱水機棟電気室建築工事 完成

1階にあったため浸水した電気室・監視室を2階へ移設しました。



▲電気室・監視室完成

7.12

石巻東部浄化センター 脱水機棟新監視室へ監視装置設備機器搬入

汚泥処理施設を監視操作するための機器が搬入され、設置が完了しました。



▲監視装置設置完了

7.31

石越浄化センター場内災害復旧工事 完成

被災した処理場内の舗装や建物周辺の土間コンクリートの復旧工事が完了しました。



▲石越浄化センター復旧後

8.20

石巻東部浄化センター 純酸素発生装置復旧完了

純酸素発生装置の試運転調整を完了しました。



▲純酸素発生装置試運転調整完了

石巻東部浄化センター 1系水処理施設 最終沈殿池へ汚水流入開始

1系水処理施設最終沈殿池へ汚水を流入させ、水処理の立ち上げを開始しました。

8.23

石巻東部浄化センター 水質測定装置復旧完了

浄化センターへ流入する汚水の水質、浄化センターから放流する水質の測定を開始しました。



▲流入水質測定装置設置状況

8.27

石巻東部浄化センター 脱水機試運転開始

脱水機へ汚泥を供給し、汚泥処理施設の試運転を開始しました。



▲汚泥処理試運転状況

9.3

石巻東部浄化センター 汚泥脱水ケーキの搬出開始

汚泥処理施設で発生した脱水ケーキの搬出を開始しました。



▲脱水ケーキ搬出状況

9.18

石巻東部浄化センター 下水処理開始式を開催

3系列の水処理施設のうち、1系列の水処理を再開しました。



▲現場説明状況

石巻東部浄化センター 水処理状況

1系列水処理再開後は放流水質が向上しました。

9.28

石巻第6ポンプ場(新棟・旧棟)機械・電気設備復旧完了

石巻第6ポンプ場(旧棟)のポンプ場を再開。なお、応急工事で稼働していた新棟も電気設備が完了しました。

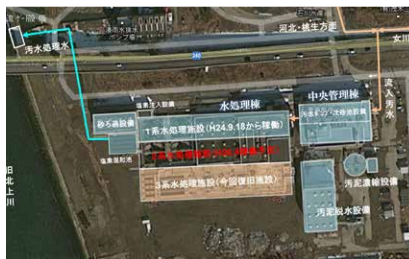


▲低圧盤設置状況(新棟)

12.25

石巻東部浄化センター 3系水処理施設を再稼働

3系列の水処理施設のうち、3系列目の水処理を再開しました。



▲復旧状況(浄化センター全体平面)



▲復旧状況(3系最終沈殿池)

H25.1.23

石巻東部浄化センター 3系反応タンク機械設備、液化酸素設備復旧完了

3系反応タンク機械設備、液化酸素設備が完成しました。



▲復旧状況(3系反応タンク機械設備)

2.12

石巻東部浄化センター 消防検査受検

建築機械・電気設備が復旧したことに伴い、石巻消防署の検査を受検しました。



▲検査状況

2.20

石巻東部浄化センター・石巻第6ポンプ場 建築機械・電気設備復旧完了

建築機械電気設備復旧工事が完成しました。



▲復旧状況(電気:照明設備, 消防設備)

3.4

石巻東部浄化センター 場内土木復旧工事完了

土木復旧工事が完成しました。

3.8

石巻東部浄化センター・石巻第6ポンプ場 建築復旧工事完了

建築復旧工事が完成しました。



▲復旧状況(石巻第6ポンプ場:防水扉の設置)

4.1

石巻東部浄化センター 土木・建築施設供用開始

土木・建築工事が平成25年3月に完成したことに伴い、処理場の建築施設、場内施設の使用を開始しました。これにより、処理場の外観が震災前と同様の姿となりました。



6.20

石巻浄化センター水処理施設2系列増設(土木)工事完成

水処理施設2系列増設工事の土木工事(躯体、導水管)が完成しました。設備工事、覆蓋工事が完成後、供用開始する予定です。これにより、水処理量が増大し、被災地域の復興を推進するものとなります。



10.31

災害記録誌「復旧への軌跡」を発刊

地震発災からこれまでの3年間について、東部下水道事務所における復旧のあゆみをまとめた記録誌を作成しました。震災直後の応急対応等を掲載し、今後の対策に生かされる資料となりました。



11.2

「第4回流域下水道まつり」を開催

石巻浄化センターを会場に第4回流域下水道まつりが開催されました。多くのイベントや模擬店により、多数の来場者で大盛況となりました。また、災害復興パネル展示等を行い、復興状況の周知に努めました。



11.28

JICA下水道研修生が石巻東部浄化センターを来訪

石巻東部浄化センターにJICA「下水道・都市排水」コース施設見学で海外15カ国22名の技術者の方々が来訪されました。被災説明や施設見学を行い、復旧内容を理解していただき、各国技術者との友好を図りました。



H26.3.19

石巻浄化センター水処理施設2系列設備工事完成

水処理施設2系列増設工事に伴い、1/2系列の機械、電気工事が完成しました。来年度覆蓋工事を実施後、供用開始する予定です。これにより、水処理量が増大し、被災地域の復興を推進するものとなります。



3.26

石巻東部浄化センター下水道施設災害復旧完了

2系列の水処理施設が完成しました。処理場の全施設が復旧し、震災前と同様の水処理施設が復元されました。これにより、東部下水道事務所の災害復旧事業が全て完了しました。



東部下水道事務所

平成26年度の記録

4.1

東部下水道事務所下水道業務継続計画(BCP)運用開始

大規模災害時に被害を受けた場合にも、許容される時間内に復旧出来るようにするため、「下水道BCP」を平成26年3月に策定し、4月1日より運用開始しました。今後も平常時からハードとソフトの両面で対策を組合せ、災害時に適切に対応出来るように努めていきます。



図 1-1 基本体系図

4.1

指定管理者監督・評価業務直営化

これまで一般財団法人宮城県下水道公社が行ってきた指定管理者の監督・評価業務が直営化され、職員により実施されることとなりました。

9月

石巻浄化センターに全国の方々が来訪されました

被災した石巻浄化センターに香川県議会環境建設常任委員会、日本技術士会上下水道部会、愛知県新川流域下水道推進協議会など様々な方々が視察に訪れました。復旧に向けて取組んだ様々な事例が、今後の震災対策に広く活かされていくことを希望します。



11.1

「第5回流域下水道まつり」を開催

石巻浄化センターを会場に第5回流域下水道まつりが開催されました。あいにくの雨となりましたが、多くのイベントや模擬店により、多数の来場者で大盛況となりました。また、災害復興パネル展示等を行い、

復興状況の周知に努めました。



11.19

JICA「下水道研修生が石巻東部浄化センターを来訪

昨年に引き続き、石巻東部浄化センターにJICA「下水道・都市排水」コース施設見学で海外12カ国17名の技術者の方々が来訪されました。被災説明や施設見学を行い、復旧内容を理解していただき、各国技術者との友好を図りました。



H27.2.3

石巻浄化センター水処理施設2系列覆蓋工事完成

まちづくり等で増加が予想される汚水流入に対応するため、平成22年度より石巻浄化センター水処理施設の増設に着手してきましたが、覆蓋工事を以てすべて完了しました。これにより、水処理量が増大し、被災地域の復興を推進するものとなります。



2.26

石巻浄化センター3系列1/2水路供用開始

工事が完了した石巻浄化センター水処理施設2系列1/2水路の供用を開始しました。これにより、処理能力が従前の1.5倍となりました。今後も復興まちづくり計画等

を踏まえながら、計画的に下水道事業の展開を図り、復旧・復興を力強く支えます。



6.12

総合防災訓練を実施

「みやぎ県民防災の日」である6月12日に総合防災訓練を実施しました。訓練では、処理場の指定管理者にも参加していただき、より実践的な内容で取り組みました。



9.11

平成27年9月関東・東北豪雨発生

9.18

石巻に大雨警報発令

9月11日には関東・東北豪雨が発生し県内に甚大な被害を受けましたが、事務所の管理流域では大雨による直接的な被害は発生しませんでした。9月18日に処理管内で発生した大雨では女川で流入量が急激に増加するなどの対応に追われました。その際には、ポンプの運転台数を増やすことで一次放流をすることなく適切な処理を行いました。



10.1

「第6回流域下水道まつり」を開催

石巻浄化センターを会場に第6回流域下水道まつりが開催されました。今回は天候に恵まれたこともあり、例年をはるかに上回る2,215名もの来場者がありました。また、前年度末より運転開始した石巻浄化センター第2系列のパネル展示を行い下水道事業周知に努めました。



10.16

JICA「下水道研修生が石巻東部浄化センターを来訪

昨年に引き続き、石巻東部浄化センターにJICA「下水道・都市排水」コース施設見学で海外13カ国16名の技術者の方々が来訪されました。被災説明や施設見学を行い、復旧内容を理解していただくとともに各国技術者との友好を図りました。



12.28

女川幹線長寿命化工事完成

管内の流域下水道では初となる管渠の長寿命化工事が完成しました。北上川下流東部流域には多数の老朽化した管渠が存在するため、今後も長寿命化計画ののっとり管更正に努めていきます。

H28.3.17

石巻浄化センター中央監視設備長寿命化工事完成

プラント施設の中核となる中央監視設備の長寿命化工事が3月17日に完成しました。既存設備の健全性を確認しながら今後も長寿命化対策を実施し、適切な維持管理に努めていきます。



3.22

石巻浄化センター送風機・汚水ポンプ増設工事完成

前年度から供用開始した水処理2系列に対応するため昨年度から工事が進められていた増設工事が3月22日に石巻浄化センター送風機・汚水ポンプ等電気設備工事の完成をもって関連工事の全てが完了しました。今後も復旧・復興を力強く支えられるよう適切な維持管理に努めていきます。



東部下水道事務所

平成28年度の記録

5.13

ホテル放流式を開催

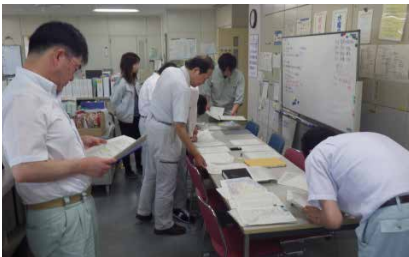
石巻浄化センターでは、平成25年から指定管理者がホテルの飼育を行っており、今年も約180匹の幼虫の放流を行いました。



6.10

総合防災訓練を実施

「みやぎ県民防災の日」(6月12日)に合わせ、総合防災訓練を実施しました。訓練では、処理場の指定管理者にも参加していただき、より実践的な内容で取組ました。



10.1

「第7回流域下水道まつり」を開催

石巻浄化センターを会場に第7回流域下水道まつりが開催され、2000名を超える方々にお越しいただきました。汚水処理施設の見学や下水道に関するクイズ、津波により被災した石巻浄化センターの復旧状況等の展示を通して、下水道事業周知に努めました。



11.21

河川許可工作物の合同点検を実施

石巻浄化センターおよび石巻東部浄化センターの排水樋管について、河川管理者と合同で点検を行いました。



11.30

石巻東部浄化センター用水管等長寿命化工事完成

石巻東部浄化センターは供用から35年以上経過しており、用水管も水漏れ等が発生していました。本工事により石巻東部浄化センターをより長く適切に運用することができます。



H29.2.28

石巻東部浄化センター汚泥脱水設備長寿命化工事完成

従来脱水機は故障時の代替部品の入手が不可能なことから更新を行いました。本工事の完成により、処理場全体の健全性が向上します。



3.2

矢本ポンプ場外自家発電設備等工事

大雨や地震発生時等の長時間にわたる停電に備えるため、自家発電設備を矢本ポンプ場に設置しました。



3.10

石巻浄化センター水処理施設2系列2/2防食塗装工事完成

石巻浄化センターの水処理施設2系列2/2の供用開始に向け、防食塗装工事を実施しました。処理槽内において、硫化水素の発生による腐食環境からコンクリート構造物を守るために必要な工事です。



4.24

ホタル放流式を開催

石巻浄化センターでは、H25年から指定管理者がホタルの飼育を行っており、今年も約494匹の幼虫の放流を行いました。



6.12

総合防災訓練を実施

「みやぎ県民防災の日」(6月12日)に合わせ、総合防災訓練を実施しました。訓練では、処理場の指定管理者にも参加していただき、より実践的な内容で取組ました。



7.14

石巻東部浄化センター用水管等長寿命化工事完成

石巻東部浄化センターは供用から35年以上経過しており、用水管も水漏れ等が発生していました。本工事により石巻東部浄化センターをより長く適切に運用することができます。



7.14

「ホタル鑑賞会」を開催

石巻浄化センター付近の住民(約100世帯)の方々にチラシを配布するなどして、「鑑賞会」を開催しました。当日のホタル飛翔数は20匹確認され、来場者数は52名を記録し、好評を得ました。



10.7

「第8回流域下水道まつり」を開催

石巻浄化センターを会場に「第8回流域下水道まつり」が開催され、生憎の雨天の中661名の方々にお越しいただきました。汚水処理施設の見学や下水道に関するクイズ、津波により被災した石巻東部浄化センターの復旧状況等のパネル展示を通して、下水道事業の周知に努めました。



H30.1.11

防災緑地下水道管移設(その1)工事完成

石巻市が東日本大震災復興整備計画に基づき、整備する防災緑地1号の盛土荷重により沈下する下水道管の移設を受託工事として実施しました。平成30年1月末には石巻市所管の雨水幹線φ2,200mmの移設工事が完成しています。



3.14

石巻東部浄化センター運転制御設備(水処理)長寿命化工事完成

水処理に関わる運転制御設備の改築を行いました。老朽化した設備の更新は、安定した下水処理に大きく寄与します。



3.19

石巻浄化センター水処理施設2系列2/2工事完成

石巻浄化センターの水処理施設2系列2/2の供用開始に向け、機械、電気工事を実施しました。2系列2/2の供用が開始されることにより処理能力が29,100m³/日から38,800m³/日に上がります。



東部下水道事務所

平成30年度の記録

4.1

石巻浄化センター水処理施設第2系列2/2供用開始

復興公営住宅整備の進捗により、汚水量が増加していることから平成28年度より工事が進められてきた石巻浄化センター水処理施設第2系列について、平成30年3月に全ての工事が竣工し、4月1日より供用が開始されました。これにより処理能力が38,800m³/日になりました。



4.15

防災緑地下水道管移設工事の完了

石巻市の防災緑地整備事業に伴う河北桃生幹線管渠移設工事が完了しました。



7.13

「ホテル鑑賞会」を開催

下水道施設のイメージ改善とPRを図る目的で、「鑑賞会」を開催しました。当日のホテル飛翔数は17匹確認され、来場者数は350名を記録し、好評を得ました。



10.6

「平成30年度流域下水道まつり」を開催

施設開放・施設見学を通して地域の皆様に下水道への理解を深めていただくことを目的とした平成30年度流域下水道まつりを

開催しました。当日は晴天に恵まれ2000名近くの方々にお越しいただきました。屋内外で各種イベント等を行い、下水道事業の周知に努めました。



10.17

施設障害等対応訓練を実施

安心・安全な県民サービスの提供に向けて、職員一人一人がしっかりと危機管理対応能力を身につけるため、「平成30年度職員スキルアップ実践計画(東部下水道事務所)」による「施設障害等対応訓練」を、指定管理者と共同で行いました。



12.5

石巻浄化センター汚泥処理施設(機械濃縮機)機械設備2期工事完成

汚水量の増加に対応するために汚泥処理能力の向上が必要となりました。これまでの重力式濃縮機に加え機械濃縮機を新設することにより汚泥の質、量に合わせた運転が可能となりました。



R1.1.7

女川幹線鷲神管渠復旧工事の完了

東日本大震災の災害復旧工事で唯一未了であった復旧工事が完了しました。



2.28

河北桃生幹線管渠移設工事

内海橋災害復旧工事に伴い支障となる河北桃生幹線管渠を移設する工事を実施しており、一部区間(推進区間)が完成しました。



令和元年度からは、地方公営企業法を適用する流域水道事業を企業局へ移管した。

仙台地方ダム総合事務所の記録

平成24年度の記録

4.18,26

仙台・宮城【伊達な旅】関連美化活動

DC春キャンペーン(平成24年4月1日～6月30日)のプレキャンペーンとして、関係機関と共に清掃美化活動を2ダムで実施しました。

- ・南川ダム(18日)
- ・大倉ダム(26日)

5.3→4

洪水警戒体制

発達した低気圧が本州の太平洋側沿岸を進んだ影響により大雨となり、総雨量が大倉ダムの十里平で213mm、南川ダムで268mmに到達。春先の各ダムが満水に近い状態だったことから、南川ダムでは水位がサーチャージ水位まで残りあと5cmに迫りました。



▲南川ダム湖面状況



▲非常用洪水吐に残りあと5cmと迫る

6.19→20

洪水警戒体制

台風4号による大雨のため、管理する6ダム全てにおいて洪水調節を実施。総雨量は七北田ダム及び宮床ダムで159mmを観測。また、大倉ダムでは最大流入量221m³/sを記録しました。

6.29

ネーミングライツ看板除幕式

宮城県と仙台環境開発(株)は、大倉ダム展望スペースに設置したネーミングライツ

看板「仙台環境開発大倉ダム」の除幕式を執り行いました。



▲ネーミングライツ看板前で記念撮影



▲スラストブロックにも愛称名を表示

7.31

白沢河川水位観測所外河川災害復旧工事完了

震災により被災した白沢河川水位観測所及び樽水ダム寺野警報所の復旧工事が完了。

【白沢河川水位観測所】



▲白沢河川水位観測所 復旧前
崖の崩落により観測所の機能停止



▲白沢河川水位観測所 復旧完了
新たに約40m上流右岸に設置

【樽水ダム寺野警報所】



▲寺野警報所 復旧前
仮設の檣にサイレン、スピーカ等を設置



▲寺野警報所 復旧完了
サイレン塔は2柱式

H25.1.21

南川ダム河川災害復旧外工事完了

震災により被災した南川鞍部ダムの復旧工事が完了しました。



▲南川鞍部ダム 復旧完了
遮水性密粒度AS及び表面保護層を設置

1.31

ダムの見学者数について

昨年度1,261名(27団体)まで落ち込んだ見学者数については、本年度(平成25年1月末現在)で2,960名(50団体)と震災前の水準まで復活しました。なお、見学者のほとんどを小学生(4学年)が占めています。また、平成24年度の出前講座は、のべ10団体610人を対象に実施しました。

仙台地方ダム総合事務所

平成25年度の記録

4.11

大倉ダム非常用バルブ操作演習を実施

大倉ダムでは通常、貯留した水を東北電力大倉発電所に送水し、発電用水として利用した後、大倉川に放流していますが、発電停止時に放流するための非常用放流バルブの操作についての演習を実施しました。

4.23

南川ダム湖畔公園等清掃活動を実施

仙台・宮城デスティネーションキャンペーンの一環として開催される「七ツ森湖畔公園花まつり」の前に関係機関と協働で南川ダム周辺の清掃活動を実施しました。



4.25

ダム管理演習を実施

洪水期のダム管理に万全を期すため、洪水時におけるダムの状況について関係機関への通知、下流住民への放流警報等、情報伝達の演習を行いました。

4.26

大倉ダム清掃活動を実施

仙台・宮城デスティネーションキャンペーンに合わせて、全国から本県を訪れる観光客が気持ちよく観光できるよう、国道48号線～定義如来間の大倉ダム湖周辺や県道・市道における清掃美化活動を関係団体と協働して実施しました。

5.11

樽水ダム清掃活動を実施

樽水ダムは名取市上水道の水源となっていることから、安心・安全で良質な水を提供するとともに、水源地環境保全の意識向上のために樽水ダム湖周辺全体の清掃活動を関係団体と協働して実施しました。



6.12

図上訓練を実施

平成23年東北地方太平洋沖地震と同じレベルの地震及び津波を想定し、発災時における初動対応を確認しました。シナリオブラインド型ロールプレイング法による情報収集・伝達等の確認をしました。

6.16

水防技術講習会を受講

洪水などで河川堤防が洗掘・漏水した場合の対策である、積み土のう工法、月の輪工法、木流し工法の設置技術を学びました。



7.18

森と湖に親しむ旬間

森林、ダムや河川等への関心・理解を深めてもらうために定められた「森と湖に親しむ旬間」の一環として、仙台市立大倉小学校の児童たちと、ダム湖周辺の自然に親しむためのイベントを実施しました。



8.1

水資源功績者表彰

大倉ダムの環境美化活動を50年間実施した功績により、「平成25年度水資源功績者」として仙台市立大倉小学校が太田国土交通大臣より表彰されました。

10.27

大倉ダム清掃活動を実施

仙台市立大倉小学校児童及び各利水関係機関・地元町内会等による、「大倉ダム湖周辺清掃」が実施されました。

10.30

オイルフェンス設置訓練に参加

ダム湖等で油流失事故が発生した場合の迅速な拡散防止、回収に努めるため、オイルフェンス設置訓練に参加しました。



11.1

みやぎダムめぐりカードを更新

ダムマニアの間ではひそかに人気となっているダムめぐりカードですが、このたび管理する6ダム(大倉・樽水・七北田・南川・宮床・惣の関)のダムめぐりカードの写真及びレイアウトを更新しました。

11.25

ダム定期検査

ダムの管理体制・管理状況、施設設備の状況等について、各ダムが3年に1度受検することとなっています。平成25年度は南川ダム及び宮床ダムについて定期検査を受検しました。



H26.2.18

川内沢川河川整備懇談会を開催

平成25年7月の国土交通省の有識者会議において川内沢ダムの『事業継続』との方針が決定されました。それを受けて、川内沢ダム建設事業の今後の進め方等について建設予定地地区住民の皆様へ説明しました。

●各ダム管理水位について

平成23年東北地方太平洋沖地震により、下流河川流域の地盤沈下や、河川施設の被災が発生し、水防警報の基準水位の見直しが行われたことから、洪水時における治水安全度を向上させるため、通常の常時満水位(制限水位)より1.0mまたは0.5m低い水位を設定し、治水容量の増大を図っております。平成23年5月から引き続き実施しており、大倉ダムを除く5ダムで平成25年度も実施しました。

●各ダム見学会の実施

ダムの仕組みや役割を理解していただくため、当事務所で管理する6ダムで見学会を実施しました。今年度は仙台市内や周辺市町の小学校を中心に計48団体、2,913名がダム見学会に訪れました。

4.8,15

川内沢ダム建設事業における説明会

名取市愛島笠島地内において建設をする川内沢ダムについて、目的等を地元住民等に理解してもらうため、2回に分けて説明会を開催しました。



4.23

クリアリア南川ダム湖畔公園等清掃を実施

仙台・宮城【伊達な旅】春キャンペーンにあわせて開催される「七ツ森湖畔公園花まつり」の前に関係機関と協働でクリアリア南川ダム周辺清掃活動を実施しました。

5.14

ダム管理演習を実施

洪水期のダム管理に万全を期すため、洪水時におけるダムの状況について関係機関への通知、下流住民への放流警報等、情報伝達の演習を行いました。

6.12

ダム地震防災訓練を実施

県民防災の日にあわせて、地震防災訓練を実施しました。東日本大震災クラスの地震が発生したという想定のもとに、点検内容の確認や情報収集伝達訓練を行いました。

7.5

樽水ダム湖周辺清掃を実施

樽水ダムは名取市上水道の水源となっていることから、安心・安全で良質な水を提供するとともに、水源地環境保全の意識向上のために樽水ダム湖周辺全体の清掃活動を関係団体と協働して実施しました。

7.29

専門家による川内沢ダム現地調査を実施

川内沢ダム堤体建設予定地において、専門家による現地調査を実施し、ダムサイト・ダム形式の確定に向けて検討を進めています。

8.27

大倉小学校スマイルリバーサポーター表彰

大倉小学校は、平成19年度にサポーターに認定され、児童が中心となってダム湖周辺の清掃美化活動を行っています。仙台市及び塩竈市の水道水源の保全に大きく貢献していることから表彰されました。

9.29

仙台環境開発大倉ダム湖周辺清掃を実施

大倉小学校他21団体153名によりダム湖周辺の清掃を行いました。秋の観光シーズンに向け、全国から本県を訪れる方々が気持ちよく観光できるよう、ダム湖周辺環境はきれいになりました。



10.3

川内沢ダム建設事業地形測量説明会

川内沢ダムの実施設計に向け、より詳細に建設予定地周辺の地形を把握するため、地形測量の実施について、地元住民に説明会を開催しました。

10.17

仙台環境開発大倉ダム係船設備完成

ダムの管理体制・管理状況、施設設備の状況等について、各ダムが3年に1度受検することとなっています。平成26年度は樽水ダム及び七北田ダムについて定期検査を受検しました。

11.8

ダム定期検査

ダムの管理体制・管理状況、施設設備の状況等について、各ダムが3年に1度受検することとなっています。平成26年度は樽水ダム及び七北田ダムについて定期検査を受検しました。

12.2

川内沢ダム予定地周辺の用地測量説明会

川内沢ダム建設予定周辺において地籍測量未了地が存在するため、用地境界の確定を目的とした用地測量の実施について、関係者に説明会を開催しました。

H27.1.13

仙台環境開発大倉ダム左岸復旧工事完成

長年の貯水位変動、強風波浪等により浸食が進み、貯水池へ影響を与える恐れがある左岸法面の復旧工事が完成しました。

3.9

仙台環境開発大倉ダム放流警報設備完成

既設設備の老朽化に伴い平成26年2月より始まりました更新工事が無事完成しました。サイレンやスピーカを更新し、住民等への情報伝達機能向上を図りました。



●各ダム管理水位について

平成23年東北地方太平洋沖地震により、下流河川流域の地盤沈下や、河川施設の被災が発生し、水防警報の基準水位の見直しが行われたことから、洪水時における治水安全度を向上させるため、通常の常時満水位(制限水位)より1.0mまたは0.5m低い水位を設定し、治水容量の増大を図っております。平成23年5月から引き続き実施しており、大倉ダムを除く5ダムで平成26年度も実施しました。

●各ダム見学会の実施

ダムの仕組みや役割を理解していただくため、当事務所で管理する6ダムで見学会を実施しました。今年度は仙台市内や周辺市町の小学校を中心に計38団体、2,128名がダム見学に訪れました。

仙台地方ダム総合事務所

平成27年度の記録

4.23

クアリア南川ダム湖畔公園等清掃を実施

「七ツ森湖畔公園花祭り」の開催に先駆け、関係機関と協働でクアリア南川ダム周辺の清掃活動を実施しました。



5.19

洪水対応演習を実施

地質調査や検討を行い、国及び専門機関との確認・調整を進め、7月14日にダムサイト・ダム型式が確定しました。



6.12

ダム地震防災訓練を実施

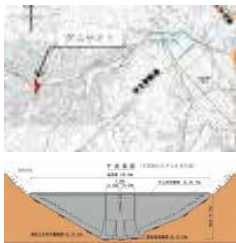
県民防災の日にあわせて、地震防災訓練を実施しました。東日本大震災クラスの地震が発生したという想定のもと、点検内容の確認や情報収集伝達訓練を行いました。



7.14

川内沢ダム ダムサイト・ダム型式確定

地質調査や検討を行い、国及び専門機関との確認・調整を進め、7月14日にダムサイト・ダム型式が確定しました。



9.2

水辺クリーンの会スマイルリバーサポーター表彰

水辺クリーンの会は、平成18年度にサポーターに認定され、ダム湖周辺の清掃・美化活動を行うとともに水源環境保全の啓蒙啓発に貢献したことから表彰されました。



9.9→11

台風18号及び豪雨による洪水調節と被災状況

9日から11日にかけての、台風18号及び豪雨により、管理する6ダムにおいて洪水調節を実施しました。また、この豪雨により水観測所3箇所(市名坂・小角・郷六)並びに七北田ダムが被災しました。



9.24

仙台環境開発大倉ダム湖周辺清掃を実施

秋の観光シーズンに向け、大倉小学校をはじめとするスマイルサポーターの方々と協働でダム湖周辺の清掃を行いました。



10.24

樽水ダム湖周辺清掃を実施

樽水ダムは名取市上水道の水源となっていることから、水源環境保全とその意識啓蒙のため、スマイルサポーターの皆さんと協働してダム湖周辺の清掃活動を実施しました。



11.10,18

ダム定期検査

ダム検査規定に基づき、ダムの維持、操作その他の管理の状況について3年に1回検査を受けることとなっており、今年度は大倉ダム及び惣の関ダムについて定期検査を受検しました。



12.25

川内沢ダム建設予定地横抗調査実施

川内沢ダム建設予定地の地質について詳細に把握するため、横抗の掘削を開始しました。横抗とは人が入れる高さ2m弱のトンネルのことで、岩盤が固く断面が小さいことから機械による掘削ができず、火薬による発破作業により実施しました。

H28.3.10

仙台環境開発大倉ダム通信設備完成

既設設備の老朽化に伴い平成27年9月から実施していた更新工事が無事完成しました。情報表示板や監視装置の更新を行い、住民等への情報伝達機能向上を図りました。



●各ダム管理水位について

平成23年東北地方太平洋沖地震により、下流河川流域の地盤沈下や、河川施設の被災が発生し、水防警報の基準水位の見直しが行われたことから、洪水時における治水安全度を向上させるため、通常の常時満水位(制限水位)より1.0mまたは0.5m低い水位を設定し、治水容量の増大を図っています。平成23年5月から実施しており、樽水ダム、七北田ダム及び惣の関ダムについて平成27年度も実施しました。南川ダム及び宮床ダムについては、今年度通常運用へ移行しました。

●各ダム見学会の実施

ダムの仕組みや役割を理解していただくため、当事務所で管理する6ダムで見学会を実施しました。今年度は仙台市内や周辺市町の小学校を中心に計41団体、1,847名がダム見学に訪れました。

4.21

仙台環境開発大倉ダム湖周辺春季清掃を実施

春の観光シーズンに向け、スマイルサポーターの方々と協働でダム湖周辺の清掃を行いました。

5.27

洪水対応演習を実施

洪水期のダム管理に万全を期すため、洪水時の関係機関への通知や下流住民への放流警報など、対応方法と情報伝達の演習を行いました。



6.14

ダム地震防災訓練を実施

県民防災の日にあわせて、地震防災訓練を実施しました。東日本大震災クラスの地震が発生したという想定のもと、点検内容の確認や情報収集伝達訓練を行いました。



7.25

川内沢ダム付替市道地元説明会を実施

川内沢ダム建設に伴い、補償工事となるダム湖左岸の付替市道ルートが決定したことから、地権者を対象に付替市道説明会を実施しました。

8月

台風10号及び豪雨による洪水調節状況

8～9月の洪水期に6ダムで8回警戒配備体制をとり、うち4ダムで6回洪水調整を行いました。

9.16

仙台環境開発大倉ダム湖周辺秋季清掃を実施

秋の観光シーズンに向け、大倉小学校をはじめとするスマイルサポーターの方々と協働でダム湖周辺の清掃を行いました。

10.22

樽水ダム湖周辺清掃を実施

樽水ダムは名取市上水道の水源となっていることから、水源環境保全とその意識啓蒙のため、スマイルサポーターの皆さんと協働してダム湖周辺の清掃活動を実施しました。



10.25

川内沢ダム移転補償勉強会を実施

川内沢ダム建設に伴い、地区外に移転される地権者に対して、移転補償勉強会(7月、9月、10月)を開催し、移転先の検討等を進めています。



11.17

ダム長寿命化計画 総合点検の実施

ダム総合点検実施要領に基づき、ダムの維持、操作等の管理の状況について総合点検を実施し、専門家の助言をいただきました。今年度は南川ダム、宮床ダム及び七北田ダムについて実施しました。



H29.1.14

三地方ダム総合事務所合同設備研修を実施

職員研修の一環として、三地方ダム総合事務所の合同で、仙台市南蒲生浄化センターの復旧状況について、現場研修を実施しました。



2.2

南川ダム洪水吐ゲート開度計修繕工事完成

ダム建設当時(昭和55年製)から使用していた開度計が経年劣化により損傷し計測不良が発生しましたが、ゲート放流量を演算表示させる重要な機器であることから開度計本体の交換工事を行い、無事に完成しました。

2.27

川内沢ダムを林道説明会を開催

川内沢ダム建設に伴い、補償工事となるダム湖右岸の林道ルートが決定したことから、地権者を対象に林道説明会を実施しました。

●各ダム管理水位について

平成23年東北地方太平洋沖地震により、下流河川流域の地盤沈下や、河川施設の被災が発生し、水防警報の基準水位の見直しが行われたことから、洪水時における治水安全度を向上させるため、通常の常時満水位(制限水位)より1.0m低い水位を設定し、治水容量の増大を図っています。平成23年5月から実施しており、樽水ダム、七北田ダム及び惣の関ダムについて平成28年度も実施しました。南川ダム及び宮床ダムについては、昨年度から通常運用で管理を行っています。

●各ダム見学会の実施

ダムの仕組みや役割を理解していただくため、当事務所で管理する6ダムで見学会を実施しました。今年度は仙台市内や周辺市町の小学校を中心に計27団体、1,438名がダム見学会に訪れました。



仙台地方ダム総合事務所

平成29年度の記録

4.20

仙台環境開発大倉ダム湖周辺春季清掃を実施

春の観光シーズンに向け、スマイルサポーターの方々と協働でダム湖周辺の清掃を行いました。

5.12

洪水対応演習を実施

洪水期のダム管理に万全を期すため、洪水時の関係機関への通知や下流住民への放流警報など、対応方法と情報伝達の演習を行いました。



6.12

ダム地震防災訓練を実施

県民防災の日にあわせて、地震防災訓練を実施しました。東日本大震災クラスの地震が発生したという想定のもと、点検内容の確認や情報収集伝達訓練を行いました。

6.26

三地方ダム総合事務所合同研修を実施

職員研修の一環として、三地方ダム総合事務所の合同で、姥ヶ懐トンネル工事について、現場研修を実施しました。

6.30

惣の関ダム外電気設備修繕工事完成

宮床と惣の関ダムの無停電電源装置及び惣の関ダムの自家発始動用蓄電池の交換、南川ダムの水力発電ダイヤル式温度計の工事を行い無事に完成しました。



7.14

樽水ダム観測設備改良工事

設置から20年近く経過し劣化が進んでいた観測設備ですが、ダム管理に万全を期するため、水位観測設備及び漏水観測設備の更新工事を行い無事に完成しました。



8月

台風5号及び豪雨による洪水調節状況

8～10月に6ダムで15回警戒配備体制をとり、うち5ダムで8回洪水調整を行いました。

9.29

宮床ダム放流設備改良工事完成

放流設備は宮床ダム貯水量の調整と下流河川への放流量調節及び非常放流を行う設備です。本設備は建設当初より使用しており管理に重要な機器であるため、電動弁部品や流量計交換工事を行い無事に完成しました。



10.28

樽水ダム湖周辺清掃を実施

樽水ダムは名取市上水道の水源となっていることから、水源環境保全とその意識啓蒙のため、スマイルサポーターの皆さんと協働してダム湖周辺の清掃活動を実施しました。



12.3

川内沢ダム事業説明会を開催

川内沢ダム建設に伴う、ダム形式等の事業内容や今後のスケジュールについて地権者に向け説明会を実施しました。

H30.2.2

ダム長寿命化計画 総合点検の実施

ダム総合点検実施要領に基づき、ダムの維持、操作等の管理の状況について総合点検を実施し、専門家の助言を頂きました。今年度は大倉ダム、樽水ダム及び惣の関ダムについて実施しました。

3.4

川内沢ダムを林道説明会を開催

川内沢ダム建設に伴い、補償工事となるダム湖右岸の林道ルートが決定したことから、地権者を対象に林道説明会を実施しました。



●各ダム管理水位について

平成23年東北地方太平洋沖地震により、下流河川流域の地盤沈下や、河川施設の被災が発生し、水防警報の基準水位の見直しが行われたことから、洪水時における治水安全度を向上させるため、通常の常時満水位(制限水位)より1.0m低い水位を設定し、治水容量の増大を図っています。平成23年5月から実施しており、樽水ダム、七北田ダム及び惣の関ダムについて平成29年度も実施しました。南川ダム及び宮床ダムについては、一昨年度から通常運用で管理を行っています。

●各ダム見学会の実施

ダムの仕組みや役割を理解していただくため、当事務所で管理する6ダムで見学会を実施しました。今年度は仙台市内や周辺市町の小学校を中心に計34団体、1,635名がダム見学会に訪れました。



4.20

洪水対応演習を実施

洪水期のダム管理に万全を期すため、洪水時の関係機関への通知や下流住民への放流警報など、対応方法と情報伝達の演習を行いました。

5.15

測量研修を実施

3地方ダム総合事務所と仙台土木の若手技術職員を対象とし、(一社)宮城県測量協会の協力をいただきながら測量研修を行いました。



6.12

ダム地震防災訓練を実施

県民防災の日にあわせて、地震防災訓練を実施しました。東日本大震災クラスの地震が発生したという想定のもと、地震時点検の内容確認や情報収集伝達訓練を行いました。

7.8

川内沢ダム林道設計説明会を開催

川内沢ダム建設事業に伴う林道の詳細設計について林道利用者向け説明会を実施しました。



8月, 10月

台風等による洪水調節状況

8・10月に6ダムで2回警戒配備体制をとりました。

9.21

川内沢ダム用地説明会を開催

川内沢ダム建設に伴う、ダム本体及び付替道路に必要な用地の説明や今後のスケ

ジュールについて地権者に向け説明会を実施しました。

10.28

仙台環境開発大倉ダム湖周辺秋季清掃を実施

秋の観光シーズンに向け、スマイルサポーターの方々と協働でダム湖周辺の清掃を行いました。



10.28

最上小国川流水型ダムの現場視察

山形県の最上小国川流水型ダムの見学会を実施しました。川内沢ダムと施工規模が同程度であるため、本体実施設計を進めるにあたり非常に有意義な視察となりました。



12.25

集団移転関係者との意見交換会を実施

川内沢ダム建設事業では13軒の家屋が移転となり、その内4軒の地権者の方々は集団で生活を再建したいとの意向があったことから、関係地権者の方々がスムーズに集団移転できるように開催しました。



R1.2.2

宮床ダム管理用制御処理設備工事完成

ダムの各計測器から送信される信号を変換・処理する設備でダム管理には必要不可欠な設備です。

平成29年度と平成30年度の2カ年で工事を完了しました。

2.6

職場研修を実施

当所の扇技術副参事を講師として検査課の専門検査員として従事していたときに感じたことや監督職員として生じる責任についての職場研修を行いました。

2.28

南川ダムワイヤーロープ修繕工事完成

南川ダムの取水設備及び係船設備のワイヤーロープについて、劣化していたグリスを更新することによりロープの摩耗、腐食、疲労を軽減する工事を実施しました。



●各ダム管理水位について

平成23年東北地方太平洋沖地震により、下流河川流域の地盤沈下や、河川施設の被災が発生し、水防警報の基準水位の見直しが行われたことから、洪水時における治水安全度を向上させるため、通常の常時満水位(制限水位)より1.0m低い水位を設定し、治水容量の増大を図っています。平成23年5月から実施しており、樽水ダム、七北田ダム及び窓の関ダムについて平成30年度も実施しました。南川ダム及び宮床ダムについては、平成27年度から通常運用で管理を行っています。

●各ダム見学会の実施

ダムの仕組みや役割を理解していただくため、当事務所で管理する6ダムで見学会を実施しました。今年度は仙台市内や周辺市町の小学校を中心に計37団体、1,945名がダム見学会に訪れました。

仙台地方ダム総合事務所

令和元年度の記録

4.23, 25

ダム情報伝達連絡会を実施

洪水期におけるダムの確実な情報伝達や地域住民への効果的な情報発信に資するため、関係機関に対してダムの洪水調節の仕組みや洪水時にダムから通知する情報について説明しました。



5.10, 6.26

洪水対応演習を実施

洪水期のダム管理に万全を期すため、洪水時の関係機関への通知や下流住民への放流警報など、対応方法と情報伝達、洪水シミュレーション演習を行いました。



6.12

ダム防災訓練を実施

県民防災の日にあわせて、地震防災訓練を実施しました。東日本大震災クラスの地震が発生したという想定のもと、地震時点検の内容確認や情報収集伝達訓練を行いました。

8月, 12月

集団移転関係者との意見交換会を実施

川内沢ダム建設事業では13軒の家屋が移転となり、その内4軒の地権者の方々は集団で生活を再建したいとの意向があったことから、関係地権者の方々がスムーズに集団移転できるように開催しました。

8.21

ダム管理ワーキングを実施

これからの将来のダム管理のあり方について、大崎・栗原地方ダム総合事務所とワーキングを実施しました。

台風等による洪水警戒配備状況

8月:1回(南川ダム)
9月:1回(宮床ダム)
10月:3回(全ダム6ダム)
1月:1回(樽水・南川・宮床ダム)の計6回の洪水警戒配備体制をとりました。

8.25

南川ダム資料館公開講座

10月~11月

樽水ダム出前講座を開催

洪水時におけるダム操作やその際に提供される情報とその意味について、一般住民を対象に公開講座及び出前講座を開催しました。



9.27

大倉ダム湖周辺秋季清掃を実施

秋の観光シーズンに向け、スマイルサポーターの方々や関係団体と協働でダム湖周辺の清掃を行いました。

10.1

スマイルサポーターへの感謝状

大倉ダムで活動して頂いているスマイルサポーターと樽水ダムで活動して頂いているスマイルサポーターの2団体へ宮城県知事の感謝状が贈呈されました。



10.30

川内沢ダム付替市道橋梁下部工事説明会を実施

川内沢ダム建設事業に伴い水没する市道をダム湖北側に付替整備するため、地域住民の方々を対象に工事説明会を実施しました。

11月

川内沢ダム付替市道1・2号橋下部工工事着手

川内沢ダム建設事業に伴いダム湖北側に付替整備する市道の川内沢川に架かる1号橋及び2号橋の下部工事に着手しました。



12.12

ダム管理ワーキングを実施

R2.3.19

宮床ダム取水塔内水位計更新工事完成

宮床ダムの取水塔設備の水位計について、設置当初から使用しており、ダム管理に重要な機器であるため、水位計センサー並びに変換器の更新工事を実施し無事に完成しました。

●各ダム管理水位について

平成23年東北地方太平洋沖地震により、下流河川流域の地盤沈下や、河川施設の被災が発生し、水防警報の基準水位の見直しが行われたことから、洪水時における治水安全度を向上させるため、通常の常時満水位(制限水位)より1.0m低い水位を設定し、治水容量の増大を図っています。平成23年5月から実施しており、樽水ダム、七北田ダム及び惣の関ダムについて令和元年度も実施しました。南川ダム及び宮床ダムについては、平成27年度から通常運用で管理を行っています。

●各ダム見学会の実施

ダムの仕組みや役割を理解していただくため、当事務所で管理する6ダムで見学会を実施しました。今年度は仙台市内や周辺市町の小学校を中心に計24団体、1,229名がダム見学会に訪れました。

仙台地方ダム総合事務所

令和2年度の記録

4.15→24

ダム湖畔公園等一般利用施設合同点検

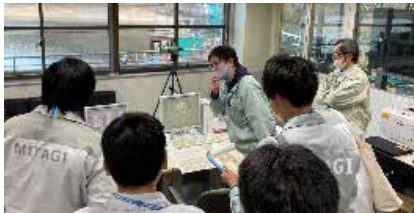
水源地域における水と緑の貴重なオープンスペースや交流等の拠点として一般利用されているダム管理区域の関連施設の点検を実施しました。



5.15, 26, 6.1

洪水対応訓練を実施

洪水期のダム管理に万全を期すため、洪水時の関係機関への通知や下流住民への放流警報など、対応方法と情報伝達、洪水シミュレーション演習、ゲート操作訓練等を行いました。



6.12

ダム防災訓練を実施

県民防災の日にあわせて、地震防災訓練を実施しました。東日本大震災クラスの地震が発生したという想定のもと、地震時点検の内容確認や情報収集伝達訓練を行いました。

7月

台風等による洪水警戒配備状況

4月:1回, 7月:4回, 9月:4回, 2月:1回の計10回の洪水警戒配備体制をとりました。洪水調節は大倉ダムが2回, 樽水ダムが1回, 南川ダムが3回, 宮床ダムが1回実施しました。

7.8

洪水対応訓練を実施

9月

地震発生に伴う施設点検実施状況

4月:1回(惣の関ダム)
9月:1回(惣の関ダム)
2月:1回(全6ダム)
3月:2回(全6ダム)
の計5回, 施設点検を実施しました。

9.9

ダム管理ワーキングを実施

これから将来のダム管理のあり方について、令和元年度から引き続き大崎・栗原地方ダムと点検様式統一化や集中管理方式等の題目でワーキングを実施しました。

9.16

洪水対応訓練を実施

9.28

大倉ダム湖周辺秋季清掃を実施

秋の観光シーズンに向け、スマイルサポーターの方々や関係団体と協働でダム湖周辺の清掃を行いました。

10.5→7

ダム湖畔公園等一般利用施設合同点検

10.9

川内沢ダム付替市道3号橋下部工及び道路改良工事に着手

名取市市道3号橋の橋台2基と橋梁起点側の延長L=90m区間の道路改良工事に着手しました。



10.28

三地方ダム総合事務所大倉ダム合同点検

緊急事態時における協力体制等の構築を目標に、三地方ダム総合事務所違いのあるダム設備の点検様式・点検レベルの標準化を図るため、合同で大倉ダム設備点検を実施しました。

11.13

洪水対応訓練を実施

11.25

川内沢ダム管理基本方針ヒアリング

国土交通省による「川内沢ダムの管理基本方針(管理体制, 洪水時及び地震時の対応, 警報区間の設定, 管理設備計画等)の確認が行われ, 承認されました。

R3.1.26

ダム管理ワーキングを実施

2.17, 18

ダムホットライン訓練を実施

ダムの非常用洪水吐からの越流の際に関係市町村へダムの洪水調節状況の提供を行い, 市町村長の避難勧告発令等の判断の支援を行う「ダムホットライン」の情報伝達訓練を実施しました。

2.18

ダム管理ワーキングを実施

3.10

樽水ダム管理用制御処理設備改良工事完成

樽水ダム管理用制御処理設備は, 設置当初から使用しておりダム管理に重要な機器であるため, 設備の改良並びに流入予測システムを設置し, 無事に完成しました。



3.12

洪水対応訓練を実施

3.22

川内沢ダム付替市道1・2号橋上部工工事完成

1・2号橋(コンクリート橋)の上部工工事が完成しました。

【1号橋:PC単純中空床版橋】

橋長L=17.7m 幅員W=7.0m

【2号橋:PC単純中空床版橋】

橋長L=16.7m 幅員W=7.5m

●各ダム管理水位について

平成23年東北地方太平洋沖地震により, 下流河川流域の地盤沈下や, 河川施設の被災が発生し, 水防警報の基準水位の見直しが行われたことから, 洪水時における治水安全度を向上させるため, 通常の常時満水位(制限水位)より1.0m低い水位を設定し, 治水容量の増大を図っています。平成23年5月から実施しており, 樽水ダム, 七北田ダム及び惣の関ダムについて令和2年度も実施しました。南川ダム及び宮床ダムについては, 平成27年度から通常運用で管理を行っています。

大崎地方ダム総合事務所の記録

平成24年度の記録

4.7

化女沼ダムに「鎮魂の桜」を植樹

東日本大震災で犠牲になられた方々の鎮魂と被災地の復興を祈念し、スマイルサポーターの「化女沼2000本桜の会」が桜の苗木を植樹しました。地元の小生に加え、大崎市長や県議員の方々にも出席いただき、約50人の参加者にて実施されました。



▲集合写真

4.11

漆沢ダム洪水対応演習の実施

融雪や大雨による洪水に備え、ダム放流時の危害防止の措置（関係機関への通知・放流警報等での周知）や、ダムの洪水調節操作を的確に行う事を目的に演習を実施しました。



▲演習の様子

4.16

転入者及び応援配備要員に対する訓練の実施

転入者、北部地震からの応援配備要員及び管理補助業務委託者を対象に、非常配備訓練を実施しました。

4.29

化女沼ダム清掃活動の実施

スマイルサポーター3団体、大崎市及び当事務所の協働による清掃活動を実施し、ダム周辺の環境整備に努めています。



▲清掃活動

5.15

洪水対応演習の実施

管理する5ダム（漆沢ダム・化女沼ダム・上大沢ダム・岩堂沢ダム・二ツ石ダム）において、関係機関への洪水警戒体制や放流開始に関する通知、連絡及び一般住民への放流警報等について情報伝達の演習を行いました。



▲演習の様子

5.30

漆沢ダム見学会の実施

美里町立青生小学校4年生の児童16名、引率の先生2名を迎えダム見学会を実施。ダムの目的や仕組みなどについて説明し、ダム操作室の機器やダム堤体、監査廊の見学会を行いました。また、事務所作成の「みやぎ湖沼めぐりカード」を記念にお持ち帰りいただきました。



▲見学会の様子

6.12

6.12総合防災訓練の実施

平成23年度東北地方太平洋沖地震と同レベルの地震及び津波を想定し、休日に発生した場合の発災時における初動対応を、シナリオブラインド型ロールプレイング方式により確認しました。



▲訓練の様子

7.11

炭焼きの実施

漆沢ダムの炭窯を用いて、流木を用い炭焼きを行い、廃棄物の有効利用・処分費の軽減・地元との協働（地域に伝わる炭焼きの技術の継承及び文化の伝承の補助）を図りました。（9/20、10/3、10/31を加えた計4回実施）

炭は漆沢ダムで行われる「水と森と風のくにまつり」の参加者に無料配布しました。



▲炭焼きの様子

7.22

「第19回水と森と風のくにまつり」開催

漆沢ダムにおいて、漆沢地区青年部・婦人部、加美町、林野庁宮城北部森林管理署、国土交通省鳴瀬川総合開発調査事務所及び当所の主催、大崎水管理協議会協賛により、地域の豊かな自然を多くの人に味わってもらうことを目的に、漆沢ダム及び溪流センターにて開催しました。あいにくの天気でしたが、約350名の参加を得て、ダムの機能や有用性等について理解を深めていただきました。

8.6

環境美化活動(除草作業)実施

職員によるダム堤体の除草作業を実施。作業前には刈り払い機の使用上の注意点や熱中症予防等について確認し、安全に作業を行いました(各ダムにて適宜実施)。

8.29

漆沢ダム利水者情報連絡会議(第一回)開催

渴水傾向が見られることから、貯水状況について各利水者と情報共有を図るとともに、今後の取水管理について調整を行いました。



▲会議の様子

9.13

ダム見学を実施

宮城県農業改良OB大崎会の皆さん14名が参加するなかダム見学を実施。岩堂沢ダムの運用状況や、日常の管理について熱心に話を聞いていただき、また施設内の一部(堤頂道路やリムトンネルなど)を歩きながらダムを体感していただきました。

10.18

警報掲示板の清掃

ダム下流の警報掲示板(漆沢ダム50基, 化女沼ダム8基, 上大沢ダム3基)の清掃及び周辺除草を直営で行い、視認性を改善しました。

11.7

雨量観測局の閉局

漆沢ダム上流の朝日雨量観測局にて冬期養生のため閉局作業を行いました。

12.3

炭粉の上流水源地への散布

漆沢ダムにおいて炭焼きから発生した炭粉を、水質浄化を目的に、ダム上流域へ散布を行いました。



▲散布作業の様子

12.10

ダム総合情報システム修繕工事完成

経年劣化のため障害が発生していた、総合事務所のダム総合情報システムの修繕工事を実施し、安定した運用が可能となりました。

12.27

田沢川水位計修繕工事施工完了

上大沢ダム上流の分流工の水位計が故障したため、本格的な降雪期前に緊急に施工を実施しました。

H25.1.8

監査廊点検を実施

ダム監査廊の天井側壁, 付帯設備(照明, 配管, ケーブルラック)及び手摺等について点検を実施して、崩落や脱落の危険性がないかを確認しました(各ダムにて実施)。



▲演習の様子

1.21

水力発電用水の柔軟な供給

冬期の電力需要に対応するため、東北電力と協議のうえ、漆沢発電所に対して柔軟な発電用水の供給を行いました。

1.22

事務所駐車場の除雪

総合事務所前の駐車場を始業前に直営で除雪を実施しました(年間約10回程度)。



▲駐車場除雪の様子

1.23

漆沢ダム制水ゲート設備機側盤更新工事完成

設置以来30年が経過し、老朽化が進行していた当該設備の更新工事が完成しました。これにより平成22年度より順次行ってきた取水設備に関する一連の機側盤更新工事が完了しました。



▲機側盤の更新工事完成

2.5

除雪作業の実施

ダム点検の際に除雪を直営で行い、施設の積雪による破損を防止しました(各ダムにて適宜実施)。



▲除雪機による作業状況

3.11

スマイルサポーター意見交換会

女沼ダムスマイルサポーター3団体と大崎市を交え、意見交換会を実施。今年度の活動報告と今後の取組みについて話し合いました。

平成24年度清掃活動実績は以下のとおり。

- ・活動回数:18回, 参加人数:のべ381人、
- ・ゴミの量:279袋, 粗大ゴミ:洗濯機・掃除機・タイヤ

3.11

見学者とみやぎ湖沼めぐりカード

管理している5ダムにおける今年度の実績は以下のとおり。

- ・見学会回数:21回, 見学者数:のべ531名
- ・みやぎ湖沼めぐりカード配布枚数:1,003枚

4.25

洪水対応演習



6.28

漆沢ダム 炭焼き活動



7.9

漆沢ダム 炭焼き活動



7.21

第20回 水と森と風のくに祭り



8.23

「筒砂子ダム建設事業」及び「鳴瀬川総合開発事業」の検証に係る検討の対応方針が決定

- ・国の鳴瀬川総合開発を継続することとし、筒砂子ダムを建設する。
- ・県が事業主体となる筒砂子ダム建設事業は、中止。

10.1

災害査定(雷災害)



故障した観測装置



落雷証明書

10.9, 10.22

漆沢ダム 炭焼き活動

10.29

平成25年度 リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長受賞

平成18年度から小中学生と一緒に取り組んでいる、漆沢ダムの流木炭化作業(炭窯くろすけ)について、長年の功績が評価されまして、上記、右記表彰を受賞しました。なお、今回の受賞は地元の炭焼き名人、歴代の大崎地方ダム総合事務所職員及び長年携わった大勢の方々のご尽力とご協力の賜と感謝申し上げます。

12.20

土木部 部長表彰



大崎地方ダム総合事務所

平成26年度の記録

4.12

化女沼ダム環境美化活動

スマイルサポーターの皆さんが、地域の幼稚園と保育園の子供達と一緒に『夢の桜』を植樹しました。また、4月から11月までスマイルサポーターの皆さんと一緒に化女沼ダム湖畔周辺の除草やゴミ拾い等環境整備を行いました。(年18回)



5.13

洪水対応演習

梅雨、台風による洪水期を迎えるにあたり、ダム放流時の対応及び関係機関との情報伝達作業等について演習を行いました。



6.10

ダム情報伝達連絡会

洪水期にあたり、大雨による洪水警戒配備や洪水調節が予想されることから、関係機関に対してダム情報を短時間で正確に伝達できるように連絡会を開催しました。



6.18

漆沢ダム 炭焼き活動

7.8

上大沢ダム直営除草作業

委託経費削減のため、上大沢ダム堤体の下流盛土平場(約5,000㎡)を職員が、肩掛式草刈機を使用して直営除草作業を行いました。



7.15

漆沢ダム 炭焼き活動

7.20

第21回 水と森と風のくに祭り

漆沢ダム湖畔において、第21回水と森と風のくに祭りを開催しました。今年度は、雨のため参加者は例年より少なかったが、イワナのつかみ取りなど子供達には大好評でした。



7.23

鳴瀬川水源地域活性化対策協議会解散総会

筒砂子ダム建設事業が、宮城県から国交省へ国の直轄ダムに移行したため、鳴瀬川水源地域活性化協議会の役目を終えて解散総会を行いました。



9.1

ニツ石ダム見学会

日本の水利組織及び水利施設等の現地視察のため、アフガニスタンの農リーダーと随行員の方々が、ニツ石ダム見学に来訪されました。



9.16

漆沢ダム 炭焼き活動

10.31

出前講座(加美町立賀美石小学校)

加美町立賀美石小学校4年生の児童及び教員を対象に『ニツ石ダムの役割』について出前講座を実施しました。

ダムを建設した経緯や果たしている役割について説明を行いました。



10.22

漆沢ダム 炭焼き活動

10月22日には、加美町立西小野田小学校4年生の児童及び教員も参加し、地元経験者指導のもと炭焼きを行いました。

12.19

ダム定期検査

ダム検査規定において、ダムの維持、操作や管理状況について、3年に1度検査を受けることとなり、今年度は、化女沼及びニツ石ダムの定期検査を受検しました。



4.4

化女沼ダム環境美化活動

スマイルサポーターの皆さんと、地域の幼稚園や子供達と一緒に『夢の桜』を植樹しました。また、4月から11月までスマイルサポーターの皆さんと一緒に化女沼ダム湖畔周辺の除草やゴミ拾い等環境整備を行いました。(今年度は、17回実施。)



5.19

ダム洪水対応演習

梅雨、台風による洪水期を迎えるにあたり、ダム放流時の対応及び関係機関との情報伝達作業等について演習を行いました。



6.16

漆沢ダム 炭焼き活動



7.4

上大沢ダム直営除草作業

委託経費削減のため、上大沢ダム堤体の下流盛土平場(約5,000m²)を職員が、肩掛式草刈機を使用して直営除草作業を行いました。



7.14

漆沢ダム 炭焼き活動

7.19

第22回 水と森と風のくに祭り

漆沢ダム湖畔において、第22回水と森と風のくに祭りを開催しました。今年度は、天気にも恵まれて多数の参加者(約330人)と祭りを盛大に行いました。特にイワナのつかみ取りは、子供達に大好評でした。



9.10,11

関東・東北豪雨及び台風第18号による大雨等による警戒配備

二ツ石ダムでは、管理開始以降初の洪水調節を実施しました。化女沼、上大沢及び岩堂沢ダムにおいては、過去最大流入量を記録しました。(写真は、11日8時頃の化女沼ダム下流の田尻川です。)



10.20

漆沢ダム 炭焼き活動

10月20日には、加美町立西小野田小学校4年生の児童及び教員も参加し、地元経験者指導のもと炭焼きを行いました。

10.28,11.12

ダム定期検査

ダム検査規定において、ダムの維持、操作や管理状況について、3年に1度検査を受けることとなっており、今年度は、上大沢及び岩堂沢ダムの定期検査を受検しました。



H28.3.4

化女沼ダム不法投棄注意看板設置作業

ダム湖付近において、不法投棄が多いことから不法投棄撲滅のため、注意看板を6ヶ所に設置し啓蒙活動を実施しました。



大崎地方ダム総合事務所

平成28年度の記録

4.2

大崎市誕生10周年記念桜植樹式

化女沼ダム湖畔にて、「大崎市誕生10周年記念植樹式化女沼の桜で未来の子供達に夢と希望を!!」が開催されました。今年で16回目となり、これまでに2750本の桜の苗木が植樹されています。約80名の方が参加され、八重桜の一種である『花笠』の苗木50本を植樹しました。



4.23

化女沼ダム環境美化活動

4月から11月までスマイルサポーターの皆さんと一緒に化女沼ダム湖畔周辺の除草やゴミ拾い等環境整備を行いました。(今年度は、14回実施。)



4.28

ダム洪水対応演習

梅雨、台風による洪水期を迎えるにあたり、ダム放流時の対応及び関係機関との情報伝達作業等について演習を行いました。



6.29

上大沢ダム直営除草作業

委託経費削減のため、上大沢ダム堤体の下流盛土平場(約5,000m²)を職員が、肩掛式草刈機を使用して直営除草作業を行いました。



8.2

スマイルリバーサポーター表彰

化女沼スマイルサポーターの「化女沼2000本桜の会」が環境大臣賞及び国土交通大臣賞を受賞されました。



10.27

ダム定期検査

ダム検査規定において、ダムの維持、操作や管理状況について、3年に1度検査を受けることとなっており、今年度は、漆沢ダムの定期検査を受検しました。



H29.2.20

化女沼ダム不法投棄注意看板設置作業

ダム湖付近において、不法投棄が多いことから不法投棄撲滅のため、9カ所の既設看板について改修を実施しました。



平成28年度通年

ダム長寿命化計画策定業務

漆沢・化女沼・上大沢ダムについて、より効果的・効率的なダム管理を行うために、点検結果や健全度の評価等を踏まえ、ダムを構成する設備等毎の維持管理に係る中長期的な維持管理方針を定めたダムの長寿命化計画を策定しました。



平成28年度通年

漆沢ダム堰堤改良事業

管理ダムの治水機能や河川環境を総合的に改善を図るため漆沢ダムの堰堤改良を来年度も進めていきます。



4.13

岩堂沢ダム及びニツ石ダムの警戒体制会議開催

岩堂沢ダム及びニツ石ダムでは、洪水時及び地震発生時において、北部地方振興事務所農業農村整備部からの応援配備を円滑に進めるため、緊急時の対応方法等について説明を行い、緊急時確認箇所等の確認を行いました。



4.15

化女沼ダム 大崎市の木「桜」制定 祈念植樹

大崎市の「木」を制定した記念として、化女沼ダム湖畔において化女沼2,000本桜の会主催で、桜の苗木の植樹式が開催されました。



4.22

化女沼ダム環境美化活動

4月から11月までスマイルサポーターの方々との協働により化女沼ダム湖畔周辺の除草やゴミ拾い等環境整備を行いました。(今年度は、17回実施。)



5.12

ダム洪水対応演習

梅雨、台風による洪水期に適切に対応するため、ダム放流時の対応及び関係機関との情報伝達作業等について演習を行いました。



6.27

ニツ石ダム見学会開催

小牛田農林高等学校の2年生がニツ石ダムの見学に訪れ、ダムの役割等について理解いただきました。(北部地方振興事務所主催。出席者 生徒40名、引率教諭2名)



6.30

上大沢ダム直営除草作業

ダムの維持管理費経費削減のため、上大沢ダム堤体の下流部(約5,000m²)を職員が、肩掛式草刈機等を使用して直営による除草作業を行いました。



9.5

漆沢ダム炭焼き作業の実施

漆沢ダムにて発生した流木の有効活用を行うため、炭窯「クロスケ」にて炭焼き作業を行いました。



9.29

鹿野原小学校漆沢ダム見学会の開催

加美町立鹿野原小学校の児童とその親26名が漆沢ダムの見学に訪れ、ダムの役割等について理解いただきました。



11.22

漆沢ダム堰堤改良事業

漆沢ダムの堰堤改良事業として、管理用制御処理設備改良1期工事を施工しました。引き続き設備改良を進め、適切な管理に努めます。



11.27

ダム定期検査

化女沼ダムの維持管理状況等について検査を受検し、機能が良好状態にあることが確認されました。



大崎地方ダム総合事務所

平成30年度の記録

4.20

ダム洪水対応演習

計画超過洪水時におけるダム情報の関係機関への通知や住民に対する警報サイレン等による周知の訓練を、異動による職員の習熟等を目的として、全国のダムで実施され、当所では所管する5ダムで行いました。



6.12

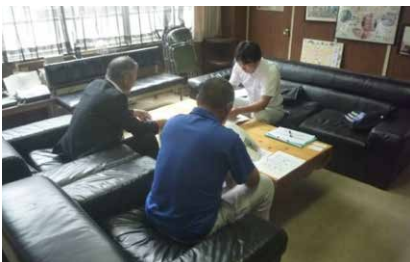
土木部防災訓練

ダム総合事務所他3ダム(漆沢ダム, 化女沼ダム, 岩堂沢ダム)を対象として、土木部BCPに基づく点検・報告の手順確認を、委託業者も含めて行いました。

6月～7月

ダム情報の市町等への説明

ダムから洪水調節や計画超過洪水時に発信する情報の内容・意味合いについて、市町等の関係機関へ説明を行いました。折しも西日本豪雨と重なり、活発な質疑応答がありました。



6月～8月

渇水

6月から7月にかけて降水量が平年の33%～84%、5ダム平均で6月67%、7月56%となり、灌漑用水終了時期の9月初旬には、各ダムの貯水率が0になることが予測されたことから、利水者と協議を重ね、放流量の調整を実施しました。

7.11

漆沢ダム洪水演習

西日本豪雨を受け、漆沢ダムでシミュレーションしたところ、異常時防災操作が24時間以上継続することが判明しました。これ

を受け、他ダム職員によるバックアップ態勢を構築することとしました。

8.6→7

第2次災害査定

6月29日に雷害により被災した化女沼ダム情報表示盤(大崎地方ダム総合事務所内)の公共土木施設災害復旧の災害査定を受けました。

9.28

3地方ダム総合事務所研修

ダム本体工事はダム工事の減少に伴い研修機会も減少したこともあり、隣接する山形県施行の最上小国川ダムの堤体コンクリート打設の現場見学研修を行いました。



9.30

スマイルサポーター表彰

化女沼ダム周辺において、10年に亘り清掃活動を行っている「長者を想う会」が長年の活動に対して知事から表彰を受けました。

10.17

岩堂沢ダム定期検査

10.23

二ツ石ダム定期検査

11.19

上大沢ダム定期検査

上大沢ダムを県河川課で、東北農政局施工、県土木部で管理受託している岩堂沢ダム及び二ツ石ダムについてそれぞれ東北地方整備局鳴子ダム管理事務所長、七ヶ宿ダム管理事務所長による定期検査を受け、問題のない判定となりました。



10.18→19

東北・北海道補助ダム会議

東北・北海道地区の道県所管のダム建設・管理者が、山形県を会場とし意見交換・情報交換を行いました。西日本豪雨の際のダム操作・情報提供・警報のあり方を中心とし、さらに長寿命化計画の執行等の問題点について活発な議論がなされました。



12月～2月

ダム洪水演習(漆沢ダム)

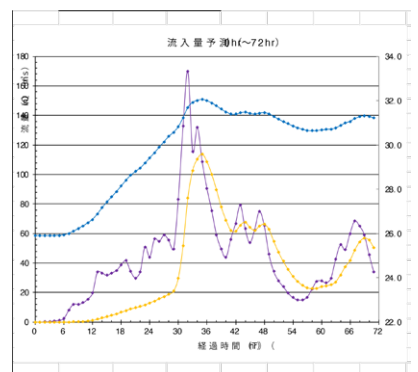
7月の演習で判明した計画超過洪水時のバックアップ態勢を構築するため、ゲートレスダム担当者に対し、漆沢ダム洪水予測・操作・関係機関への通知・警報等の演習を実施しました。



R1.1.18

ダム洪水演習(ゲートレスダム)

計画超過洪水時の関係機関への通知等の必要から、ダム洪水流出計算システムをゲートレス4ダムについて構築しました。これを基に西日本豪雨のシミュレーションを行ったところ、新たに検討していくべき事項が見つかりました。



5.10

ダム洪水対応演習

計画超過洪水時におけるダム情報の関係機関への通知や住民に対する警報サイレン等による周知の訓練を、異動による職員の習熟等を目的として、全国のダムで実施され、当所では所管する5ダムで行いました。



6.12

土木部防災訓練

ダム総合事務所他3ダム(漆沢ダム, 上大沢ダム, ニツ石ダム)を対象として、土木部BCPに基づく点検・報告の手順確認を、委託業者も含めて行いました。

7月

ダム情報の市町首長への説明

ダムの治水機能と計画超過洪水時に発信する情報の内容・意味合いについて、関係市町の首長へ説明を行いました。

7月～9月

渇水

7月から9月にかけ降水量が平年の27%～79%, 5ダム平均で7月48%, 8月53%, 9月49%となり、10月以降の利水補給が困難になることが予測されたことから、利水者と協議調整を行いました。



7月

漆沢ダム洪水演習

ゲートダムである漆沢ダムで、計画超過洪水の操作等について、様々なパターンによる演習を5回実施し、操作技術の習得を行いました。また西日本豪雨を受け、洪水調節の長時間化に備え、ゲートレスダム職員によるバックアップ態勢を構築しました。

7月

平成30年災害災害復旧工事完成

平成30年6月29日に雷害により被災した化女沼ダム情報表示盤(大崎地方ダム総合事務所内)の災害復旧工事が7月完成しました。



8月～

上大沢ダムアオコ対応

7月から9月にかけての少雨・渇水に伴い、上大沢ダムではアオコが発生し、環境省基準最高レベル6となりました。下流の水質障害はありませんでしたが、次年度に向け、アオコ種子を減少させるため、貯留水の回転促進を実施しました。



10.12

台風19号対応

台風19号では漆沢ダムでの総雨量が354mm, 最大流入量が449m³/sと、非洪水期でありながらも過去第3位の豪雨となりました。操作規則に基づき最大放流量を152m³/sとしましたが、下流河川の水位が氾濫危険水位を超えていたことから、放流量を減少させるなどの対応を実施しました。



10.25

漆沢ダムテレメータ故障・対応

台風21号接近の前日、漆沢ダムテレメータ

が老朽化のため故障し、水位周知河川の水位データがMIRAIに提供不能となりました。住民避難や水防活動に支障のないよう、対応として、夜間でしたが職員が現地量水標を確認し、MIRAIに手入力し、データ配信しました。その後、応急修繕完了しております。

12.18

第3次災害査定

台風19号により、ダムへの流木流入、擁壁欠壊等の被災があったことから、災害申請を行い、認められました。



12.20

漆沢ダム定期検査

3年に1度実施されている漆沢ダム定期検査を県河川課職員が実施し、大きな問題のない判定となりました。



R2.1月～2月

鳴瀬川河川研修

当所で管理している5ダムのうち、漆沢ダム、ニツ石ダムが鳴瀬川流域となっており、漆沢ダムに依頼される出前講座では水系一環として鳴瀬川流域の紹介を行っています。河川管理者として流域を知っておく必要から、現場研修、座学研修を実施しました。



大崎地方ダム総合事務所

令和2年度の記録

4.18, 19

融雪時期の洪水対応

漆沢ダムでは低気圧による総雨量133.7mmの降雨により、融雪を伴う最大流入量184.79m³/sの洪水が発生しました。洪水調節を行い流入量の一部をダムに貯留したことにより、下流河川の中新田地点において約0.30mの水位低減効果があったものと推測されます。



4.22

無人航空機飛行許可・承認取得

日本全国の一年間包括でDID地区の飛行許可、目視外、近接の飛行承認を取得しました。(1名)

5.15

ダム洪水対応演習

計画超過洪水時におけるダム情報の関係機関への通知や住民に対する警報サイレン等による周知の訓練を、異動による職員の習熟等を目的として、全国のダムで実施され、当所では所管する5ダムで行いました。



5.29

事前放流の協定締結

一級河川水系の既存ダムにおける洪水調節機能の強化に向けた事前放流に係る治水協定を河川管理者、ダム管理者、関係利水者との間で締結しました。(漆沢, 化女沼, 上大沢, 岩堂沢, 二ツ石)

5.29→7.3

漆沢ダム洪水演習

ゲートダムである漆沢ダムで、計画超過洪水の操作等について、様々なパターンによる演習を5回実施し、操作技術の習得を行いました。また西日本豪雨を受け、洪水調

節の長時間化に備え、ゲートレスダム職員によるバックアップ態勢を構築しました。

6.30

ダムの治水機能と防災操作に関する説明会

洪水調節の仕組みや異常洪水時防災操作のほか、今年度より運用する事前放流など漆沢ダムの治水機能と防災操作について住民説明を行いました。



7.22

無人航空機飛行許可・承認取得(追加)

日本全国の一年間包括でDID地区の飛行許可、目視外、近接の飛行承認を取得しました。(5名(4名追加))

10.16

無人航空機飛行許可・承認取得(追加)

日本全国の一年間包括でDID地区の飛行許可、目視外、近接の飛行承認を取得しました。(7名(2名追加))

11.13

化女沼ダム定期検査

2月13日23時08分福島県沖を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生し、漆沢ダムの震度観測点において震度5弱を観測しました。ダム管理施設の異常の確認、ダム堤体変位及び漏水量の観測を行った結果、異常は確認されませんでした。



11.27

三地方ダム事務所合同洪水演習

新型コロナウイルスの感染などによりダム職員が不在となる不測の事態に陥った場

合でも、ダム機能を維持する必要があることから、仙台地方ダム及び栗原地方ダムの職員を対象に、漆沢ダムの洪水演習などの研修を行い、バックアップ体制の構築を図りました。

12.24

R1年災害復旧工事完成

台風19号により、被災した擁壁決壊等、ダムへの流木流入の災害復旧工事が完了しました。

R3.2.13

福島県沖地震の対応

2月13日23時08分福島県沖を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生し、漆沢ダムの震度観測点において震度5弱を観測しました。ダム管理施設の異常の確認、ダム堤体変位及び漏水量の観測を行った結果、異常は確認されませんでした。



2.26

非常用自家発電設備工事完成

平成30年度より故障し、仮設発電機対応していた総合事務所の非常用自家発電設備の更新工事が完成しました。燃料タンク(軽油)の容量も増量し、長時間の商用電源途絶時の対応が可能となりました。



3.11

無線設備スプリアス対応完了

当事務所で管理している漆沢ダム、化女沼ダム及び上大沢ダムの観測設備、警報設備に係る無線設備についてスプリアス対応工事が完成し、改正電波法(平成17年12月1日)(経過措置 令和4年11月30日)への対応が完了しました。

栗原地方ダム総合事務所の記録

平成24年度の記録

4.13

ダム情報伝達連絡会の開催

異常気象時及び災害時に情報を正確かつ迅速に伝達し、住民の安全・安心を確保するため情報連絡会を開催し、各ダムから発信される情報内容について確認しました。



▲連絡会の様子

5.3→4

大雨による洪水調節

低気圧の影響により、3日から4日にかけて大雨となり各ダムで洪水警戒体制に。特に花山ダムでは、貯水位が上昇し昭和33年の完成以来、初めてのただし書き操作による洪水調節の実施承認を得ましたが、幸いその後流入量が減少し、ただし書き操作までは至りませんでした。



▲ただし書き操作打ち合わせ

5.15

洪水対応演習

梅雨、台風等による出水期を迎えるにあたり、洪水予報等の情報を迅速かつ適確に伝達するとともに、操作規則等の理解を深め防災体制に万全を期するため実践的な演習を実施しました。



▲演習の様子

6.25→26

職場内研修

洪水期を迎えるにあたり、的確な洪水調節を行うため、ダム下流河川の復旧工事状況等について現地調査を実施しました。

7.4

ダム見学会の開催

姫松小学校他2校、4年生の社会科「水はどこから」の学習の一貫として花山ダムの見学会が開催されました。



▲ダムの役割について説明

7.13

荒砥沢ダムの視察研修

会津北部土地改良区では、関柴ダム、大平沼ダムを管理しています。宮城岩手内陸地震での被災状況及び復旧状況について荒砥沢ダムの視察研修に訪れました。



▲被災状況について説明

8.31

渇水への対応

7月中旬から高気圧に覆われて晴れの日が多く降水量の少ない状態が続きました。特に8月の降水量は少なく過去10ヶ年平均降水量に対し、花山ダム(温湯)32%(54mm)、荒砥沢ダム41%(76mm)、小田ダム12%(17mm)でした。利水委員会及び渇水情報連絡会へ出席し、利水者との情報の交換と節水の調整を図りました。8月末日の貯水率は、花山ダム41%、荒砥沢ダム13%、小田ダム14%となりました。



▲花山ダム湖貯水状況

9.15

ダム見学会

迫川上流土地改良区が主体となり「伊豆野堰まつり」が開催され、その一環として小田ダムの見学が行われました。地域の小学生・保護者約70名が参加しました。



▲ダム堤頂での記念撮影

9.30→10.1

台風17号による洪水調節

9月30日～10月1日にかけて東北地方を北上した台風17号の影響により、花山ダムで144mm、荒砥沢ダムで169mmの降雨を観測。最大流入量は花山ダム664mm³/s、荒砥沢ダム110mm³/sを観測し洪水調節を実施しました。花山ダムには上流河川の急激な水位上昇により、大量の流木がダム湖へ漂着したため流木災害(国災)として除去。また大量の土砂が流入したことにより、濁水状態が約2ヶ月間続きました。



▲濁水状況



▲花山ダム流木状況

10.7

花山湖秋まつり

花山ダム湖畔において、今回で25回目の「花山湖秋まつり」を開催しました。会場の一角にブースを設け、ダムに関するパネルの展示やダムカードを配布し、ダムのPRをしました。



▲ブース設置状況

11.9

ダム定期検査

ダムの維持、操作その他の管理状況について、3年に1回以上の周期で受検をしなければならないことがダム検査規程に定められており、今年度は小田ダムについて実施しました。

H25.1.28

荒砥沢ダム第二次安全確認

荒砥沢ダムは、これまで岩手宮城内陸地震発生時の水位以下で貯水池の運用を図ってきました。1月28日地震後の未経験水位EL266mに達したため、ダム及び貯水池周辺地山等の安全確認を行うため、第二次安全確認体制に移行しダム等の挙動の監視を開始しました。

▲荒砥沢ダム貯水状況
(1月29日EL266.05m)

2.14→26

職場内研修

今後の融雪洪水への対応や人事異動に伴う不測の事態を避けるため、各ダムの管理演習を行いました。



▲花山ダム管理演習状況

4.7

荒砥沢ダム試験湛水常時満水位到達

岩手宮城内陸地震の災害復旧工事が完了したことから再湛水を開始し未経験水位(EL266m)から常時満水位(EL274.4m)の範囲内で貯水位を上昇及び下降させダム、貯水池周辺の挙動観測を実施しました。



4.13

ダム情報伝達連絡会の開催

異常気象時及び災害時に情報を正確かつ迅速に伝達し、住民の安全、安心を確保するため情報連絡会を開催、各ダムから発信される情報内容について確認しました。

4.25

洪水対応演習(ダム)の開催

梅雨、台風等による出水期を迎えるにあたり、ダム放流時の危害防止の措置(関係機関への通知、放流警報等の一般への周知)及びダムの洪水調節操作を的確に行うための演習を実施しました。

5.10

花山ダム見学会の開催

山本町立山下中学校1年生92名が社会見学活動の一環として花山ダムの施設見学会が開催されました。

6.12

6.12総合防災訓練の実施

東日本大震災と同レベルの地震及び津波を想定しシナリオブランド型ロールプレイング方式により訓練を実施しました。

7.7, 10

荒砥沢ダム見学会の開催

7日に登米市中田支部婦人防火クラブの22名の方が防災教育の一環として岩手・宮城内陸地震による被災状況と状況を学習のため見学会を開催しました。



10日に東京大学地震研究所特定共同研究会合の12名の方が荒砥沢ダムに設置している地震計(右岸地山・監査廊基礎部)を見学しました。

8.7

花山湖清掃活動

スマイルサポーターとなっている花山漁業協同組合、栗原市花山総合支所の皆さんと合同で早期5:30から花山湖周辺の清掃活動を行いました。今年度で6回目となります。

9.14

小田ダム見学会の開催

迫川上流土地改良区が主体となり、「伊豆野塚まつり」が開催され、その一環として小田ダムの見学が行われました。地域の小学生・保護者約90名が参加しました。

9.16

台風18号による洪水調節

9月16日に東北地方を北上した台風18号の影響により、花山ダムで88mmの降雨を観測した。最大流入量は348m³/Sを観測し洪水調節を行いました。花山ダムには、上流河川の急激な上昇により大量の流木がダム湖へ漂着したため、流木災害(国災)として除去しました。また、大量の土砂が流入したことにより、濁水状態が約1ヶ月間続きました。



10.13

花山湖秋まつりに参加

花山ダム湖畔において「花山湖秋まつり」が開催されました。今回で26回目の開催です。事務所も会場の一角にブースを設け、ダムに関するパネルの展示やダム洪水シミュレーション模型を使用しダムのPRに努めました。

10.30

フランス大ダム会議メンバー荒砥沢ダム視察

フランス国内の安全基準が強化され、ダムの安全性を下流域の住民に説明するため、フランスでは地震の実測記録がないことから日本のダムの地震挙動を基に両国で解析を行い、安全性の向上やダム技術の向上を図る一環として現地視察を行いました。

11.27

ダム定期検査

ダムの維持、操作その他の管理状況について、3年に1回以上の周期で受験しなければならないことがダム検査規程に定められており、今年度は荒砥沢ダムについて実施しました。



12.9

荒砥沢ダム災害復旧(第2次安全確認)に係る完成検査

第2次安全確認が終了したことから、東北地方整備局による災害復旧に係る完成検査を実施し、完成を認められました。

12.19

職場研修

今年度の研修・講習会等を受講した職員から内容の報告会を実施しました。

12.26

荒砥沢ダム技術検討委員会

第2次安全確認が終了したことから、計測機器の挙動評価を東京でダム技術検討委員会に諮り、報告の内容について委員長から支持を得ました。

H26.1.15

荒砥沢ダム見学会の開催

岩手県農村振興技術連盟(一関ブロック)の12名の方が岩手・宮城内陸地震の際の被災状況、その後の復旧内容の状況等を部)を見学しました。

栗原地方ダム総合事務所

平成26年度の記録

4.9

ダム情報伝達連絡会

異常気象時に情報を正確かつ迅速に伝達し、住民の安全、安心を確保するため、河川管理者、ダム管理者及び栗原市の防災担当機関による情報伝達連絡会に出席し、各ダムから発信する情報の内容を説明しました。

5.14

ダム管理演習の実施

梅雨、台風等による出水期を迎えるにあたってダム放流時の危害防止の措置(関係機関への通知、放流警報等の一般住民への周知)及びダムの洪水調節を適確に行うための演習を3ダムにおいて実施しました。



8.1

花山湖で清掃活動を実施

スマイルサポーターになっている花山漁業協同組合及び花山青少年旅行村、栗原市花山総合支所の皆さんと合同で花山湖周辺の清掃活動を行いました。

8.8

台風11号による洪水調節(花山ダム)

総雨量79mm, 最大時間雨量32mm
総流出量524.3千 m^3 ,
最大流入量124.97 m^3/s
最大放流量9.04 m^3/s ,
調節総量415.0千 m^3

8.19

花山ダム貯水池の水質の現状と今後の方針について

花山ダム貯水池では堆砂の進行や濁水の長期化、水質悪化などの問題を抱えており、下流河道で取水している浄水場にも影響を与えています。貯水池の現状と今後の対応方針について栗原市及び登米市に説明しました。

8.29

小田ダムの見学

迫川上流土地改良区主催の「伊豆野堰まつり」が開催され、その一環として小田ダムの見学会を実施しました。一迫小学校の4年生と保護者、先生方に洪水調節シミュレーション模型を使ってダムの役割について説明しました。



10.12

花山・湖秋まつりに参加

花山ダム湖畔において「花山・湖秋まつり」が開催されました。今回で26回目の開催になります。当事務所も会場の一角にブースを設け、ダムに関するパネルの展示、ビデオ上映、ダムカードの配布などをダムのPRに努めました。

10.14

台風19号による洪水調節(花山ダム)

総雨量88mm, 最大時間雨量10mm
総流出量887.3千 m^3 ,
最大流入量124.07 m^3/s
最大放流量4.10 m^3/s ,
調節総量805.0千 m^3

10.22

オイルフェンス展張訓練の実施

ダム湖での油流出事故を想定し、拡散防止に迅速な対応ができるよう訓練を実施しました。ダム堤体上からオイルフェンスの荷下ろし、展張、固定までの一連作業の手順を確認しました。



11.11

花山ダムの見学

花山小学校の5・6年生(10名)は「自分たちの町花山を知る」というテーマで学んでおり、花山ダムの役割や迫川の特徴、水害の歴史について説明しました。

11.20

ダム定期検査(花山ダム)

ダムの維持、操作その他管理状況について、各ダムの検査を3年に1回行うことになっています。今年度は花山ダムが受検しました。

12.4

環境調査の結果報告(小田ダム)

ダム基本設計会議において学識経験者から稀少動植物の保全について指摘があり、これまで10年間に渡ってモニタリングを行ってききましたが、その調査結果について学識経験者に報告しました。

12.10

荒砥沢ダムの見学

栗原市では「栗駒山麓ジオパーク構想」の実現に向けて官民一体となって取り組んでいます。ジオパークの魅力を伝えるガイドの人材育成を目的にした「ジオガイド養成講座」が荒砥沢ダムで開催され、ダム周辺の地質の特徴やダムの役割等について説明しました。



H27.3.10

低気圧による洪水調節(花山ダム)

総雨量65mm, 最大時間雨量10mm
総流出量2,692.4千 m^3 ,
最大流入量122.2 m^3/s
最大放流量9.01 m^3/s ,
調節総量2,406.0千 m^3

4.9

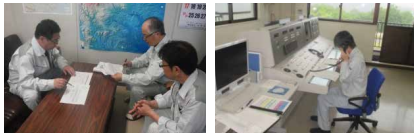
ダム情報伝達連絡会を開催

異常気象時に情報を正確かつ迅速に伝達し、住民の安全、安心を守るため、河川・ダム管理者及び栗原市等の防災関係機関担当者による連絡会を開催し管内の4ダムから発信する情報の内容を説明しました。

5.19

ダム管理演習を実施

梅雨、台風等による洪水期を迎えるにあたってダム放流時の危害防止の措置(関係機関への通知、放流警報等の一般住民への周知)及びダムの洪水調節を適確に行うための管理演習を3ダムにおいて実施しました。



6.26

小田ダム環境整備作業を実施

職員直営の除草作業が必要なため、肩掛け式草刈り機の使い方の講習を兼ねて、堤体下流広場の環境整備作業を行いました。



8.5

花山湖で清掃活動を実施

スマイルサポーターの花山漁業協同組合と花山青少年旅行村や栗原市花山総合支所の皆さんと当所職員が、合同で今年で8回目の花山湖周辺の清掃活動を行いました。



8.22

小田ダムの見学

NPO「働くお母さんと子供を支援する会」の一行44名が小田ダムの見学に訪れ、職員がダムの役割について紙芝居で説明しました。その後、監査廊に入り、ダムの内部を見学しました。



9.11

関東・東北豪雨による洪水調節(花山・荒砥沢・小田ダム)

大雨特別警報発表
総雨量 233mm
最大流入量 622m³/s
調節総量10,185千m³
11/16 第2次災害査定決定額32,052千円
1/29 災害復旧工事完了流木除去工 3,300m³



10.10

花山ダムの見学

国立花山青少年自然の家主催の子供環境探検隊(小学生30名)が全国有数の貯水効率の高い花山ダムの仕組みを学ぶために訪れ、ダムの堤体上部を歩いて見学しました。



10.11

花山・湖秋まつりに参加

花山ダム湖畔において「第28回花山・湖秋まつり」が開催されました。当事務所も会場の一角にブースを設け、ダムに関するパネルの展示、ビデオ上映、ダムカードの配布などで、ダムのPRをしました。



11.10

荒砥沢ダムの見学

本年9月に認定を受けた「栗駒山麓ジオパーク」学習の一環で栗駒小学校4年生33名が荒砥沢ダムを訪れ、ダムの役割について学習し、堤体上部を歩いて見学しました。



11.13

ダム定期検査(荒砥沢ダム)

ダムの維持、操作等その他管理状況について、各ダムの検査を3年に1回行うことになっています。今年度は荒砥沢ダムが定期検査を受検しました。



栗原地方ダム総合事務所

平成28年度の記録

4.14

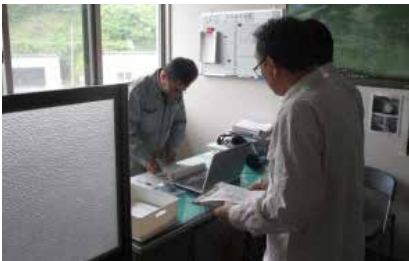
ダム情報伝達連絡会を開催

異常気象時に情報を正確かつ迅速に伝達し、住民の安全、安心を守るため、河川・ダム管理者及び栗原市等の防災関係機関担当者による連絡調整を行うため、管内の4ダムから発信する情報の内容等を説明しました。

5.27

ダム管理演習を実施

梅雨、台風等による洪水期を迎えるにあたってダム放流時の危害防止の措置(関係機関への通知、放流警報等の一般住民への周知)及びダムの洪水調節を適確に行うための管理演習を4ダムにおいて実施しました。



6.29

小田ダム環境整備作業を実施

毎年恒例となった職員直営除草作業を行いました。肩掛け式草刈り機の使い方訓練も兼ねており、堤体下流公園付近の環境整備が図られました。



7.8

第7回伊豆野堰祭【小田ダム見学】

迫川上流地区管理体制推進協議会で主催する本祭では、小田ダム見学が企画され、一迫小学校4年生児童と先生方62名が見学に訪れました。手製の紙芝居でダムの役割を紹介したり、監査廊の探検、「ダムカード」の配布を行うなどして、子供たちのたくさんの笑顔と元気をもらいました。



8.5

花山湖で清掃活動を実施

スマイルサポーターの花山漁業協同組合と花山青少年旅行村や栗原市花山総合支所の皆さんと当所職員が、合同で今年で8回目の花山湖周辺の清掃活動を行いました。



8.22→23

台風9号による洪水調節(花山・栗駒ダム)

〈花山ダム〉
総雨量67.0mm
最大流入量 170.96m³/s
調節総量 1,243千m³

〈栗駒ダム〉
総雨量 87.0mm
最大流入量 88.93m³/s
調節総量530千m³

※平成28年度4ダム洪水調節実績:
2ダム7回

9.9

荒砥沢ダム(貯水地上流側地すべり)の見学【土木学会】

土木学会現地視察会において、視察コース

の一つとして計画されたもので「荒砥沢ダムと当該地すべりの関連や「岩手・宮城内陸地震」の概要等について」を資料配付・説明を行いました。

10.9

「第29回花山湖まつり」に参加

花山ダム湖畔において、「第29回花山湖まつり」が開催されました。当事務所も会場の一角にブースを設け、ダムに関するパネル展示、ビデオ上映、ダムカードの配布などで、ダムのPRをしました。



10.31

ダム定期検査(小田ダム)

ダムの維持、操作等その他管理状況について、各ダムの検査を3年に1回行うことになっています。今年度は小田ダムが定期検査を受検しました。

H29.1.10

花山ダムの見学

国立花山青少年旅行村で研修を行っていた青森県、岩手県内小学生32名が、見学に訪れました。全国有数の貯水効率の高い花山ダムの仕組みを学び、ダムの堤体上部を見学した後、「ダムカード」の配布を行い、児童の皆さんには有意義な時間を過ごしてもらいました。

2.12,23

工事現場研修会(栗駒ダム)

今年度より当事務所へ管理移管となった栗駒ダムの浚渫工事(栗原地振発注)工事現場研修会に参加しました。



4.12

ダム情報伝達連絡会を開催

異常気象時に情報を正確かつ迅速に伝達し、住民の安全、安心を守るため、河川・ダム管理者及び栗原市等の防災関係機関担当者による連絡会を開催しました。



5.12

洪水対応演習(情報伝達訓練)を実施

洪水期を迎えるにあたり、4ダムにおいて、洪水時における関係機関への通知、放流警報等の一般住民への周知、及び洪水調節操作等を適確に行うための管理演習を実施しました。

5.22

小田ダム環境整備を実施

ダム機能の維持と環境美化を図るため、1年間を通して、清掃、除草、落葉除去、除雪等の職員直営による環境整備を行いました。5月22日は小田ダムにおいて、堤体に繁茂したツタの除去作業を行いました。

6.14

JICA研修生の荒砥沢ダム・小田ダム見学案内

JICA研修の一環で、9か国から参加する11人の研修生が荒砥沢及び小田ダムを訪れました。各ダムの目的・諸元の他、岩手・宮城内陸地震の概要とダムの被災状況などについて紹介しました。



6.28

ダム定期検査(栗駒ダム)

栗駒ダムにおいて、ダムの維持管理や流水管理が適切かどうか等を確認する定期検査(3年に1回実施)が行われました。

7.26

迫川流域現地調査を実施

ダム管理の役割や重要性を再認識し、日々の仕事に役立てるため、迫川流域の河川管理施設や農業水利施設等を訪ね、治水事業の変遷や用水の安定確保に向けて先人達が取り組んできた足跡を振り返りました。

8.4

花山湖で清掃活動を実施

スマイルサポーターの花山漁業協同組合の皆さんをはじめ、花山青少年旅行村や栗原市花山総合支所の皆さんと一緒に、今年で9回目となる花山湖周辺の合同清掃活動を行いました。

8.8→9

台風5号による洪水調節

〈花山ダム〉

総雨量 107.0mm
最大流入量 154.72m³/s
調節総量 2,217千m³

〈荒砥沢ダム〉

総雨量 147.0mm
最大流入量 37.58m³/s
調節総量 329千m³

〈栗駒ダム〉

総雨量 200.0mm
最大流入量 76.49m³/s
調節総量 463千m³

※H29警戒配備 延べ28回
洪水調節実績:3ダム6回



8.25

小田ダム見学案内

迫川上流地区管理体制推進協議会で企画する伊豆野堰祭りの一環で、一迫小学校4年生と先生方47人が小田ダムを訪れました。ダムの役割の紹介や監査廊の探検などを行い、後日子供達から感謝のメッセージをいただきました。

9.7

超過洪水時の洪水対応演習を実施

花山ダムにおいて、平成29年7月に発生し

た九州北部豪雨及び秋田豪雨の降雨を事例として、超過洪水時のただし書き操作に必要となる、予測計算やゲート開度設定をトレースする机上演習を実施しました。

10.8

「第30回花山・湖秋まつり」に参加

花山ダム湖畔において、「第30回花山・湖秋まつり」が開催されました。当事務所も会場の一角にブースを設け、ダムに関するパネル展示やビデオ上映、ダムカード配布などを行いました。

10.31

ダム定期検査(花山ダム)

花山ダムにおいて、ダムの維持管理や流水管理が適切かどうか等を確認する定期検査(3年に1回実施)が行われました。

H30.1.10

河川・ダム担当職員研修会～迫川流域の河川整備のあり方～を実施

迫川流域の河川改修やダム・遊水地の歴史、現状と課題、これからの河川整備のあり方について、学び・考えることを目的に、北部土木栗原地域事務所及び東部土木登米地域事務所と共催による、外部講師を招いた研修会を開催しました。



3.22

融雪期の洪水対応演習を実施

融雪期を迎えるにあたり、かんがい用水を確保した高い貯水位状態における、融雪に伴う洪水に適切に対応していくための管理演習を実施しました。



栗原地方ダム総合事務所

平成30年度の記録

4.12

ダム情報伝達連絡会を開催

異常気象時に情報を正確かつ迅速に伝達し、住民の安全、安心を守るため、河川・ダム管理者及び栗原市等の防災関係機関担当者による連絡会を開催しました。

4.20

洪水対応演習(情報伝達訓練)を実施

洪水期を迎えるにあたり、4ダムにおいて、洪水時における関係機関への通知、放流警報等の一般住民への周知、及び洪水調節操作等を適確に行うための管理演習を実施しました。

5.22

小田ダム環境整備を実施

ダム機能の維持と環境美化を図るため、1年間を通して、清掃、除草、落葉除去、除雪等の職員直営による環境整備を行いました。5月22日は小田ダムにおいて、堤体下流の除草作業を行いました。

6.8

超過洪水対応演習を実施

花山ダム及び栗駒ダムにおいて、平成27年に発生した関東・東北豪雨を事例として、超過洪水のただし書き操作に必要な予測計算や、ゲート開度設定等の机上訓練を実施しました。(演習実績:4ダム6回)



7.13

荒砥沢ダム見学案内

鶯沢小学校4年生と先生方22人が社会科の授業の一環として小田ダムを訪れました。ダムの役割を職員手作りによるダム模型等を使ってわかりやすく紹介を行い、後日子供達から感謝のメッセージをいただきました。

8.1→2

迫川流域現地調査を実施

ダム管理の役割や重要性を再認識し、日々の仕事に役立てるため、迫川流域の河川管理施設や農業水利施設等を訪ね、治水

事業の変遷や用水の安定確保に向けて先人達が取り組んできた足跡を振り返りました。



8.4

花山湖で清掃活動を実施

スマイルサポーターの花山漁業協同組合の皆さんをはじめ、花山青少年旅行村や栗原市花山総合支所の皆さんと一緒に、今年で10回目となる花山湖周辺の合同清掃活動を行いました。

9.30→10.1

台風24号による洪水調節

〈花山ダム〉	
総雨量	53.0mm
最大流入量	170.91m ³ /s
調節総量	975千m ³
〈荒砥沢ダム〉	
総雨量	55.0mm
最大流入量	38.19m ³ /s
調節総量	50千m ³
〈栗駒ダム〉	
総雨量	84.0mm
最大流入量	141.38m ³ /s
調節総量	693千m ³
※H30警戒配備 延べ31回	
洪水調節実績:3ダム6回	

10.17→18

全国土地改良大会荒砥沢ダム現地研修を開催

17～18日にかけて開催された全国土地改良大会において、荒砥沢ダム及び栗駒山麓ジオパークが現場研修の会場となり、岩手・宮城内陸地震により発生した荒砥沢地すべりの状況や災害復旧方法等について、全国の皆さんに知っていただきました。



11.7

ダム定期検査(荒砥沢ダム)

荒砥沢ダムにおいて、ダムの維持管理や流水管理が適切に行われているかを確認する定期検査(3年に1回実施)が行われました。



11.15

花山ダム見学案内

花山小学校5,6年生と先生方14名が社会科の授業の一環として花山ダムを訪れました。ダムの役割をダム模型等を使ってわかりやすく説明したほか、警報車による模擬放送も体験していただきました。

12.11→12

職員研修会(迫川流域水道施設見学)を実施

ダム管理の役割や重要性を再認識するため、迫川流域の水道施設見学(浄水場、取水口)を行いました。当日は水道事業者から、渇水時の取水方法や濁水対応状況等の説明を受け、改めてダム貯水池や、正常な流水の維持についての重要性を理解しました。



R1.3.7

地震時臨時点検演習を実施

地震発生時の点検・報告を円滑に実施するため、地震時点検演習を行い、点検項目や点検ルートの確認、点検記録報告様式の作成方法等を学びました。

4.25

ダム情報伝達連絡会を開催

洪水警戒時に情報を正確かつ迅速に伝達し、住民の安全、安心を守るため、河川管理者及び栗原市等の防災関係機関担当者による連絡会を開催しました。



5.10

洪水対応演習(情報伝達訓練)を実施

洪水期を迎えるにあたり、4ダムにおいて、洪水時における関係機関への通知、放流警報等の一般住民への周知、及び洪水調節操作等を適確に行うための管理演習を実施しました。

5.28

小田ダム環境整備を実施

ダム機能の維持と環境美化を図るため、1年間を通して、清掃、除草、落葉除去、除雪等の職員直営による環境整備を行いました。5月28日は小田ダムにおいて、堤体下流の除草作業を行いました。



6.17

超過洪水対応演習を実施

管理4ダム(花山, 栗駒, 荒砥沢, 小田)において、平成30年に山形・秋田で発生した梅雨前線豪雨等を事例として、超過洪水のただし書き操作に必要となる予測計算や、ゲート開度設定等の机上訓練を実施しました。(R1計5回実施)

7.17

荒砥沢ダム見学案内

鶯沢小学校4年生と先生方21人が社会科の授業の一環として荒砥沢ダムを訪れました。ダムの役割を職員手作りによるダム模

型等を使ってわかりやすく紹介を行い、後日子供達から感謝のメッセージをいただきました。

8.2

花山湖で清掃活動を実施

スマイルサポーターの花山漁業協同組合の皆さんをはじめ、花山青少年旅行村や栗原市花山総合支所の皆さんと一緒に、今年で11回目となる花山湖周辺の合同清掃活動を行いました。



8.6→8

出前講座を実施(栗原市自主防災組織)

旧町村ごと10箇所で開催された栗原市危機対策課主催の「自主防災組織代表者会議」においてダムの役割等について説明を行い、防災・減災に対する理解を深めていただきました。(10会場, 200名出席)

10.10

ダム堆砂土砂対策の先進地視察(岩手県)

花山ダム・栗駒ダムでは平成20年の岩手・宮城内陸地震以降計画を上回る速度で堆砂が進行しており、早急な対策が必要であることから、堆砂対策事業を既に実施している岩手県の煙山ダムと入畑ダムの先進地視察を実施しました。



10.12→13

台風19号による洪水調節

〈花山ダム〉

総雨量 115.0mm
最大流入量 201.12m³/s
調節総量 3,500千m³

〈栗駒ダム〉

総雨量 177.0mm
最大流入量 173.99m³/s
調節総量 2,996千m³

※令和1年警戒配備 4ダム延べ19回(地震配備含む)洪水調節実績:3ダム5回

11.24

出前講座(ダムの役割)を開催

近年頻発化している豪雨災害や、ダムの役割である洪水調節や異常洪水時防災操作等を理解していただくため、出前講座を開催しました。

※令和1年開催9回 274名出席



R2.2.22

花山ダム湖でワカサギ釣り(ドーム船)開始

22日から花山ダム湖で、花山漁業協同組合が運営する宮城県内初となるワカサギ釣りドーム船の営業が始まりました。(予約制)

営業時間:8:00~16:00

営業期間:3月末まで

料金:大人3,000円/日

子供2,000円/日

(※来シーズンは令和2年11月から営業予定)



3.3

地震時臨時点検演習を実施

地震発生時の点検・報告を円滑に実施するため、地震時点検演習を行い、点検項目や点検ルートの確認、点検記録報告様式の作成方法等を学びました。

栗原地方ダム総合事務所

令和2年度の記録

4.24

ダムの事前放流説明会を開催

既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針に基づく事前放流について、利水関係者に対する説明会を開催しました。

(5月29日付けで治水を協定締結し、6月より運用開始)



5.15

洪水対応演習(情報伝達訓練)を実施

洪水期を迎えるにあたり、4ダムにおいて、洪水時における関係機関への通知、放流警報等の一般住民への周知、及び洪水調節操作等を適確に行うための管理演習を実施しました。



6.1

小田ダム環境整備を実施

ダム機能の維持と環境美化を図るため、1年間を通して、清掃、除草、落葉除去、除雪等の職員直営による環境整備を行いました。6月1日は小田ダムにおいて、堤体下流の除草作業を行いました。

6.22

超過洪水対応演習を実施

管理4ダム(花山、栗駒、荒砥沢、小田)において、平成元年8月に発生した台風等を事例として、超過洪水のただし書き操作に必要な予測計算や、ゲート開度設定等の机上訓練を実施しました。(令和2年計5回実施)



6.30

リモートダム見学を実施

志波姫小学校4年生と先生方80人が社会科の授業の一環として荒砥沢ダムの見学を実施しました。

※他、栗駒小学校(栗駒ダム)、宮野小学校(花山ダム)実施

7.20

荒砥沢ダム見学案内

鶯沢小学校4年生と先生方12人が社会科の授業の一環として荒砥沢ダムを訪れました。ダムの役割を職員手作りによるダム模型等を使ってわかりやすく紹介を行い、後日子供達から感謝のメッセージをいただきました。※他、志波姫小学校、花山小学校(花山ダム)で実施



8.7

花山湖で清掃活動を実施

スマイルサポーターの花山漁業協同組合の皆さんをはじめ、花山青少年旅行村や栗原市花山総合支所の皆さんと一緒に、今年で12回目となる花山湖周辺の合同清掃活動を行いました。



10.1

ダム定期検査(栗駒ダム)

栗駒ダムにおいて、ダムの維持管理や流水管理が適切に行われているかを確認する定期検査(3年に1回実施)が行われました。



10.21

出前講座(ダムの役割)を開催

近年頻発化している豪雨災害や、ダムの役割である洪水調節や異常洪水時防災操作等を理解していただくため、地域住民に対して出前講座を開催しました。

11.15

ダム定期検査(花山ダム)

花山ダムにおいて、ダムの維持管理や流水管理が適切に行われているかを確認する定期検査(3年に1回実施)が行われました。



11.21

花山ダム堆積土砂撤去工事説明会

花山ダム堆積土砂撤去工事について、地元住民の方々に対する説明会を実施し、事業へのご理解と、ご協力をお願いをしました。



R3.2月

花山ダム堆積土砂撤去工事(施工中)

2月末の施工状況



仙台港背後地土地区画整理事務所の記録

平成24年度の記録

4.3

保留地分譲情報の更新

最新の保留地分譲情報をホームページに掲載しました。

5.30

H24年度事業概要をホームページに掲載

6.27

沼向・竹ノ内地区地権者説明会を開催

災害復旧への取組等について説明しました。

6.28

中野新町地区地権者説明会を開催

災害復旧への取組等について説明しました。

6.29

甲区地区地権者説明会を開催

災害復旧への取組等について説明しました。



▲住宅地区の道路復旧後

6.29

住宅地区の道路災害復旧工事が概成

7.27

保留地分譲情報の更新

最新の保留地分譲情報をホームページに掲載しました。

8.9

保留地分譲情報の更新

最新の保留地分譲情報をホームページに掲載しました。

8.20

「仙台港背後地復興だより」(第1号)を発行



▲仙台港背後地復興だより

9.14

地区内の4級基準点測量完了

9.19

保留地分譲情報の更新

最新の保留地分譲情報をホームページに掲載しました。

10.29

新町界・町名アンケート調査の実施

関係地権者等を対象に新町界・町名に関するアンケート調査を実施しました。

10.31

地区内の街区出来形確認測量概成

11.22

工業地区(産業道路南側)の下水道工事が完成



▲工業地区の下水道復旧後

11.29

甲区町内会説明会を開催

新町界・町名案について説明しました。

11.30

沼向町内会説明会を開催

新町界・町名案について説明しました。

11.30

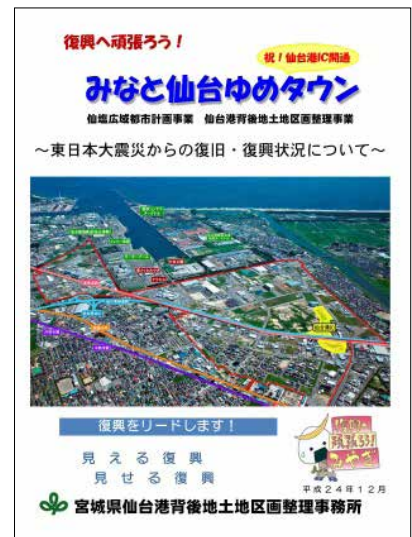
新聞広告(仙台港IC開通・保留地分譲)の掲載

12.2

新聞広告(仙台港IC開通・保留地分譲)の掲載

12.3

仙台港ICの開通に合わせて「復旧・復興の記録誌」を発行



▲復旧・復興の記録誌

12.19

新町界・町名検討会(第3回)を開催

12.20

「仙台港背後地復興だより」(第2号)を発行



▲仙台港背後地復興だより

H25.1.17

保留地分譲情報の更新

1.18

背後地ニュース(号外)を発行

新町界・町名案に関するお知らせを掲載しました。

1.29

「第80回仙台港背後地土地区画整理審議会」を開催

新町界・町名の施行者案決定。
換地設計の変更等。



▲仙台港背後地土地区画整理審議会

2.6

仙台国際貿易港首都圏セミナーに参加

保留地分譲情報についてPRしました。

5.23

工業地区における下水道災害復旧工事が完成



着工前



完成

6.20

工業地区における街路災害復旧工事が完成

工業地区における災害復旧工事が完成しました。



着工前



完成

7.20

保留地の復旧工事が完成



8.26

流通業務地区における街路災害復旧工事が完成



着工前



完成

10.28

「(一社)建設コンサルタンツ協会 設立50周年記念植樹式」へ出席

一般社団法人建設コンサルタンツ協会 設立50周年記念植樹式が仙台港背後地事業地内の1号公園において執り行われました。



10.31

流通業務・センター地区における街路災害復旧工事が完成

地区内の全工区における災害復旧工事が完成しました。



着工前



完成

11.22

出来形確認測量業務が完了



仙台港背後地土地地区画整理事務所

平成26年度の記録

5.1

事業計画(第6回)変更説明会



6.10

第85回仙台港背後地土地地区画整理審議会開催



8.1

換地処分通知の発送



10.31

換地処分公告

公示送達状況(地区内掲示板への掲示/平成26年9月2日)



11.10

仙台港背後地土地地区画整理事業竣工式の開催

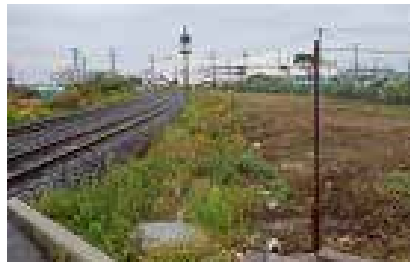
村井宮城県知事, 奥山仙台市長をはじめ約300名を超える出席者を迎え竣工式が盛大に行われました。



H27.2.12

公共施設に引継に必要な地区内の補修工事がすべて完成

地区内の施設引継に係る補修工事が完成しました。



着工前



完成

2.27

第86回仙台港背後地土地地区画整理審議会開催(最終)



平成26年度からは復旧・復興事業の進捗状況等を踏まえ, 所を廃止した。